

平成 29 年度神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「新・神戸っ子すこやかプラン」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

1	検証の実施について	
(1)	新・神戸っ子すこやかプランの策定	1
(2)	検証の方法	1
2	神戸市の現状について	
(1)	就学前児童の居場所（平成 30 年度）	2
(2)	保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	3
3	計画の検証	
(1)	市民（保護者）調査結果	4
(2)	施設利用者調査結果	16
(3)	企業調査結果	56
4	平成 29 年度における主な事業の進捗状況	62
5	地域子ども・子育て支援事業の実績（平成 29 年度）	65
	【別冊】各事業進捗状況	

1 検証の実施について

(1) 新・神戸っ子すこやかプランの策定

平成 24 年 8 月に子ども・子育て関連 3 法が制定され、それに伴い、本市は平成 27 年 3 月に「神戸市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。その後、時限立法であった「次世代育成支援対策推進法」がさらに 10 年間延長されたことを受け、「神戸市子ども・子育て支援事業計画」等と一体化した行動計画として、平成 28 年 3 月に「新・神戸っ子すこやかプラン」を策定し、子育て支援を総合的に進めているところである。

(2) 検証の方法

本計画の点検・評価については、各施策の実施状況、各施設・事業の利用実績、利用者アンケートによる市民意見等を把握し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

検証の手法としては、国の指針に示されているとおり、計画全体の進捗状況を評価するため、個別事業を束ねた施策レベルと個別事業レベルの進捗状況を点検・評価する。

【施策レベルの指標例】

施策	評価指標
地域における子育て支援	①子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合
	②子育てについて、気軽に相談できる人(近所の人・友人)がいる保護者の割合
	③希望した時期に保育サービスを利用することができたと感じる割合
職業生活と家庭生活との両立の推進	④仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる割合(希望と現実の差)

施策レベルの成果を段階的に補足する評価指標として、個別事業の「認知度、利用度、達成度(満足度)」の設問を設定

〈調査内容〉

・市民(保護者)アンケート調査

3歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者アンケート調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

[アンケート実施施設]

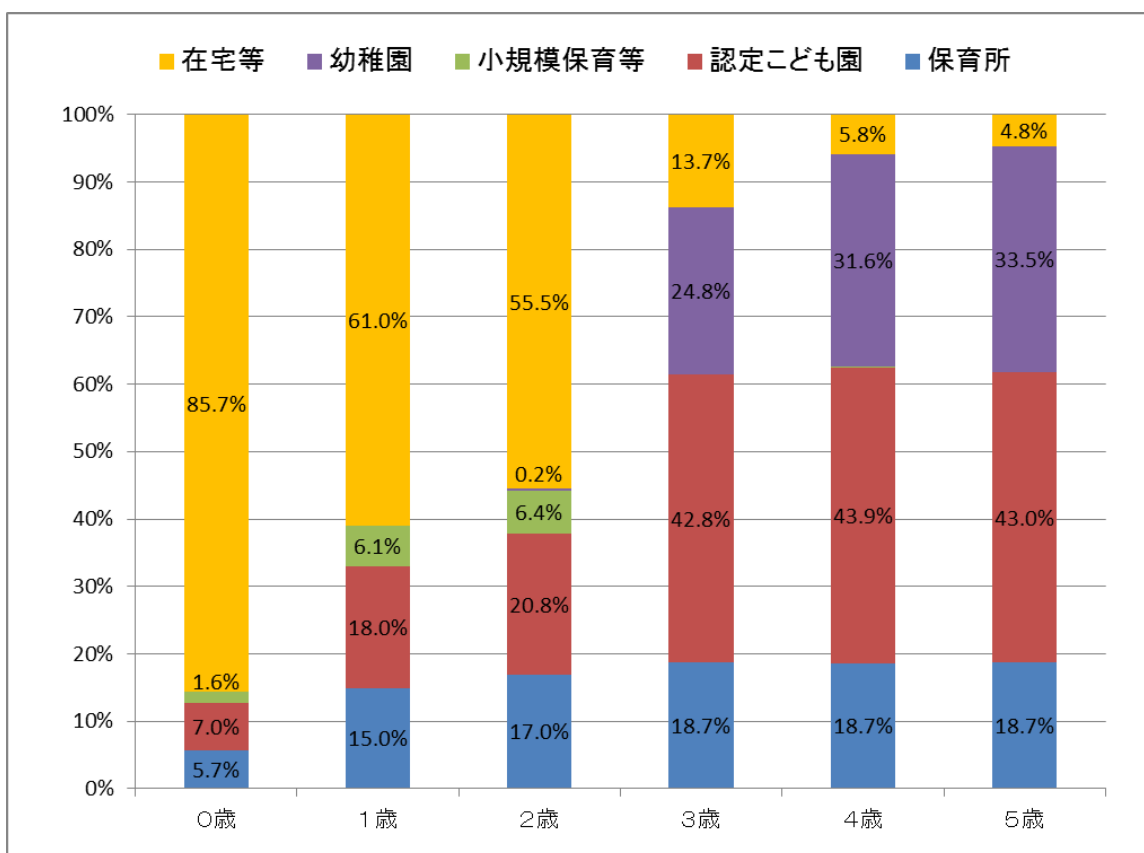
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリーサポート・センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育

・企業アンケート調査

市内の従業員 101 人以上の企業を対象に、各事業所での子育て支援の取り組み状況を調査

2 神戸市の現状について

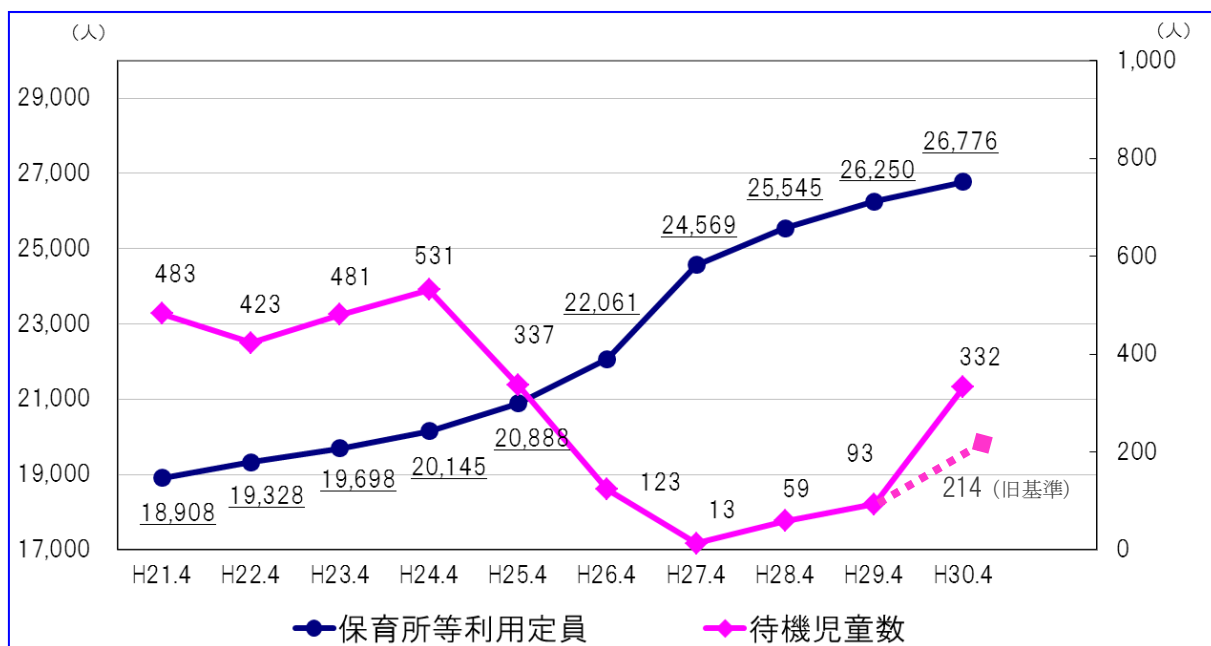
(1) 就学前児童の居場所（平成30年度）



保育所は H30.4.1 認定こども園は H30.5.1 幼稚園は H30.5.1

就学前児童（0～5歳児）の居場所を見ると、0歳児は85.7%、1～2歳児では、60%前後と在宅での育児比率が高い。3歳児では86.3%が、5歳児になると95.2%が幼稚園・認定こども園・保育園へ入所している状況である。

(2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移



保育所・認定こども園・小規模保育等定員数と待機児童数の平成17年度から平成29年度までの推移をみると、平成26年度の約2,500人分の保育枠の拡大に伴い、平成27年4月の待機児童数は13人と前年に比べ大幅に減少した。しかし、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数は増加傾向にあり、平成30年4月の待機児童数は、332人（新調査要領に基づく基準）という結果となった。

保育所等の利用希望者は、今後も増加することが見込まれるため、平成30年度もさらに保育枠を確保する予定である。

3. 計画の検証

(1) 市民（保護者）調査結果

1 調査方法

3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収

2 調査期間

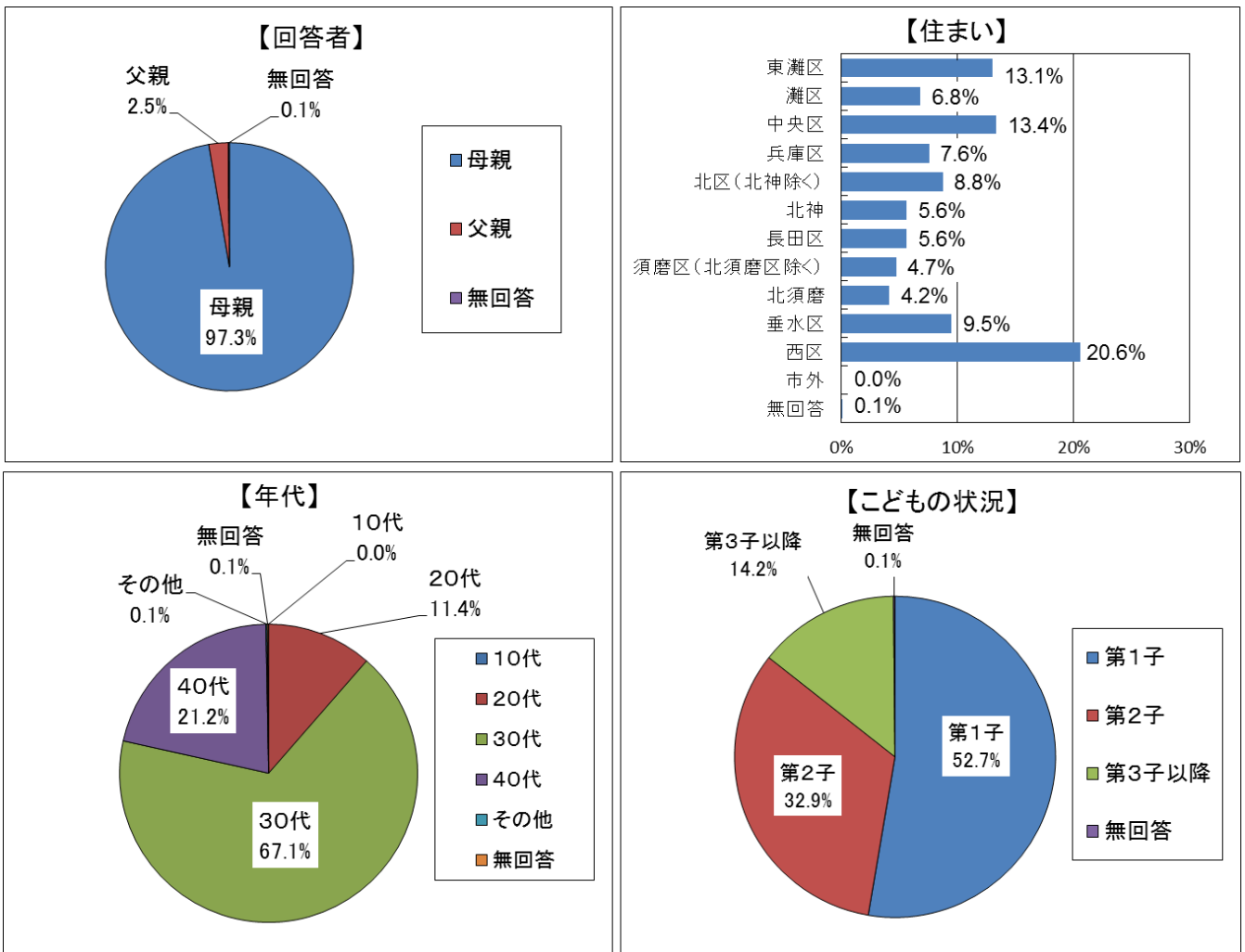
平成30年8月

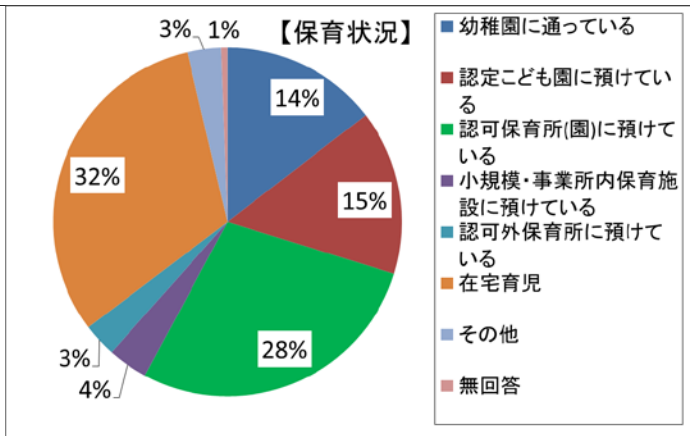
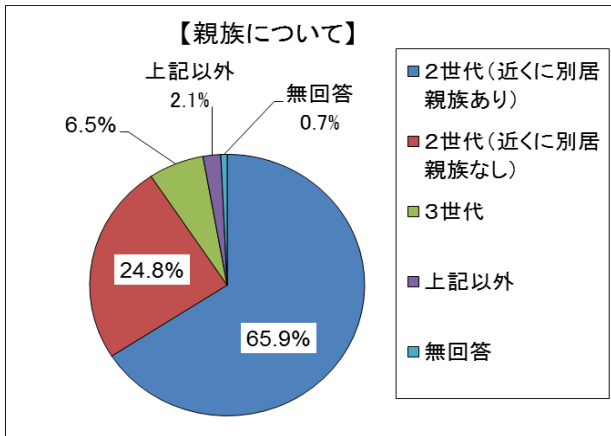
3 配布等

- (1) 配布数 1,049セット
- (2) 回収数 674サンプル
- (3) 回収率 64.3%

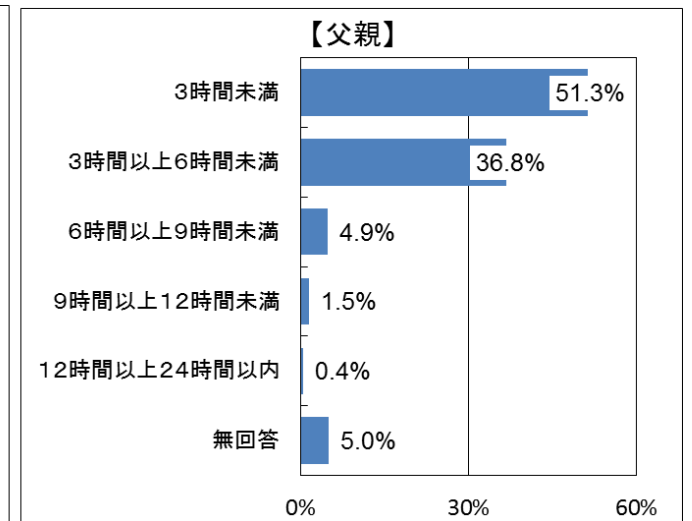
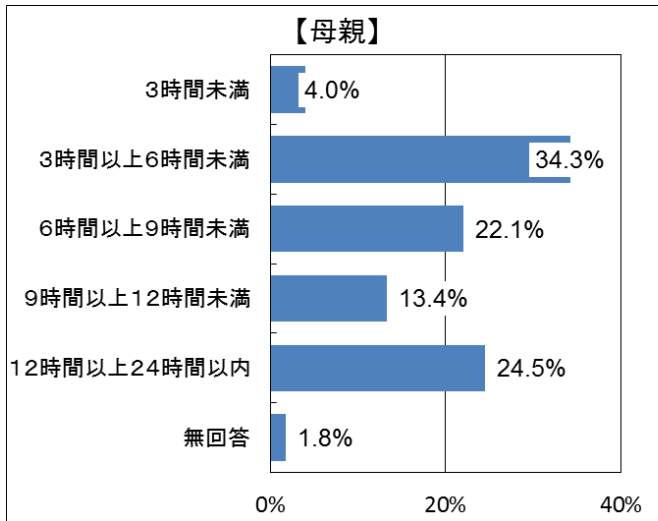
4 調査結果

(1) 回答者の属性

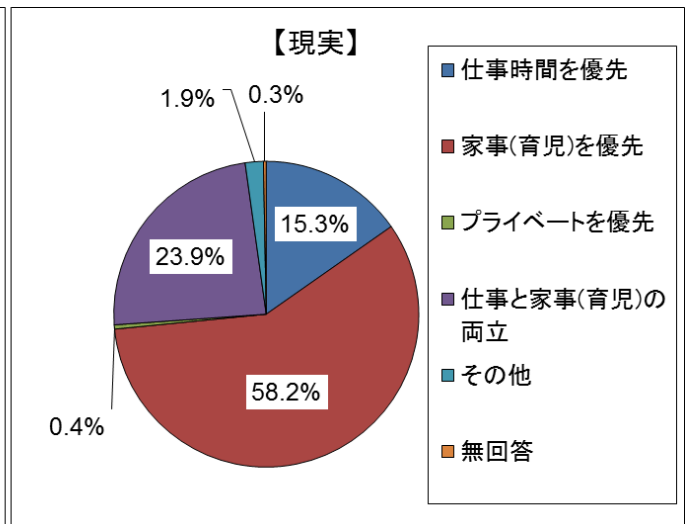
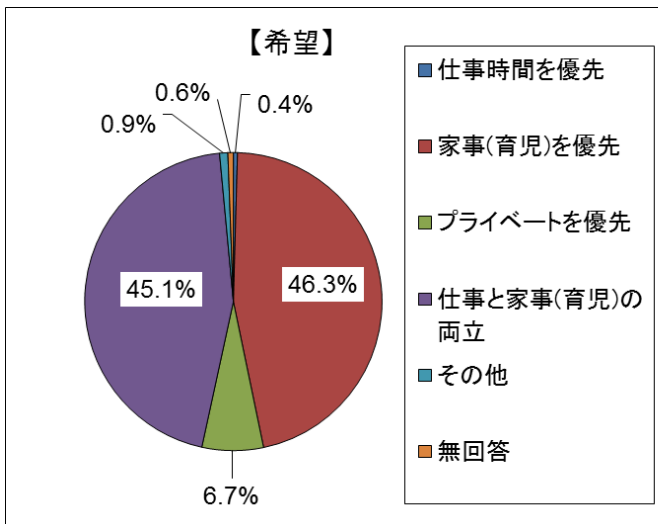




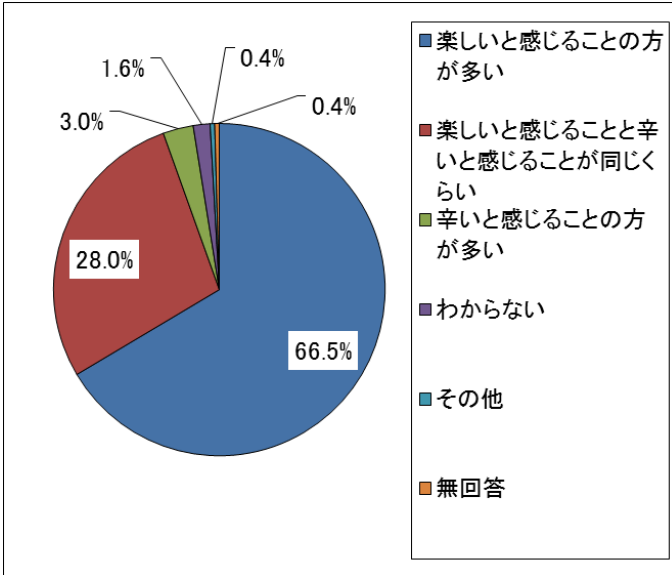
(2) 一日平均どれくらい子どもと接していますか（睡眠時間を除く）。



(3) 「仕事時間」と「家事(育児)」「プライベート時間」の優先度



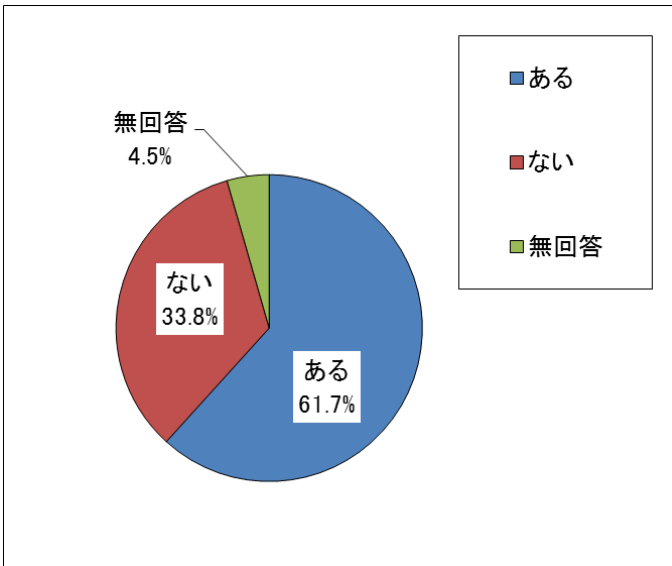
(4) 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



【特にどういう時に辛いと感じるか】

- ・子どもが言うことを聞いてくれない、兄弟げんかやかんしゃくを起こしたりして対応に困るとき 129件
- ・思いどおりに物事が進まない、時間に余裕がない時や自分の時間がない時。 121件
- ・自分の体調がすぐれない時でも育児を休めないとき 44件
- ・パートナーや周囲に頼ることができないとき 25件
- ・その他(こどもの発達など) 31件

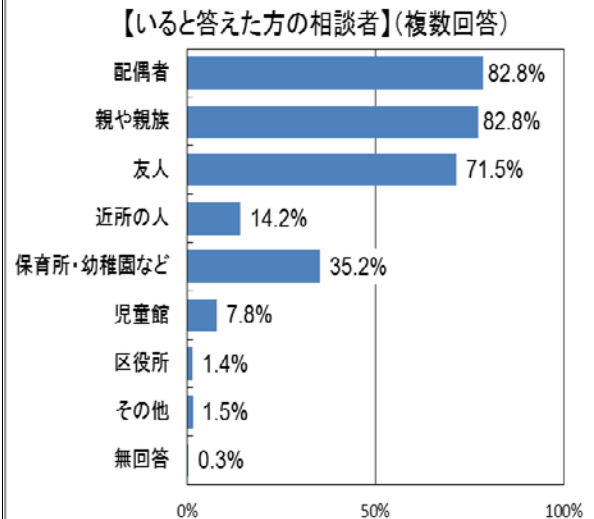
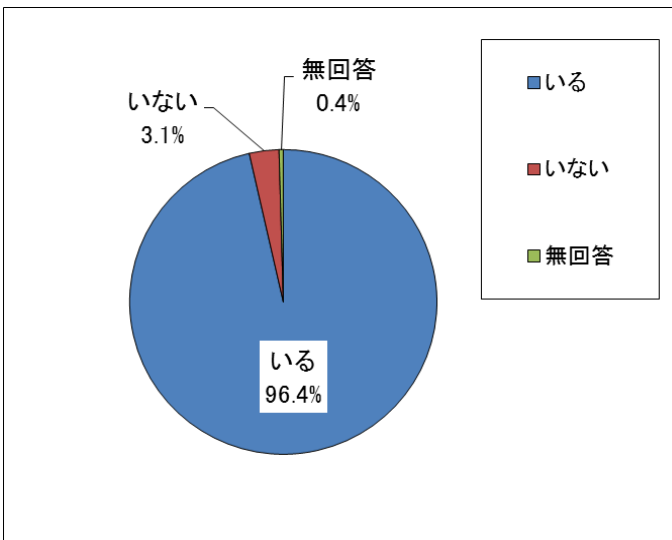
(5) 子どもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



【何に困る・困ったか】

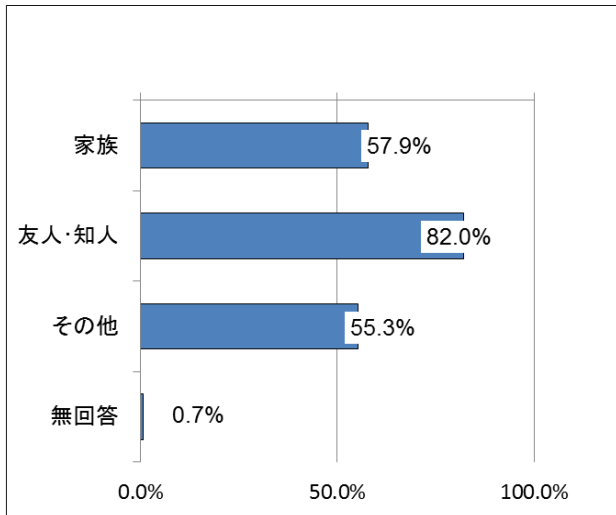
- ・道が狭い、段差が多い、エレベーターやエスカレーターがない等で移動が大変 91件
- ・子ども用トイレや親子で利用できるトイレが少ない 86件
- ・子ども連れで利用できる飲食店等が少ない 31件
- ・子どもの遊びスペース(キッズスペース)がない 17件
- ・交通機関等を利用する時に、迷惑そうにされたり、乗り降りが不便だったりする。 13件
- ・その他(分煙がされていないなど) 28件

(6) 子育てについて気軽に相談できる人がいるか

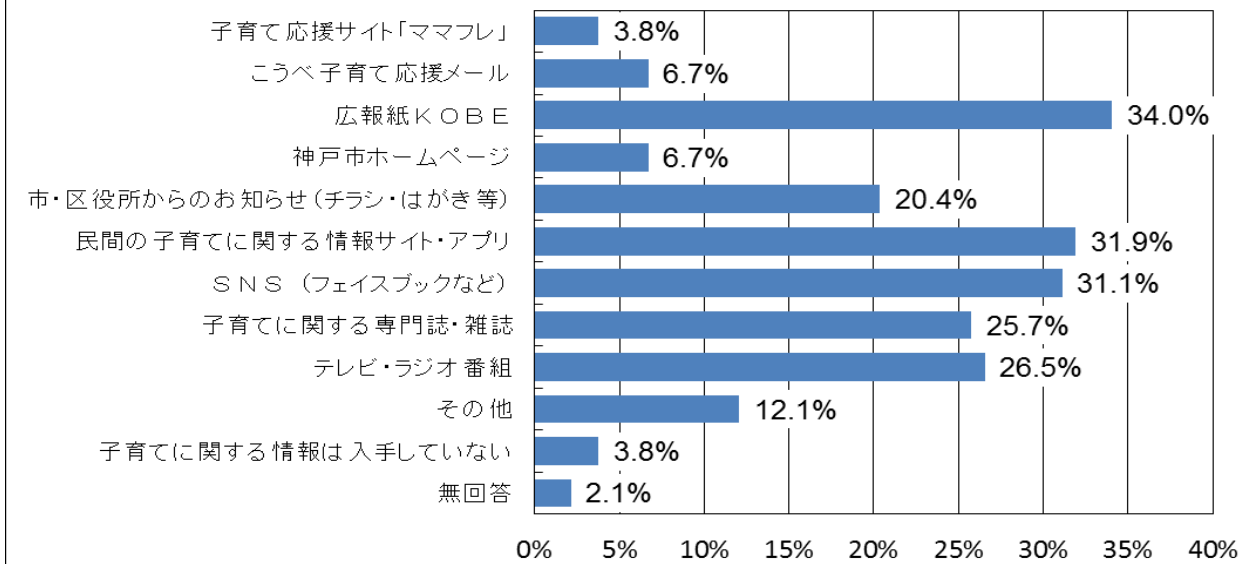


(7) 育児に関する情報についてどこから入手しているか

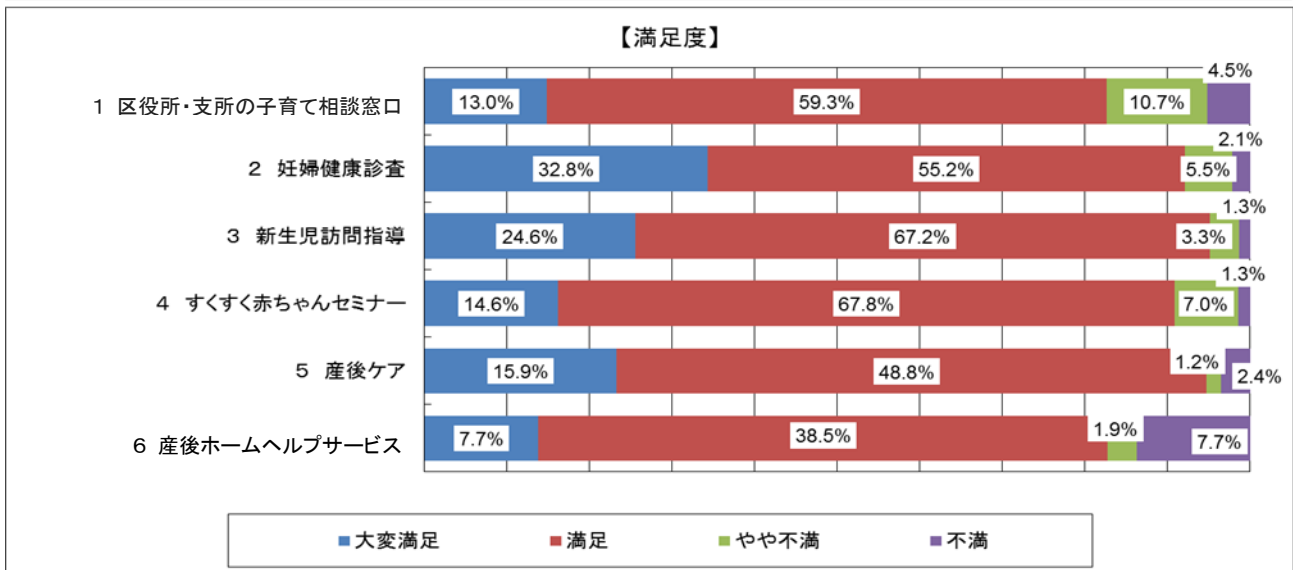
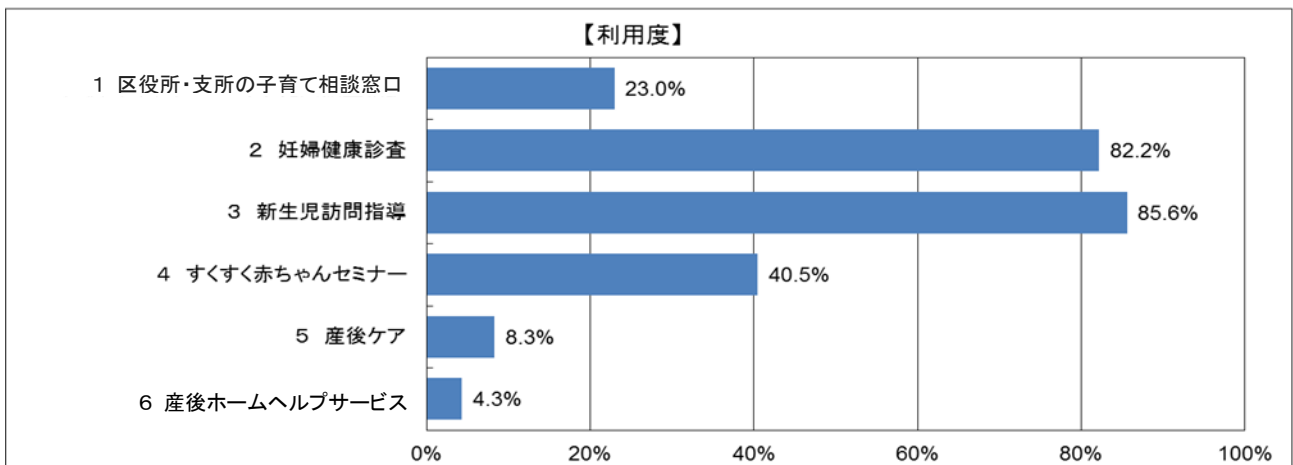
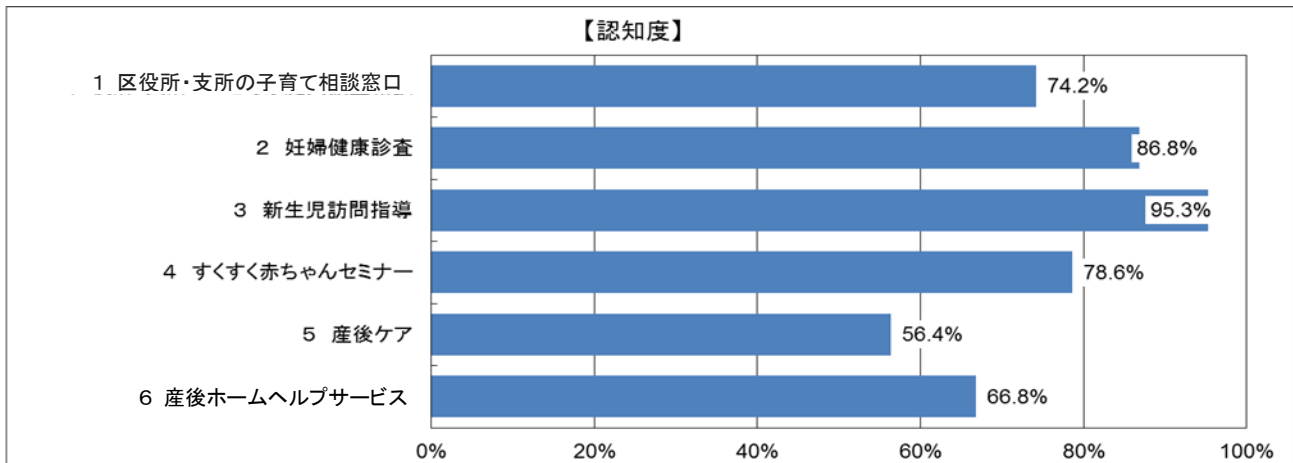
家族や友人・知人以外では、どこから情報を入手しているか



【どこから入手しているか】(その他と回答した人のみ)

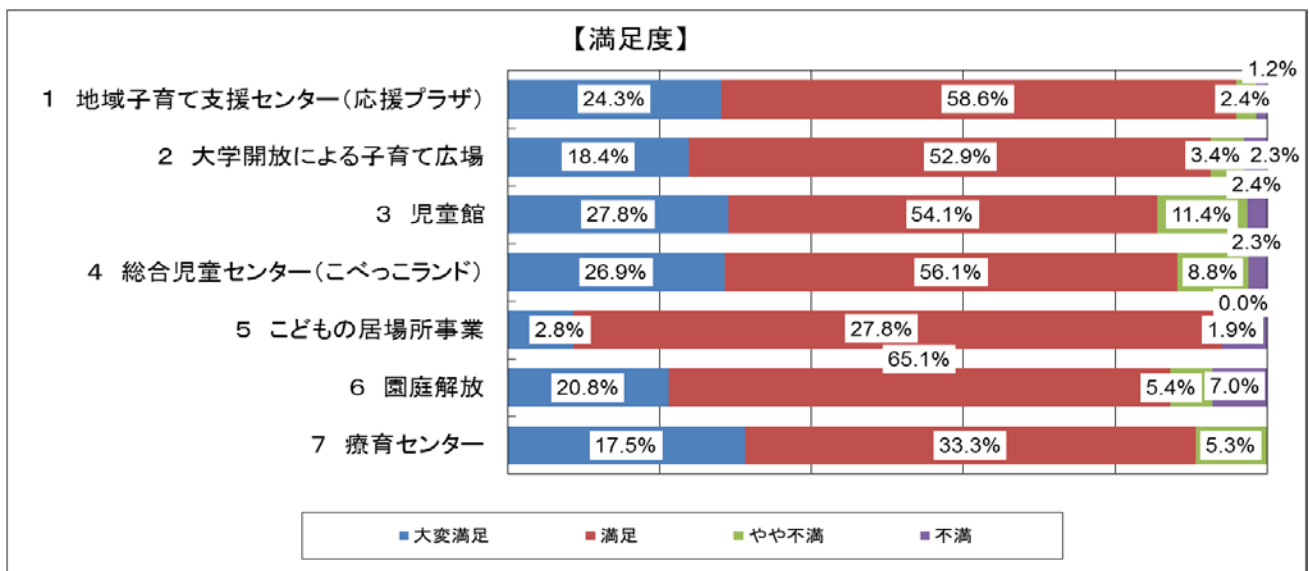
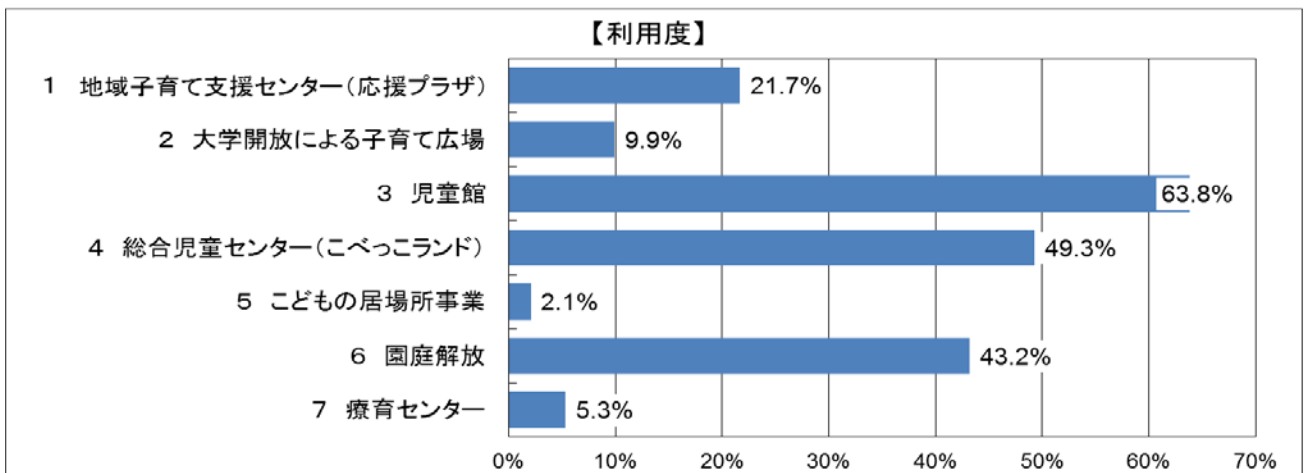
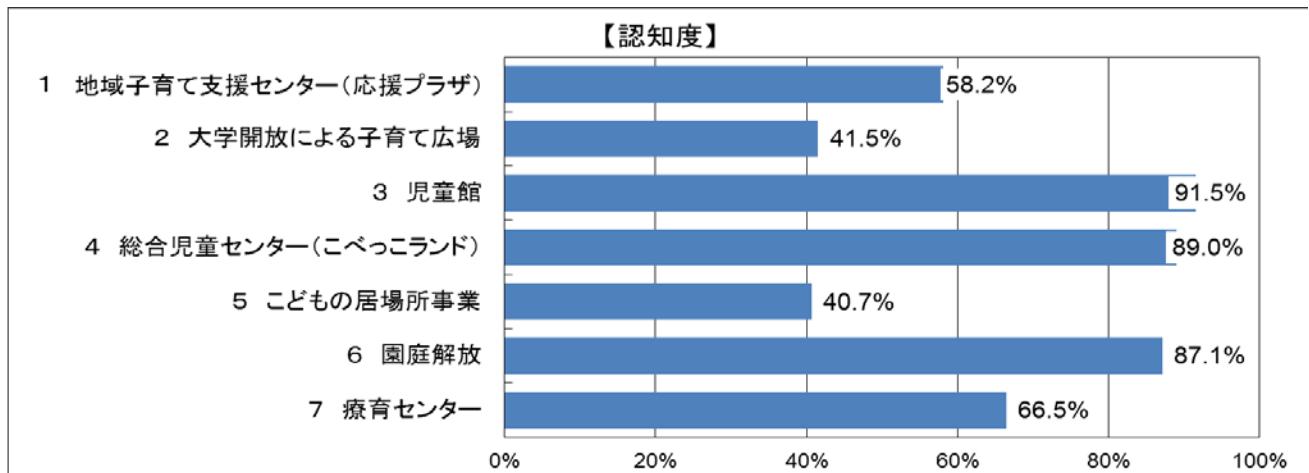


(8) ①母子保健事業の認知度、利用度、満足度



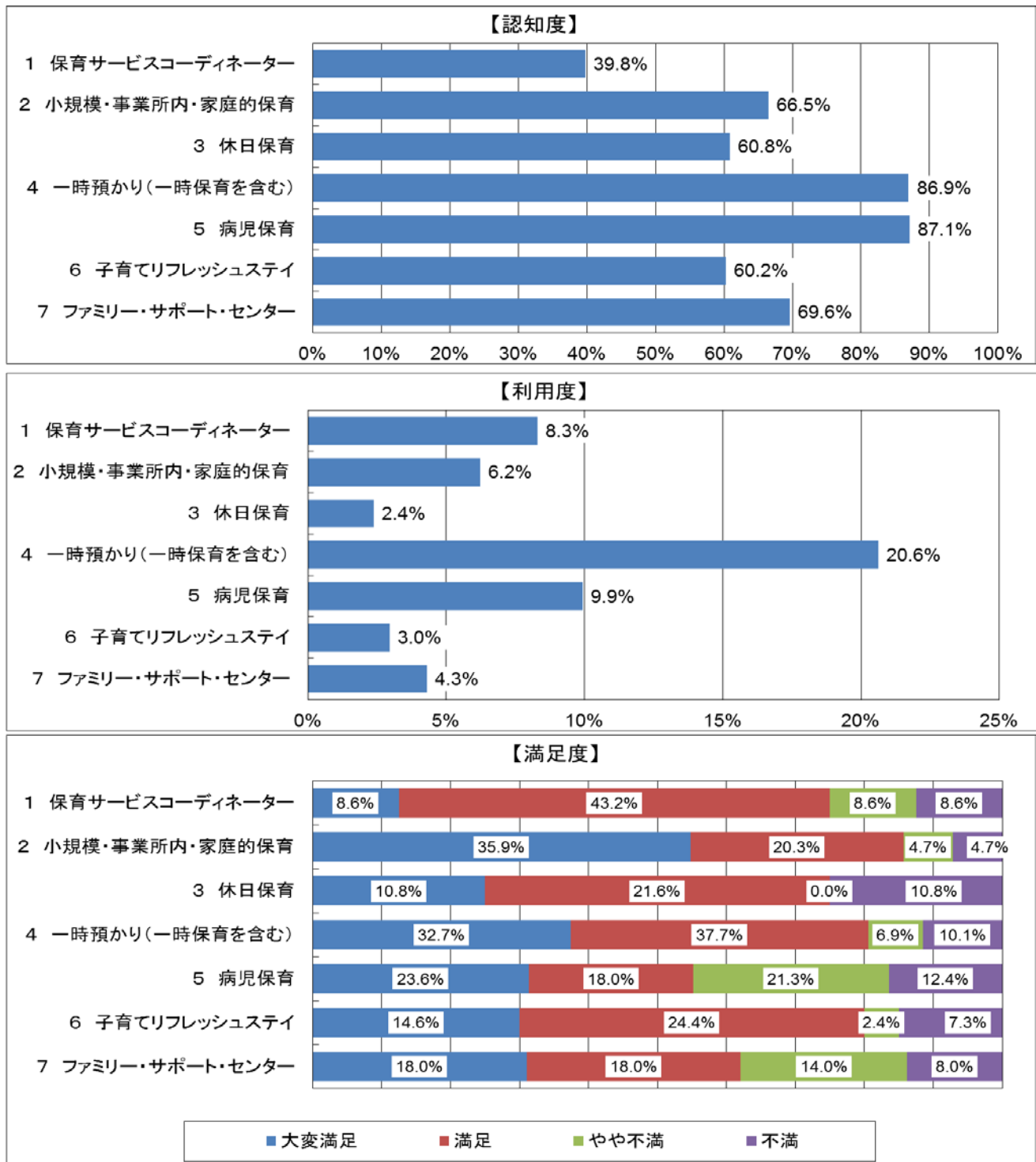
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由 (抜粋)
区役所・支所の子育て相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> 職員によって対応の丁寧さが異なる 保育園のことで相談したが、具体的な問題解決にはつながらなかった 必要な情報が得られない
産後ホームヘルプサービス	<ul style="list-style-type: none"> 必要な時すぐに利用できない 費用が高い
妊婦健康診査	<ul style="list-style-type: none"> 自己負担が発生した
新生児訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちに寄り添ってもらえなかった感じがあった
すくすく赤ちゃんセミナー	<ul style="list-style-type: none"> 長時間、話を聞くのが辛かった

(9) ①地域子育て支援事業の認知度、利用度、満足度



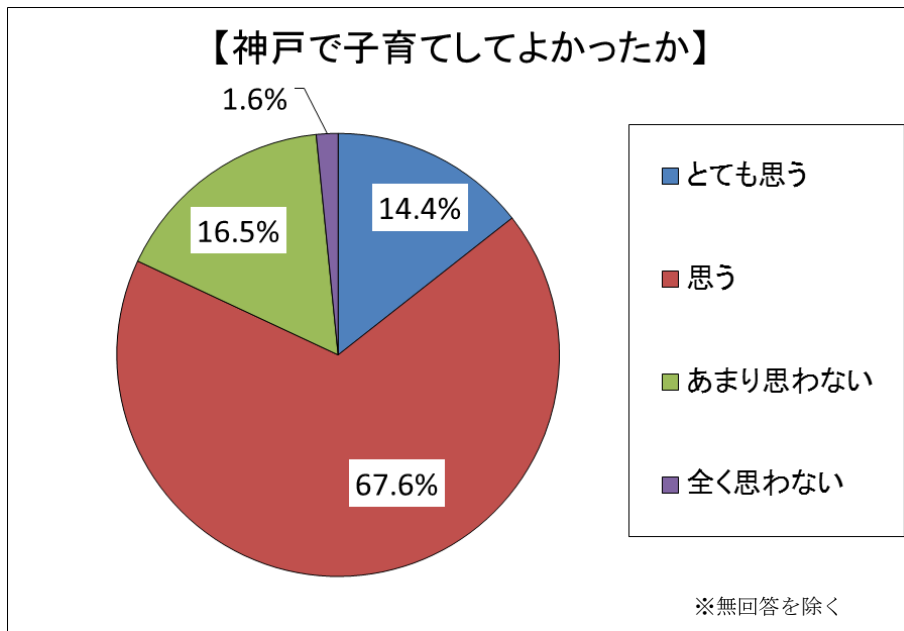
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由(抜粋)
児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに親同士のグループができており入りづらい ・おもちゃが古く汚い ・学童と一緒にゆっくり遊ばせられない
園庭開放	<ul style="list-style-type: none"> ・利用するには敷居が高い ・いつ、どこでしているのかわかりにくい
総合児童センター(こべっこランド)	<ul style="list-style-type: none"> ・人が多すぎる、狭い、圧迫感がある
地域子育て支援センター(応援プラザ)	<ul style="list-style-type: none"> ・人が多すぎる
療育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間が長すぎる

(10) ①保育サービスの認知度、利用度、満足度

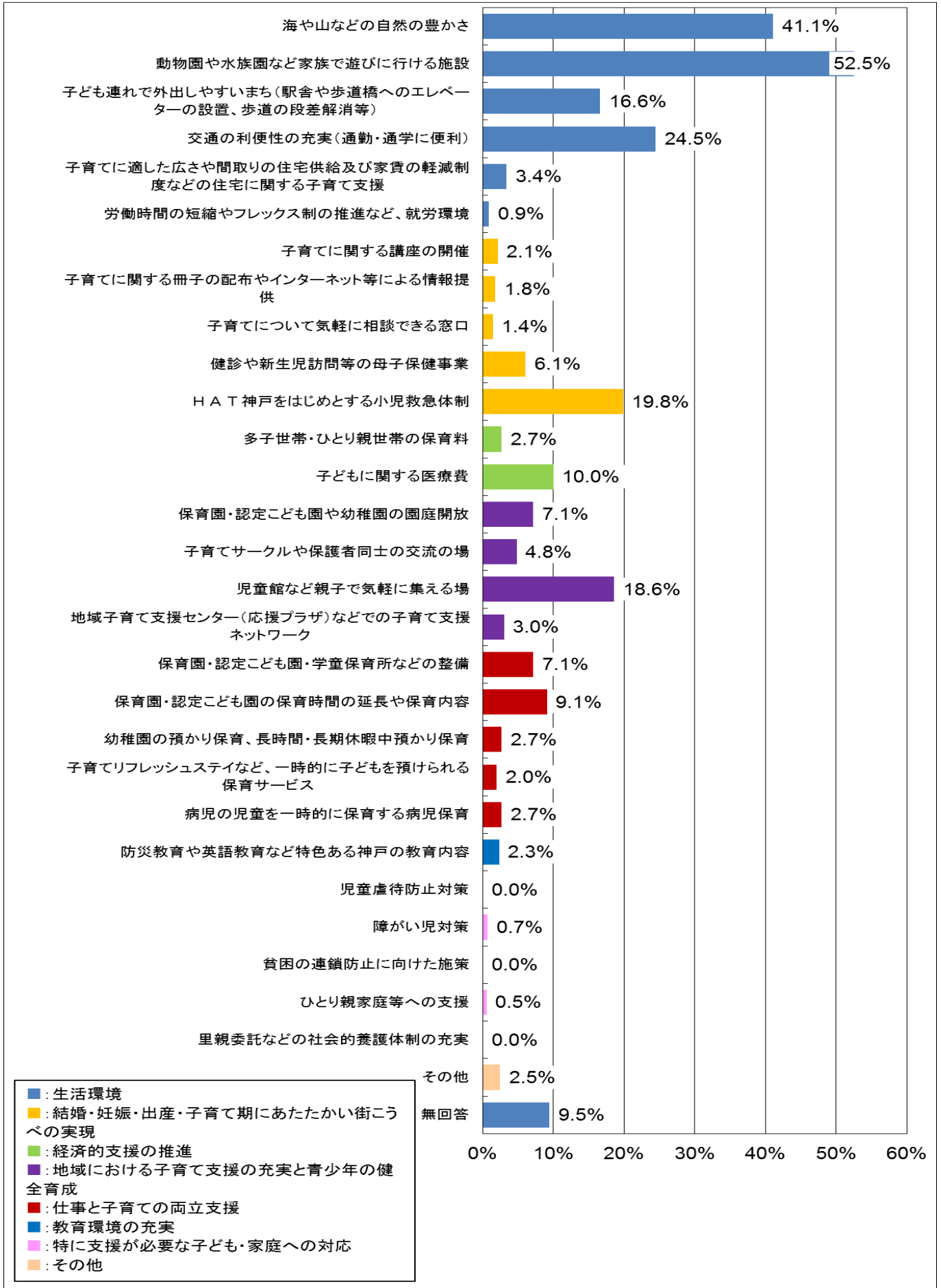


事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由(抜粋)
病児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・施設数・受け入れ人数が少ない ・手続きが面倒
ファミリー・サポート・センター	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に協力してくれる会員の人があまりいない ・手続きが難しい
保育サービスコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・職員によって対応に差がある
子育てリフレッシュステイ	<ul style="list-style-type: none"> ・定員いっぱいでの利用を断られる

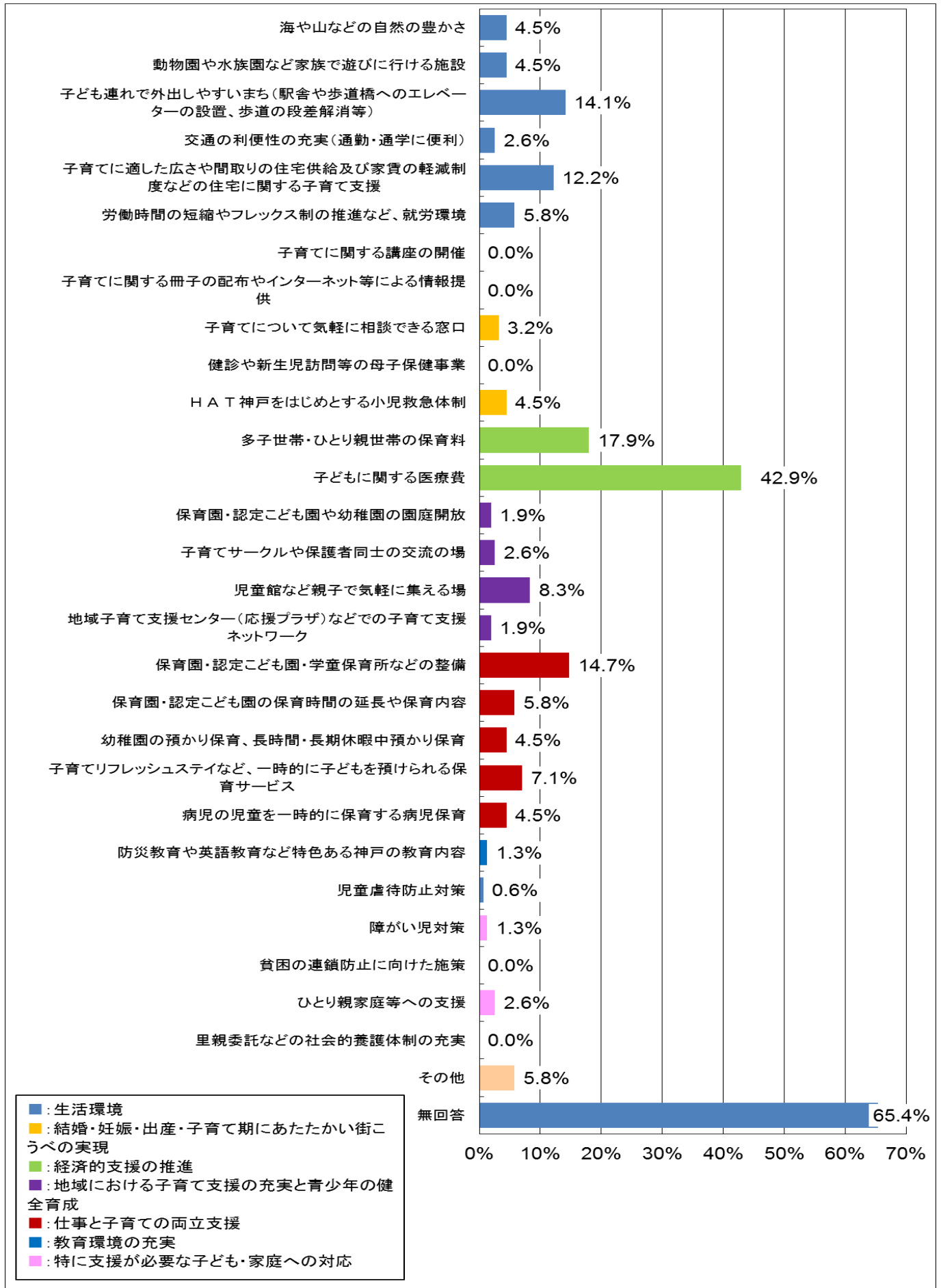
(11) ①神戸で子育てして良かったと思いますか。



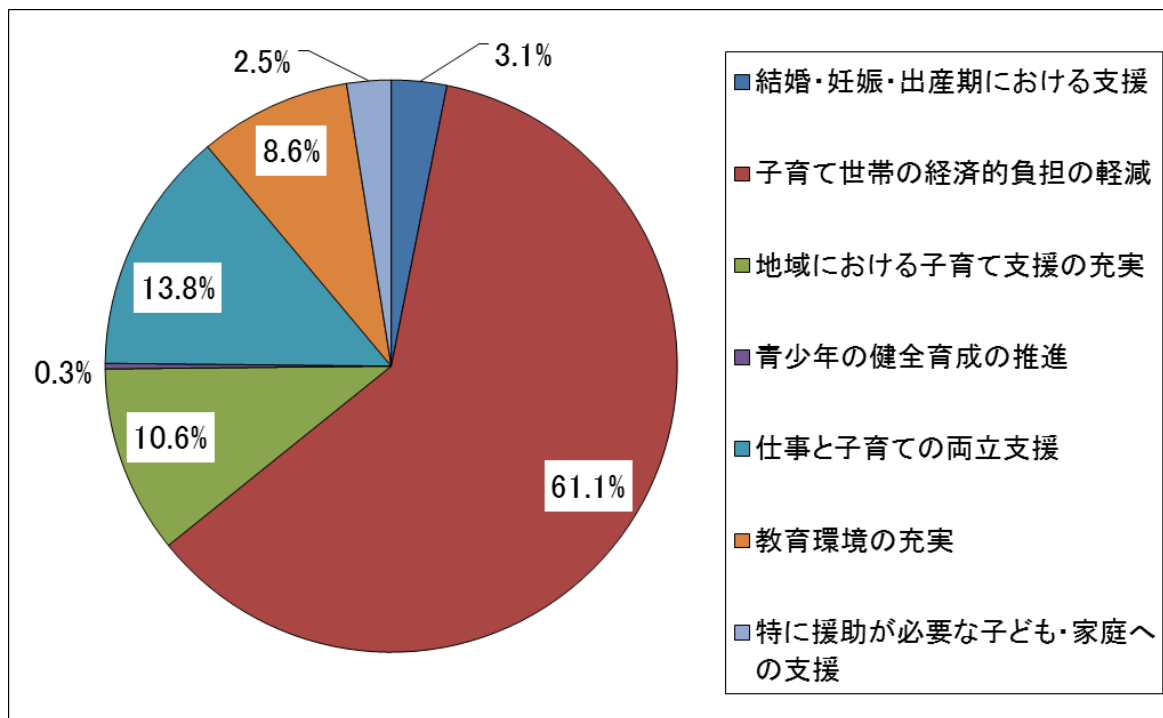
(11) ②「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよかったですか
(3つまで回答)



(11) ③「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（3つまで回答）



(12) 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



※無回答を除く

(12) 神戸市の子育て支援についての自由意見 (179 件) (抜粋)

経済的負担の軽減 (64件)
【こども医療費など (39件)】 医療費が中学生まで無料になれば助かります。
小児慢性の医療費が低減されありがたかったです。とても助かりました。違う地域に住んでいる方と話をしたりすると、神戸市で本当に良かったと感じました。
【保育料など (24件)】 もう少し多子世帯に経済的な所で支援してほしい、保育料も2人目無料など経済面を支援してほしいです。
仕事と子育ての両立 (37件)
仕事をしながら、安心して預けられる保育園を増やしてほしい。
保育園を増やしていただくのは有難いのですが、同時に保育士の質の維持にもつとめていただきたいです。
病児保育を行っていただける施設がもう少し増えるとありがたいです。
地域施設・人材と連携した子育て支援 (37件)
【学童・児童館 (14件)】 学童保育に不安があります。警報時も預かりをしてほしいです。
【子育て施設等の充実 (23件)】 こべっこランドはとても良いと思いますが、何か所かに同じような施設を作っていただけると良いと思います。
誰もが暮らしやすいまちづくり (道路、トイレ、公園など) (21件)
道が悪いところが多く、ベビーカーや自転車も通りにくく、段差も多いし、とても歩きにくい。
大きな公園や水あそびができる場所があれば、きっともっと人は集まると思います。
教育環境の充実 (10件)
中学校の給食があまりおいしくないと聞きました。予算がないのかもしれませんが、小学校のようにおいしくできないのかなと思います。
母子保健の充実 (8件)
産後ケア制度をもっと低額で利用できれば良いと思います。
子育て情報発信 (7件)
色々な支援があることは良いと思うが、知らないことも多かった。もっと広報すべきだと思う。
防災に関すること、災害時の対策、避難所を分かりやすく表示するなどの情報発信を積極的に行ってもらいたい。
特に支援が必要な子ども・家庭への対応 (5件)
発達検査が2~3カ月待ち。なんとかならないのかなと思っています。
小児救急医療体制 (4件)
休日にもっと身近な病院で救急医療を受けることができたらと思います。子どもの命に関わるような急を要する時は、HAT神戸までは遠すぎると感じました。
その他 (26件)
窓口の方がいつも親切で安心して子育てができています。セミナーなどでお友達もできて、一人で子育てするということなく、とても助かりました。

(2) 施設利用者調査結果

1. 調査時期

平成30年7月

2. 調査対象

原則、各事業につき、実施箇所全施設を対象

①保育所

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

②認定こども園

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

③幼稚園

公立4名・民間6名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

④児童館

各施設20～40名の保護者を対象に実施

⑤大学と連携した子育てひろば

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑥学童保育

各施設5名を無作為抽出し、保護者、子どもを対象に実施

⑦一時保育

各施設、調査期間中の利用者8名を対象に実施

⑧子育てリフレッシュステイ

各施設、調査期間中の利用者10名を対象に実施

⑨病児保育

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑩ファミリー・サポート・センター

依頼会員（両方会員含む）から300名を無作為抽出し、実施

⑪小規模保育 ⑫事業所内保育 ⑬家庭的保育

各施設、調査期間中の利用者6名（5名未満の施設についてはその人数）を対象に実施

I 保育所

1 調査方法

公立保育所 58 箇所及び私立保育所 57 箇所計 115 箇所を通じて、保育所ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

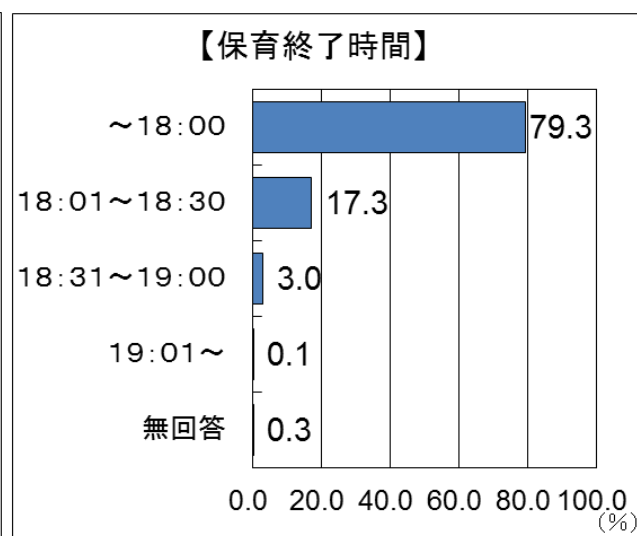
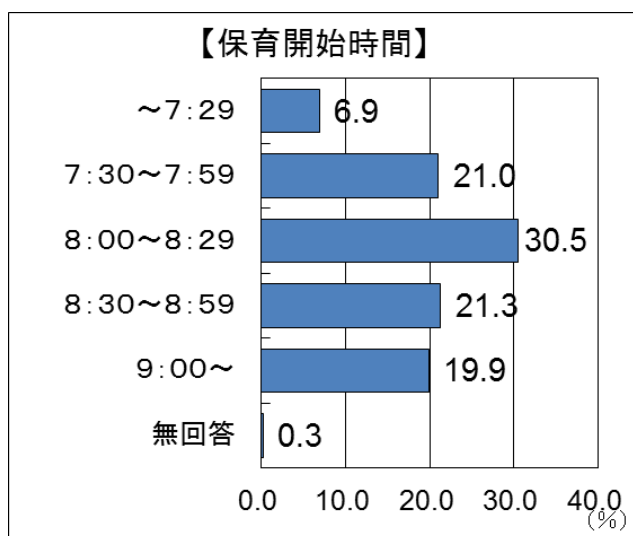
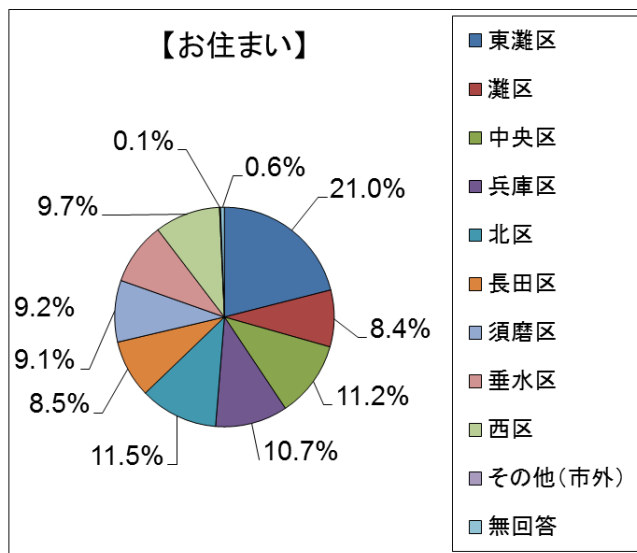
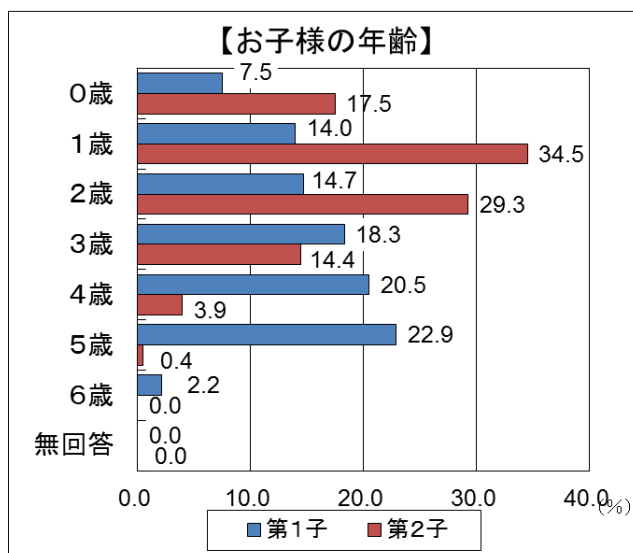
2 調査期間 平成 30 年 7 月

3 配布等

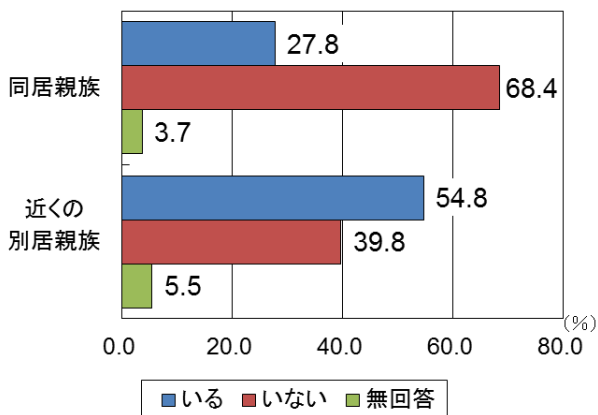
- (1) 配布数 1,290 セット (公立 : 664 私立 : 826)
- (2) 回収 695 サンプル (公立 : 343 私立 : 352)
- (3) 回収率 53.9% (公立 : 51.7% 私立 : 56.2%)

4 回答

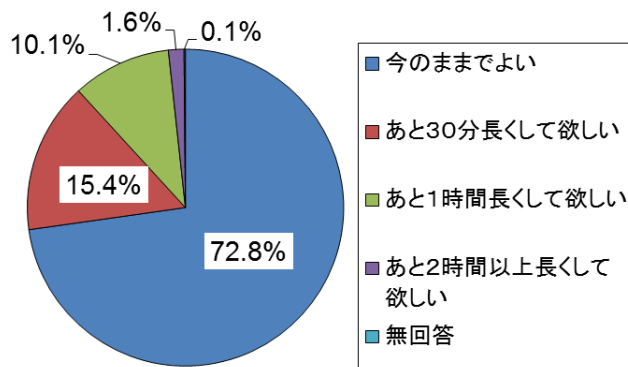
【全体】



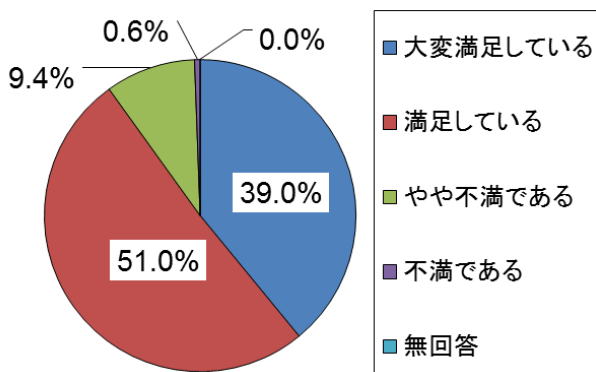
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

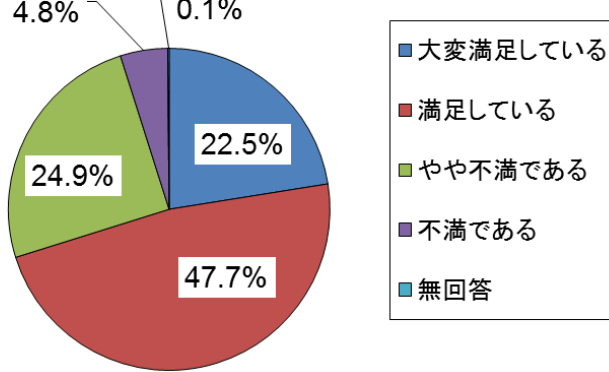


【保育内容全般について】



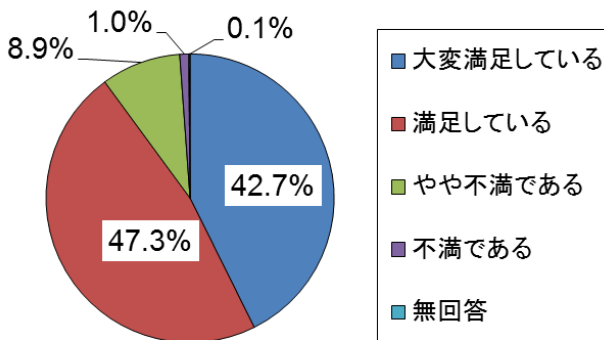
※「やや不満」「不満」の理由
 ・先生の数が足りないように感じる
 ・運動や教育の時間を増やしてほしい など

【建物や園庭などの施設について】



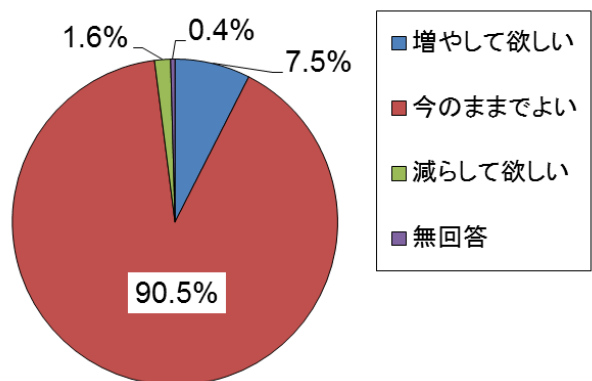
※「やや不満」「不満」の理由
 ・建物が古い
 ・防犯設備が不十分
 ・園庭が狭い など

【職員の対応について】

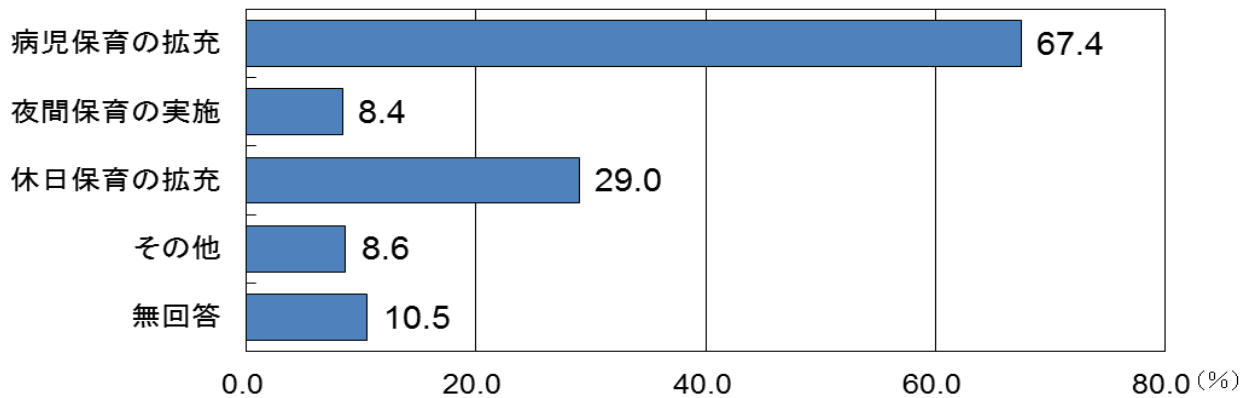


※「やや不満」「不満」の理由
 ・あいさつをしない職員がいる
 ・職員の数、対応に差がある
 ・子どもに対して言い方がきつい など

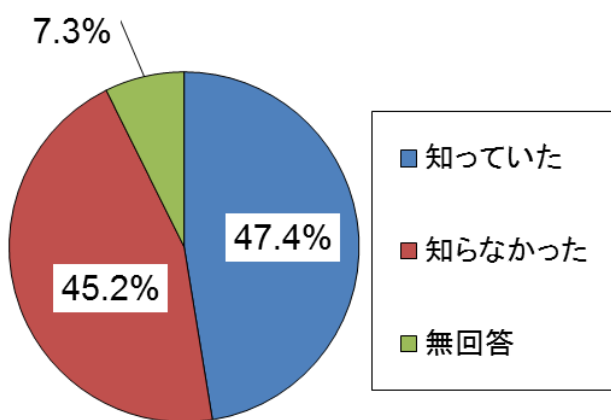
【地域の親子との交流について
(園庭開放など)】



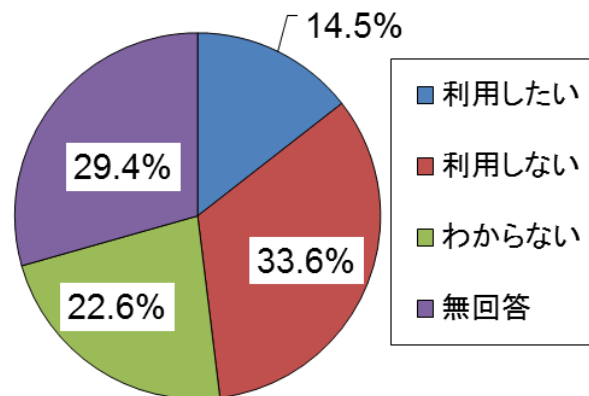
【特に充実して欲しい支援策は】



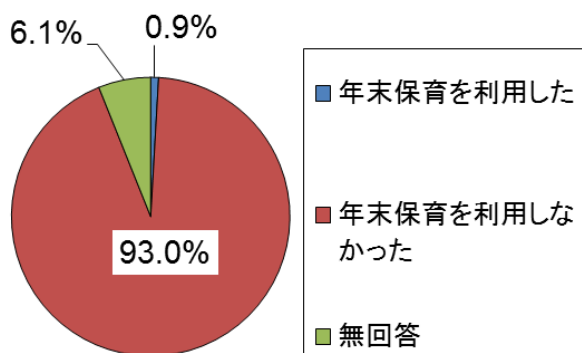
【年末保育の実施について】



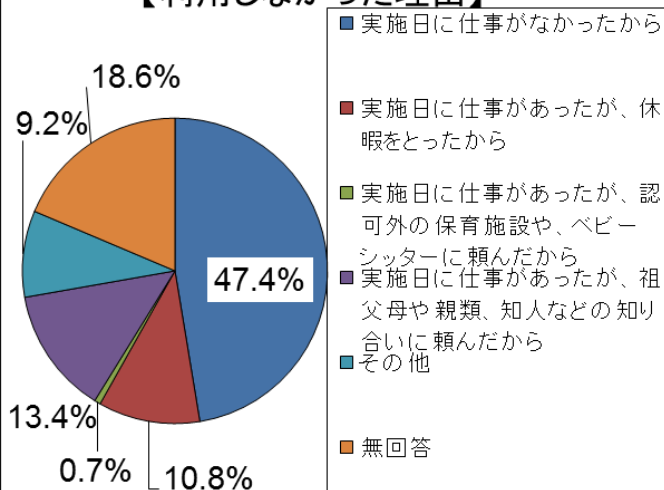
【今後、年末保育があれば利用したいか】



【年末保育の利用について】



【利用しなかった理由】



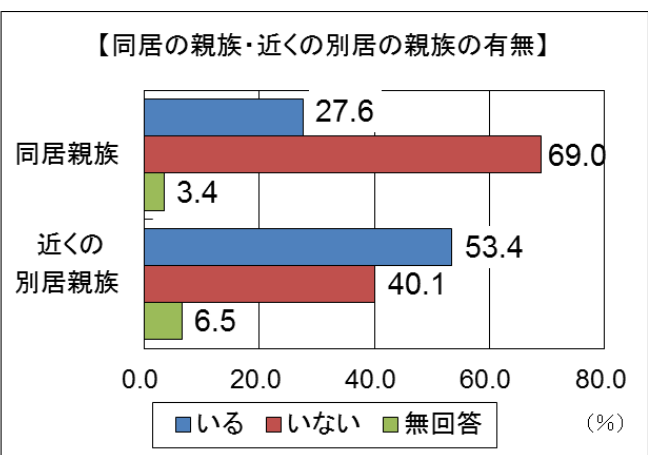
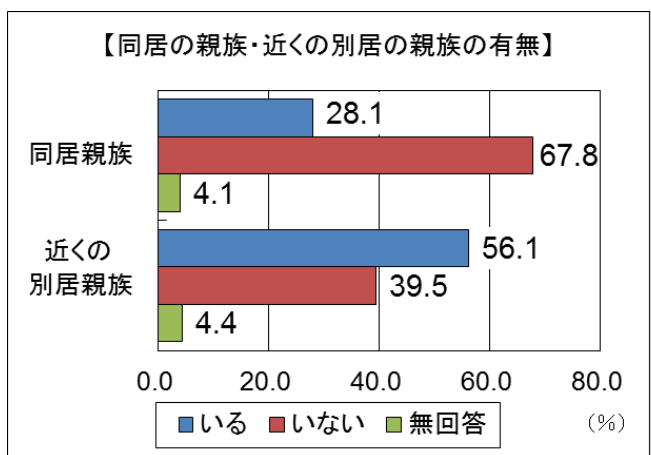
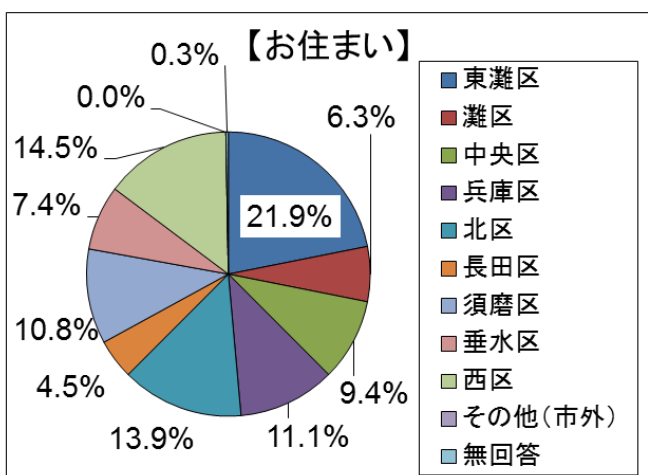
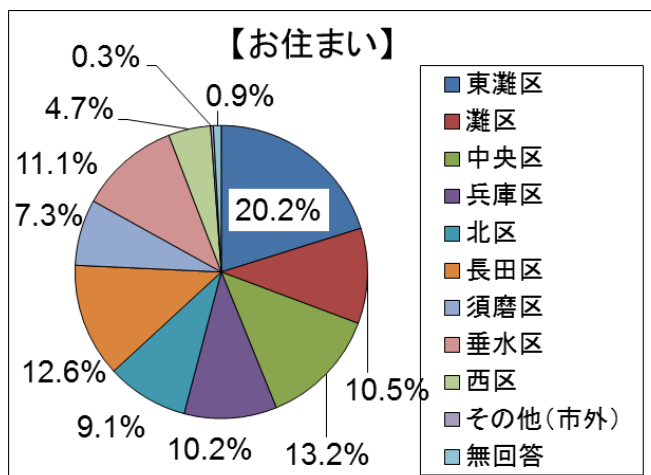
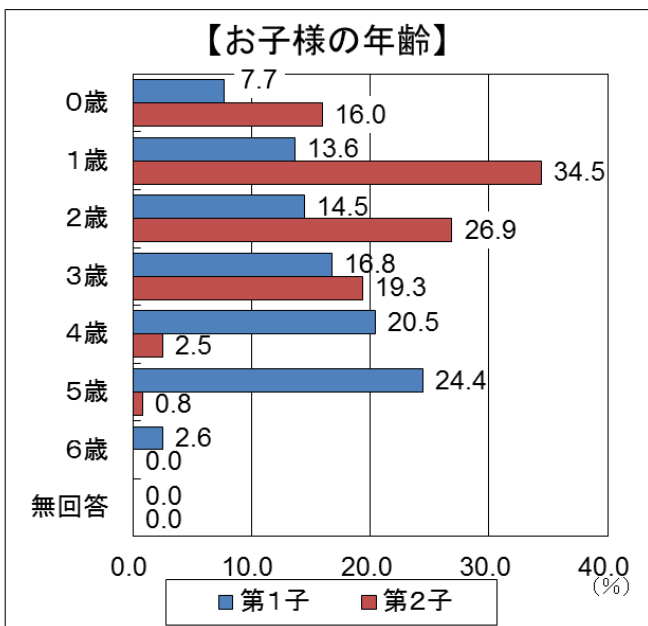
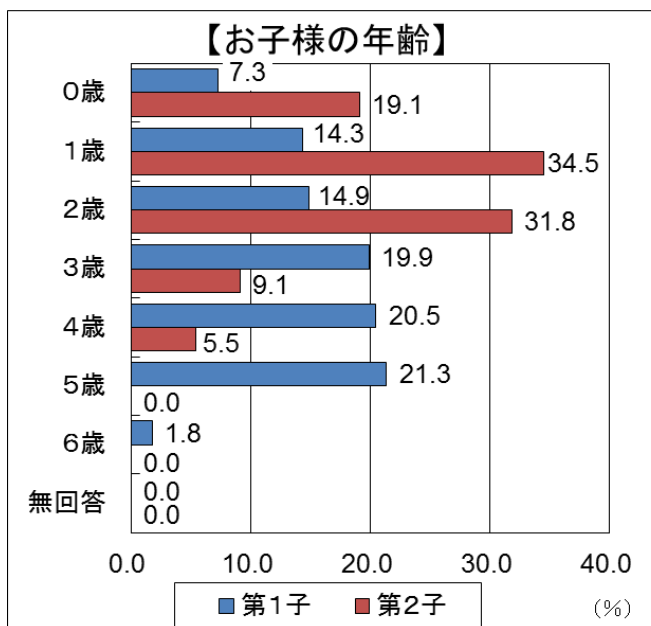
【自由意見】 224 件

・ 人員体制を充実させ、保育の質をあげてほしい等	46 件	
・ 土日祝の休日保育を充実してほしい等	32 件	
・ 設備が古いので改善してほしい等	25 件	
・ 保育料を減額または免除してほしい等	20 件	他

【保育所についての公設民設別アンケート結果】

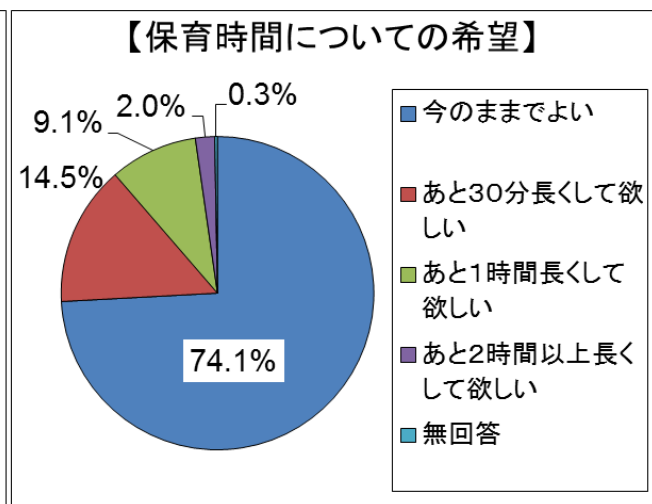
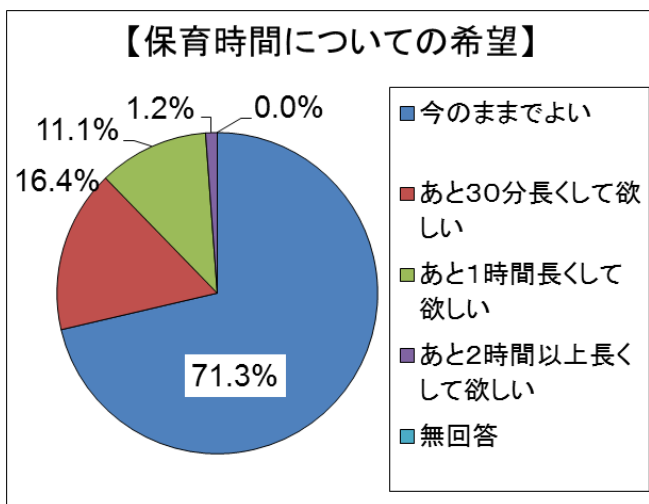
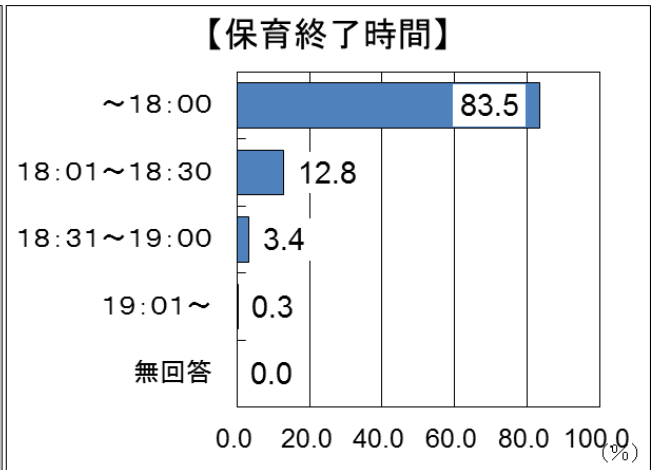
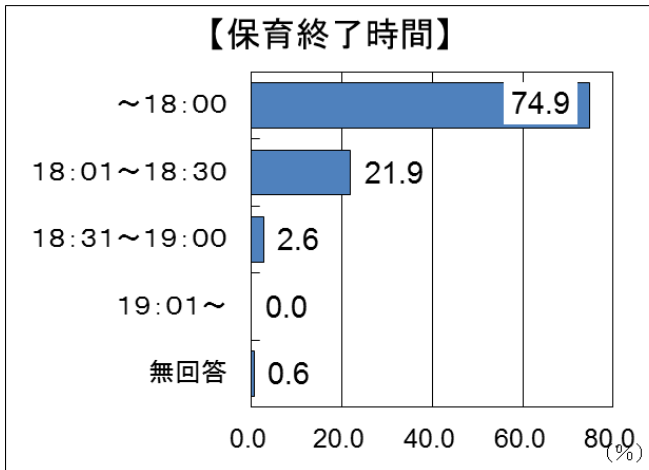
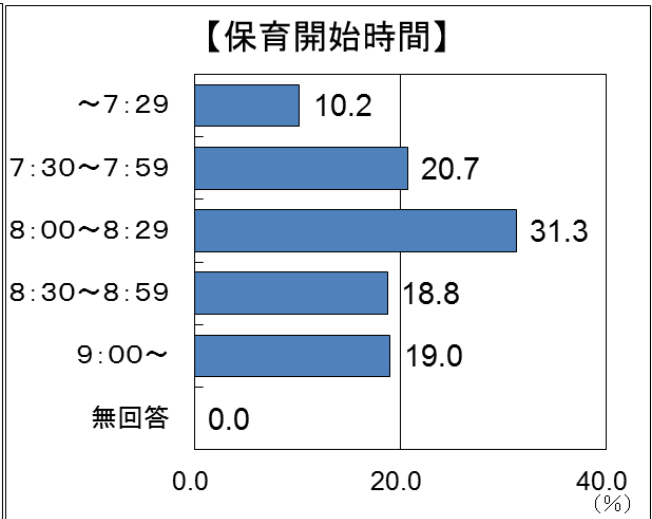
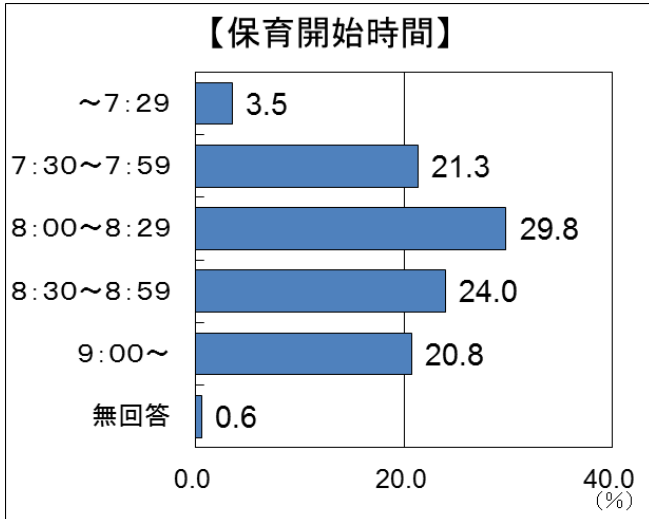
【公設】 n=343

【民設】 n=352



【公設】 n=343

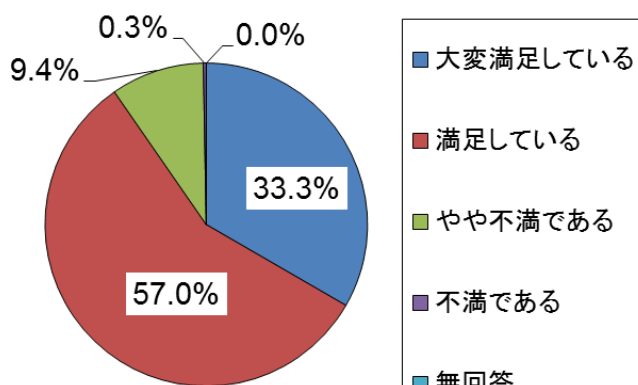
【民設】 n=352



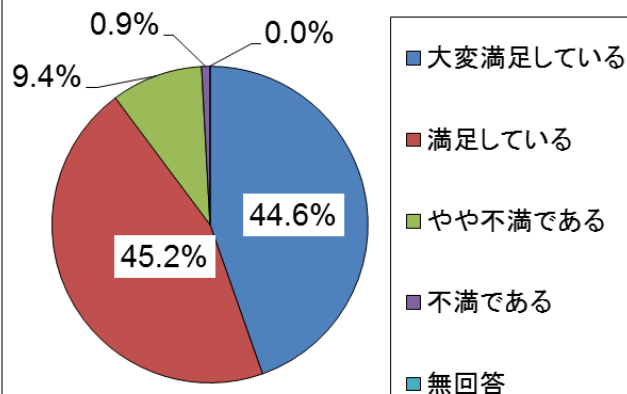
【公設】 n=343

【民設】 n=352

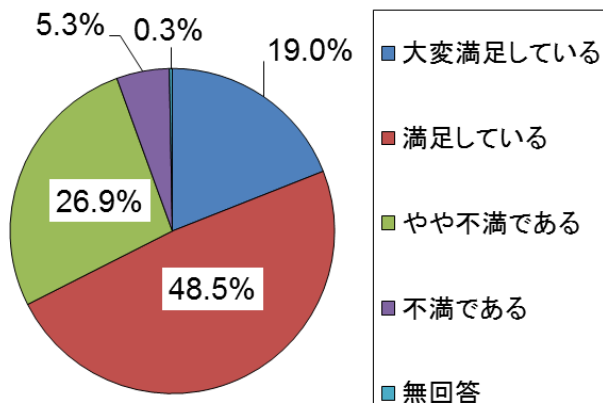
【保育内容全般について】



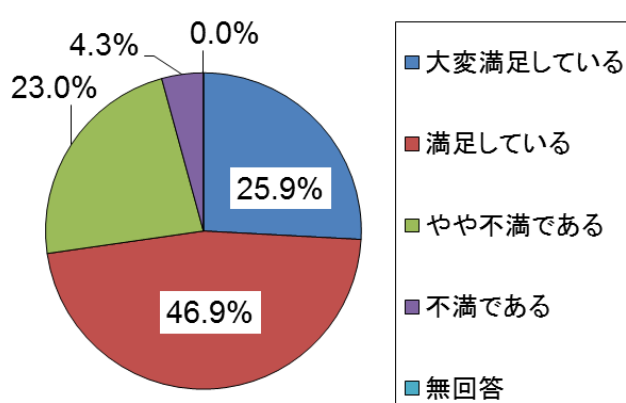
【保育内容全般について】



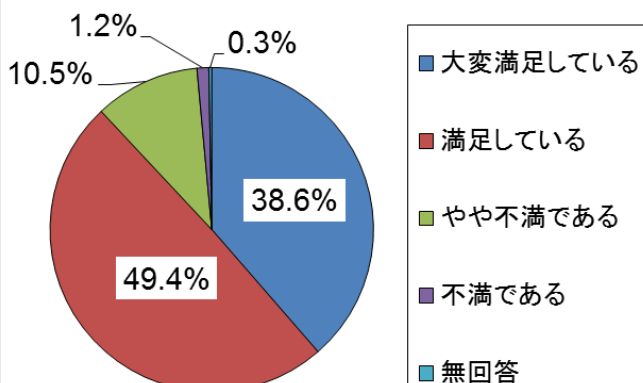
【建物や園庭などの施設について】



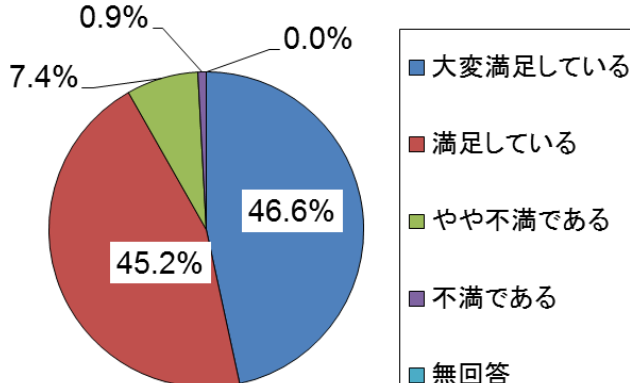
【建物や園庭などの施設について】



【職員の対応について】

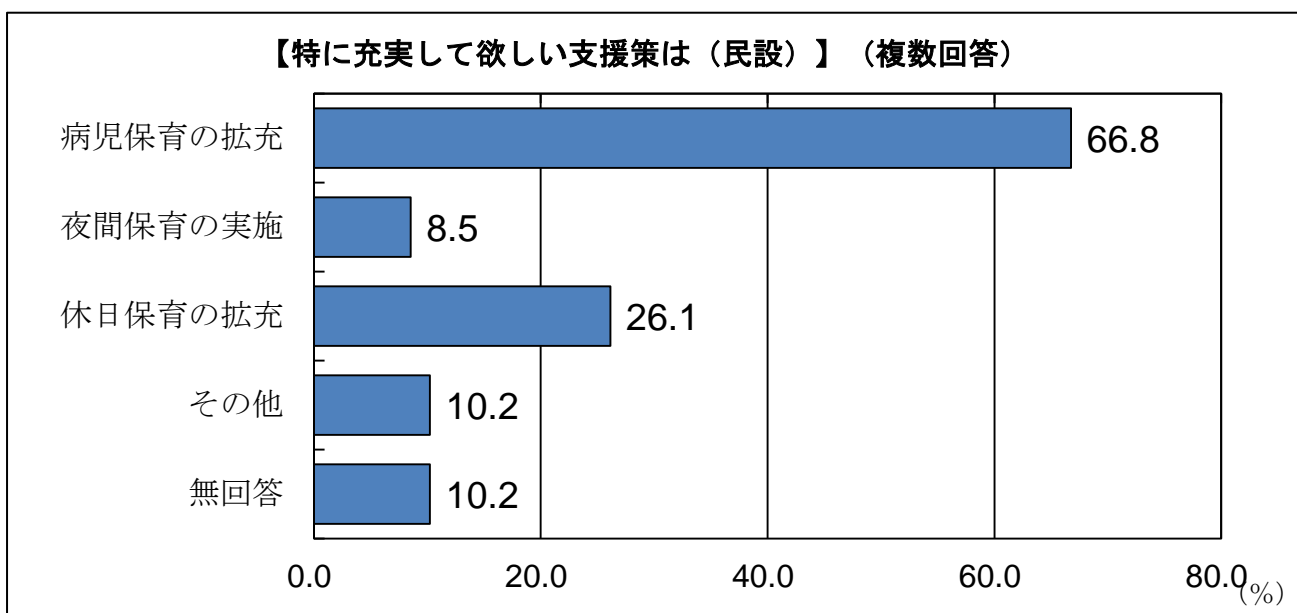
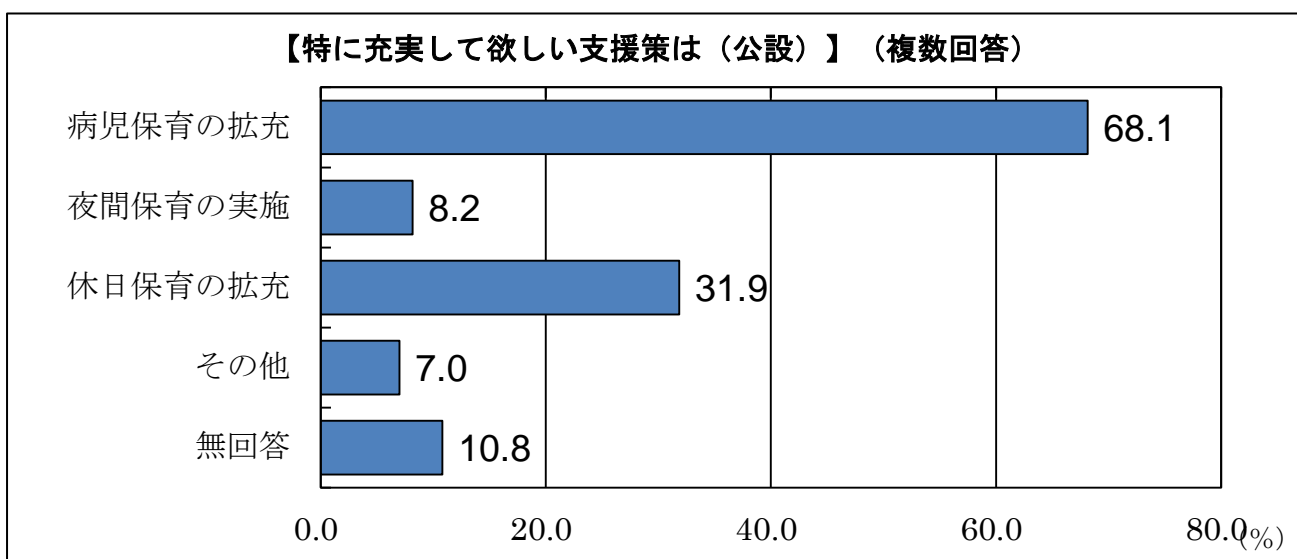
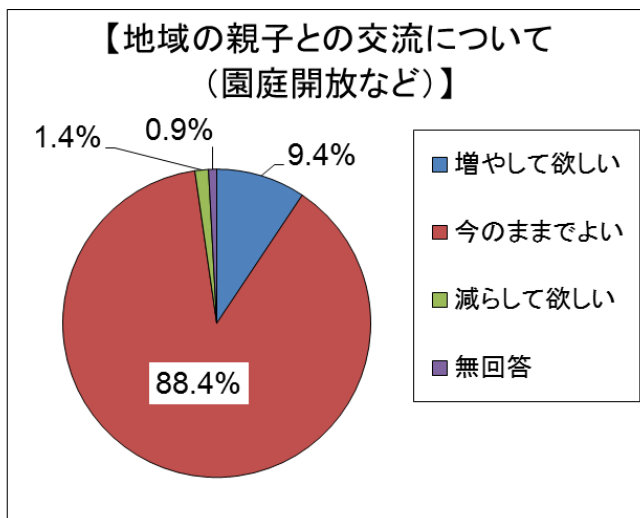
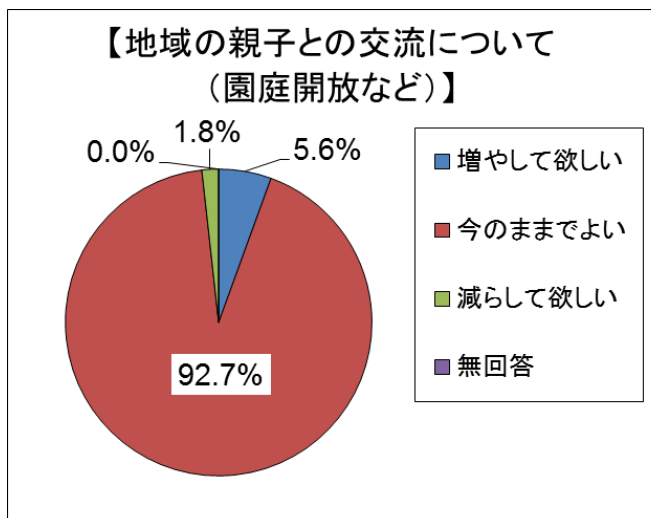


【職員の対応について】



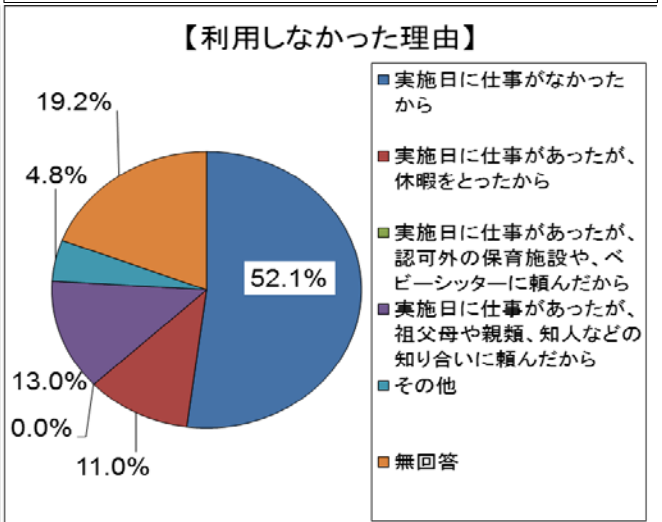
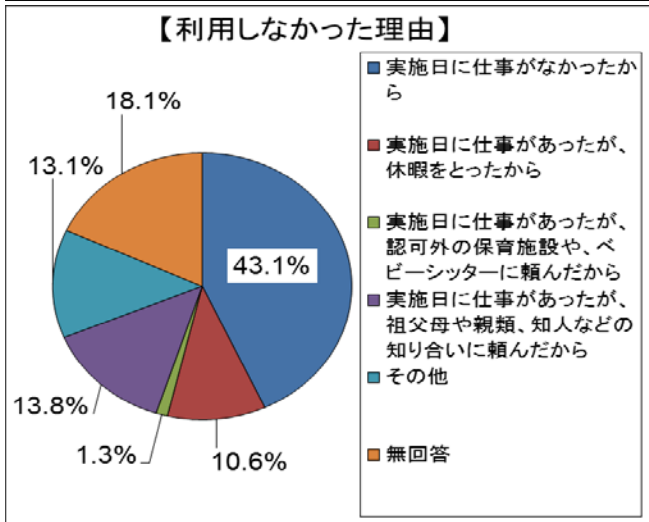
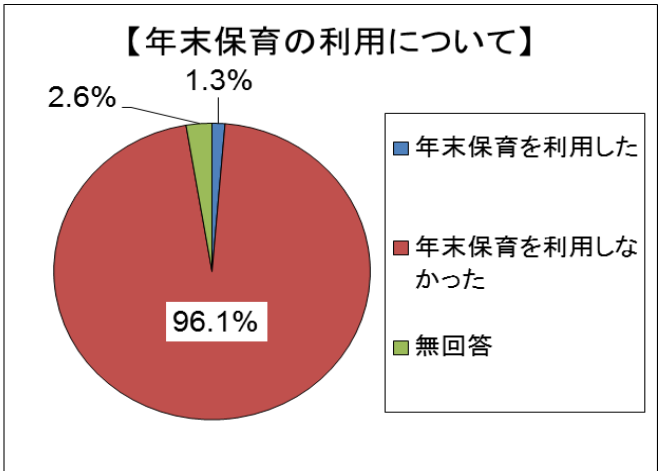
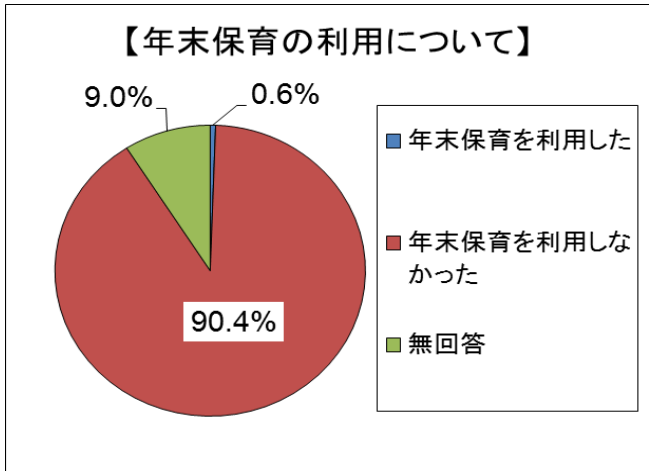
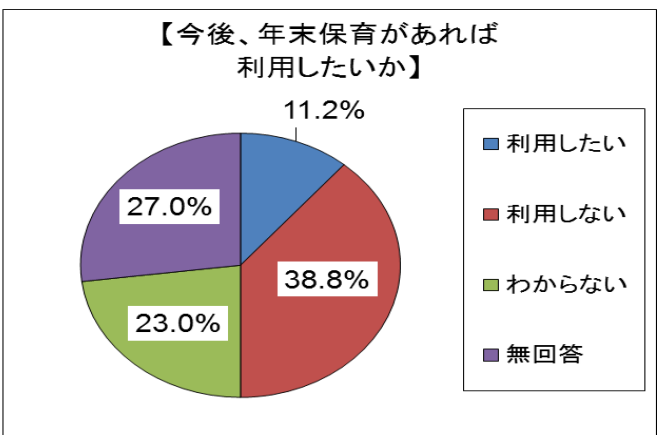
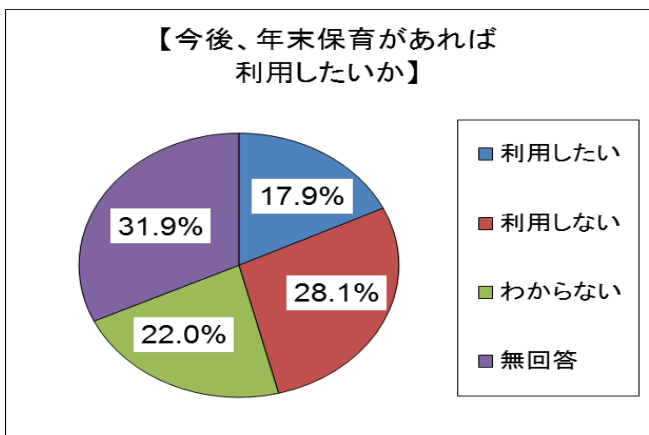
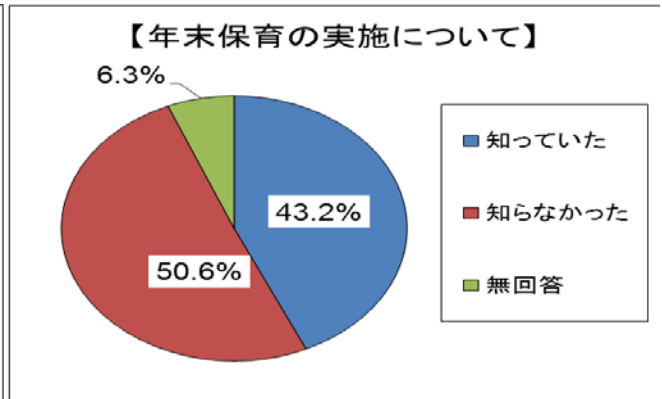
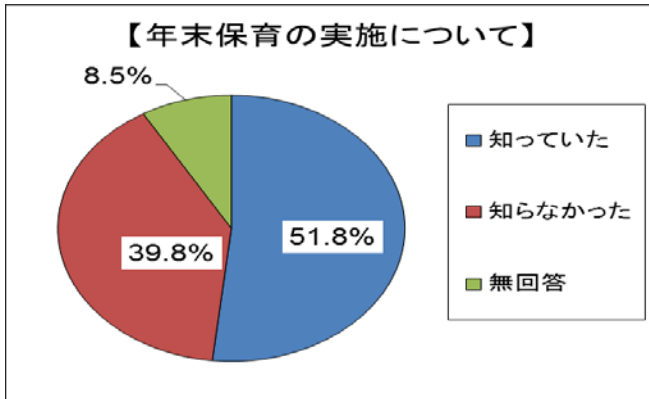
【公設】 n=343

【民設】 n=352



【公設】 n=343

【民設】 n=352



Ⅱ 認定こども園

1 調査方法

幼保連携型認定こども園 134 箇所及び幼稚園型認定こども園 15 箇所計 149 箇所を通じて、認定こども園ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

2 調査期間 平成 30 年 7 月

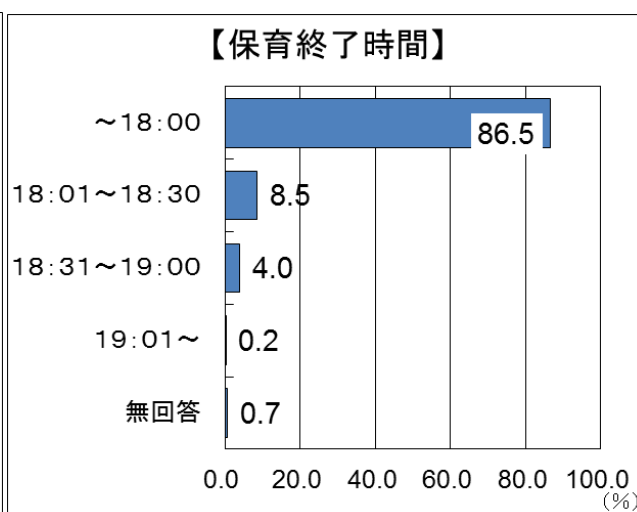
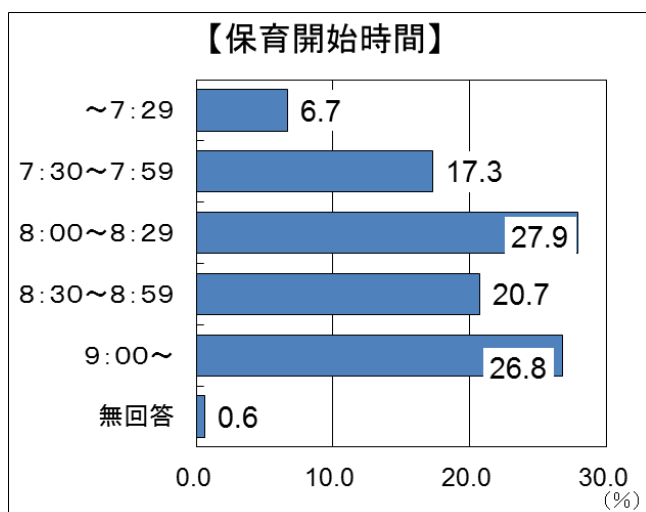
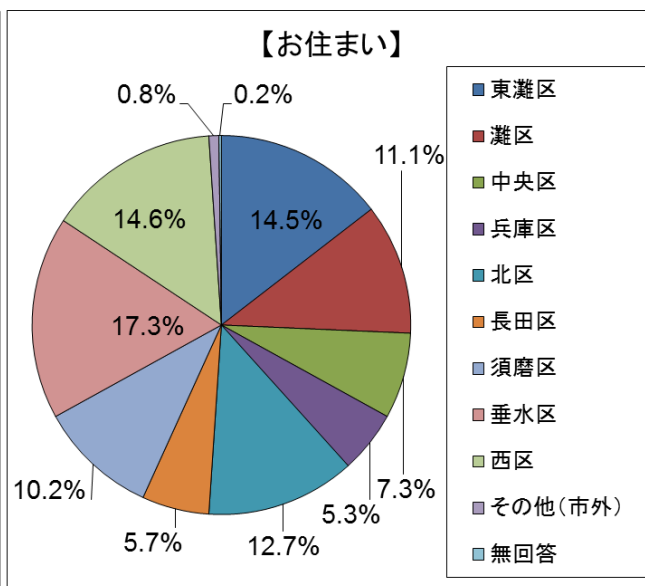
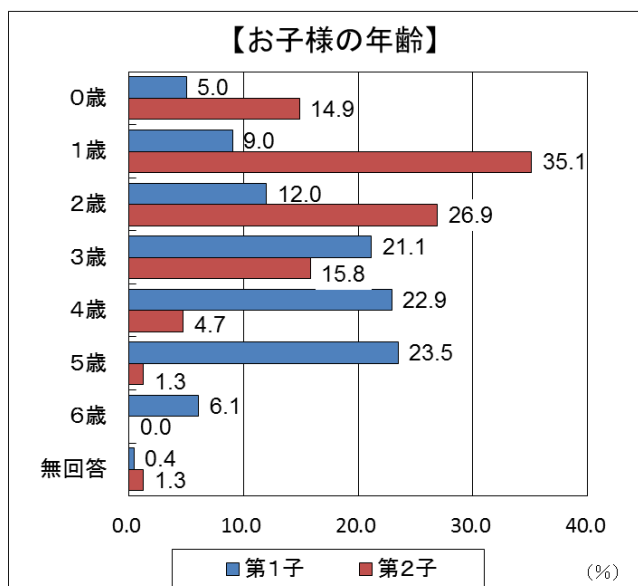
3 配布等

(4) 配布数 1,644 セット (幼保連携型：1,523 幼稚園型：121)

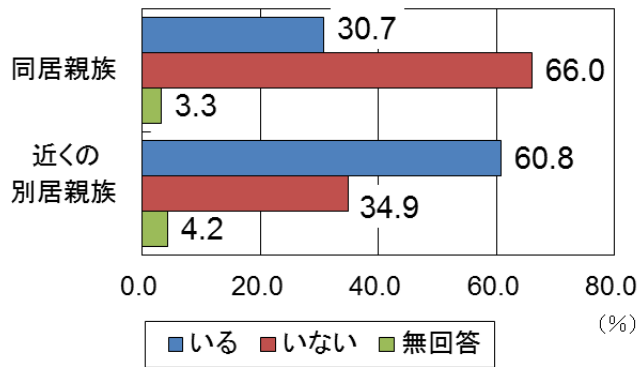
(5) 回収 942 サンプル

(6) 回収率 57.3%

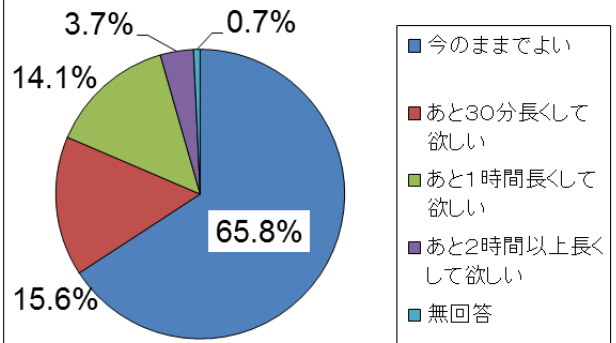
4 調査結果



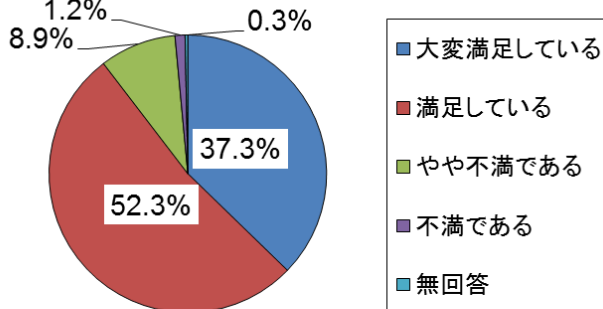
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

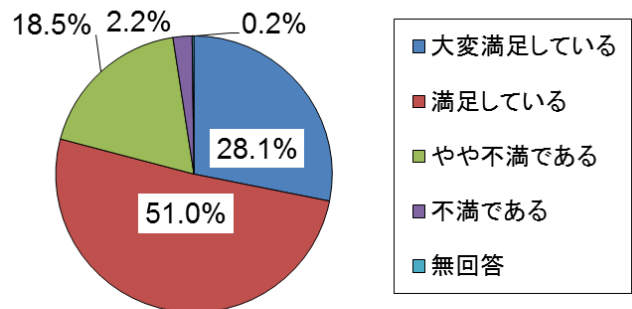


【保育内容全般について】



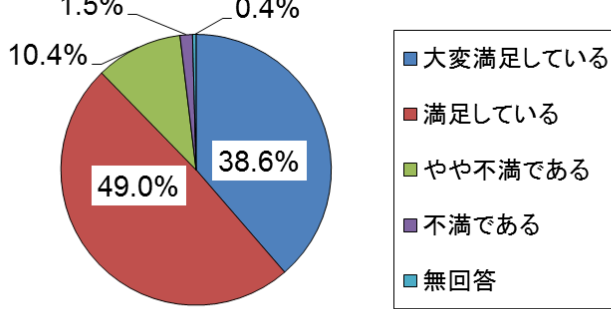
※「やや不満」「不満」の理由
 ・教育をもっと充実させてほしい
 ・外遊びの時間が不十分
 ・保育士が足りていないように感じる など

【建物や園庭などの施設について】



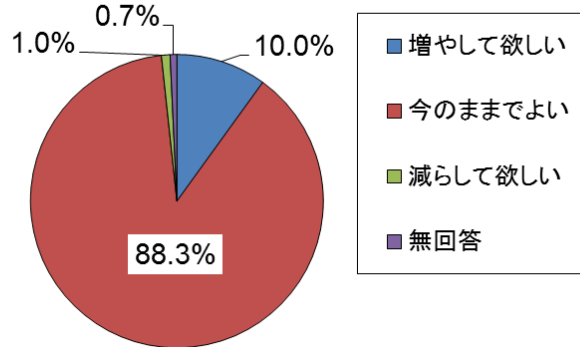
※「やや不満」「不満」の理由
 ・園庭が狭い
 ・建物・設備が古い など

【職員の対応について】

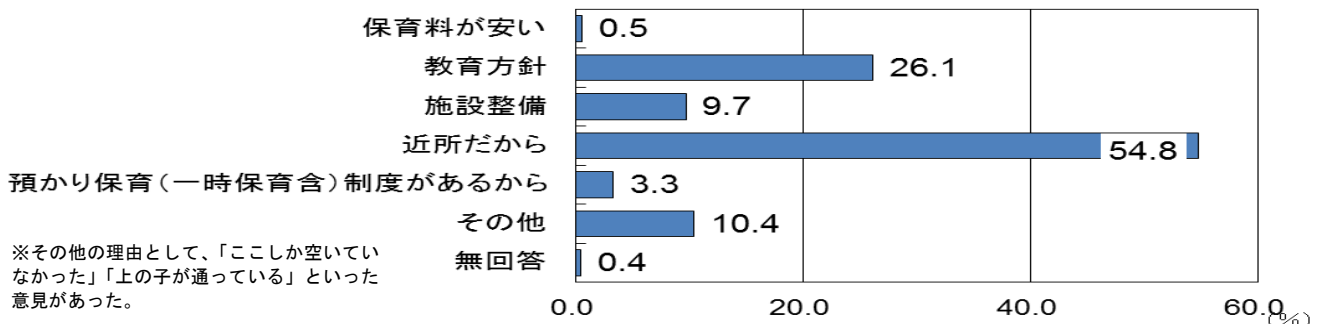


※「やや不満」「不満」の理由
 ・職員により対応の差が大きい
 ・職員間の連携がとれていない時がある など

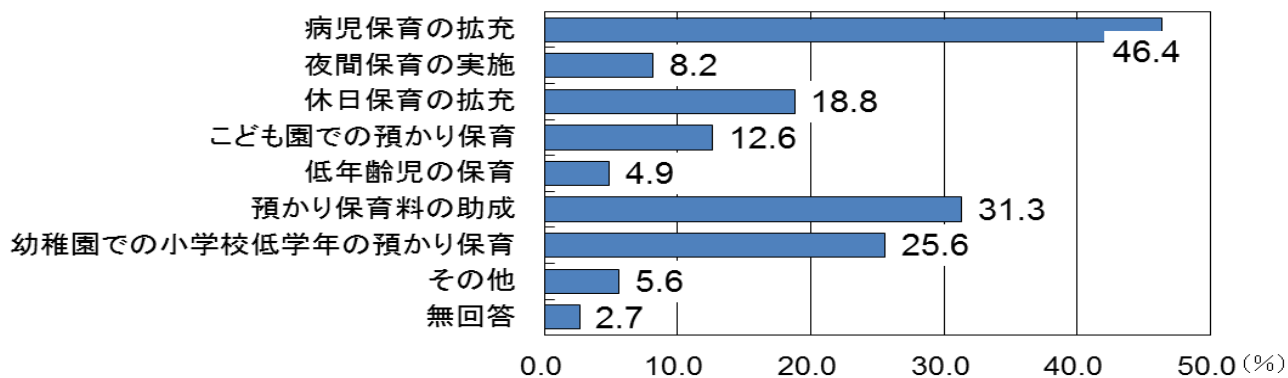
【地域の親子との交流について
(園庭開放など)】



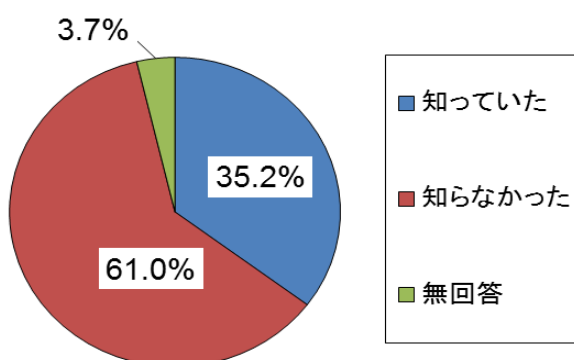
【園の選択理由】



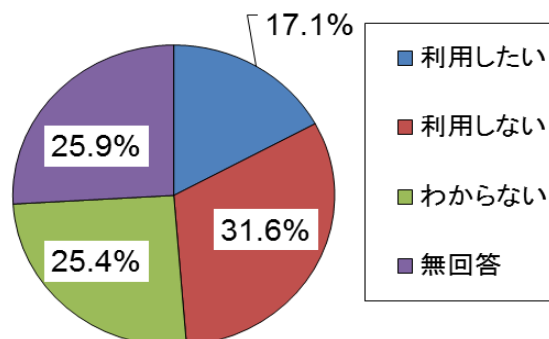
【特に充実して欲しい支援策は】



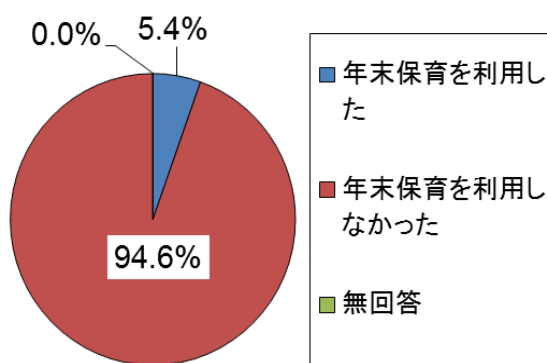
【年末保育の実施について】



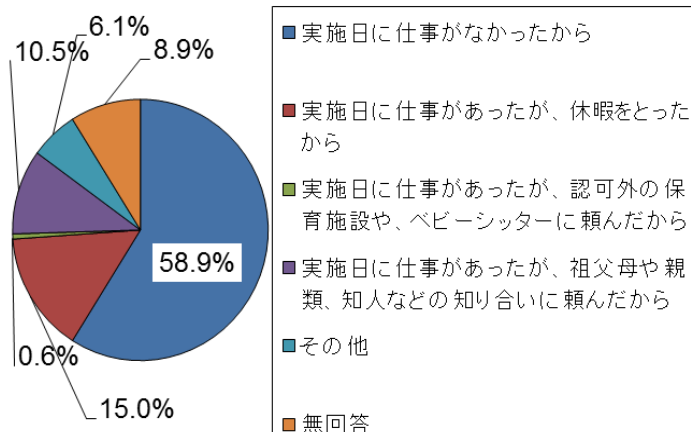
【今後、年末保育があれば利用したいか】



【年末保育の利用の有無】



【利用しなかった理由】



【自由意見】 269 件

- ・保育料をもっと軽減してほしい等 45 件
- ・保育士の処遇を改善し、人員体制を充実させ、保育の質をあげてほしい等 27 件
- ・病児保育をもっと増やしてほしい等 25 件
- ・保育時間をのばしてほしい等 20 件 他

Ⅲ 幼稚園

1 調査方法

公立幼稚園 39 箇所及び民間幼稚園 60 箇所計 99 箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢 2 名ずつ無作為抽出された子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

2 調査期間

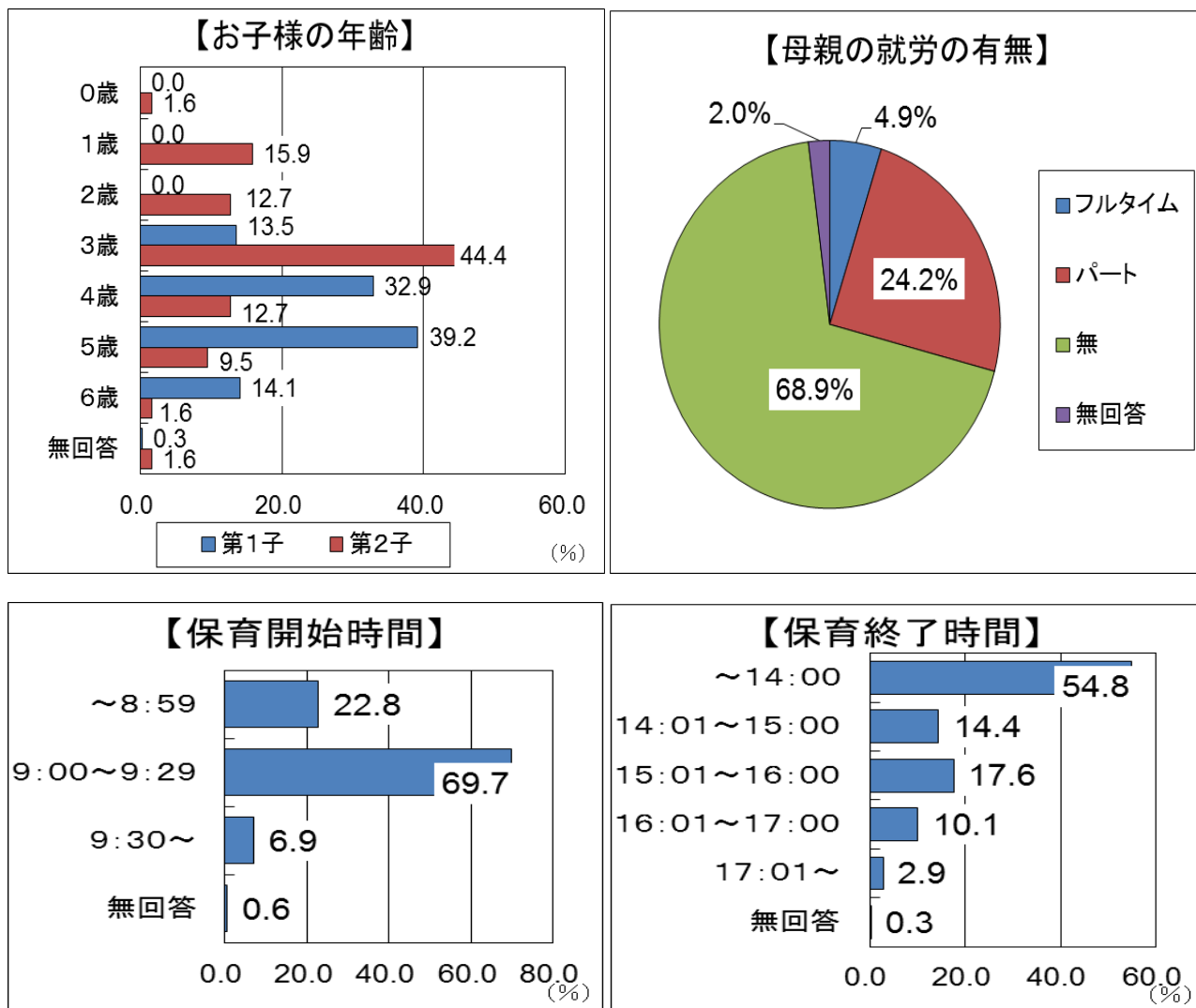
平成 30 年 7 月

3 配布等

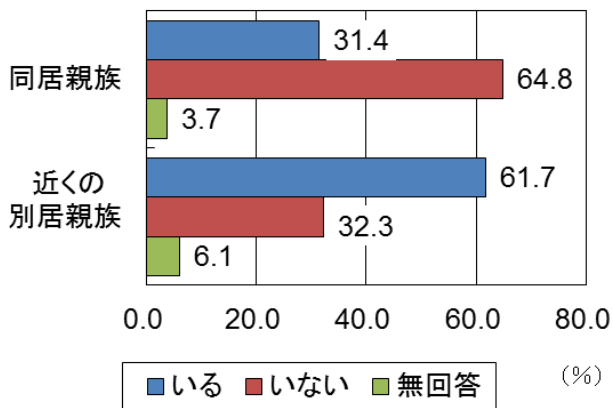
- (1) 配布数 471 セット (公立 : 147 私立 : 324)
- (2) 回収 347 サンプル (公立 : 119 私立 : 228)
- (3) 回収率 73.7% (公立 : 81.0% 私立 : 70.4%)

4 調査結果

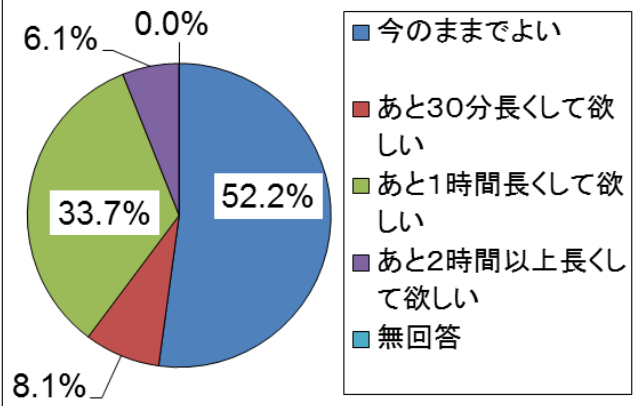
【全体】



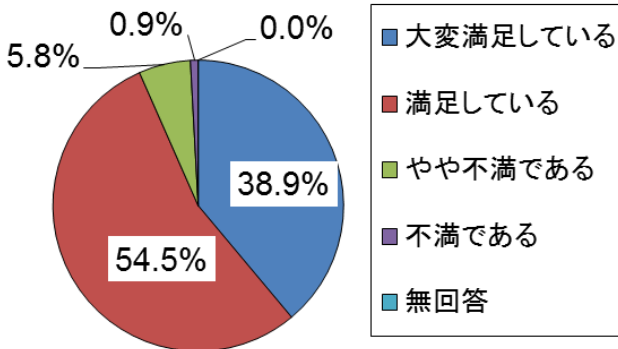
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

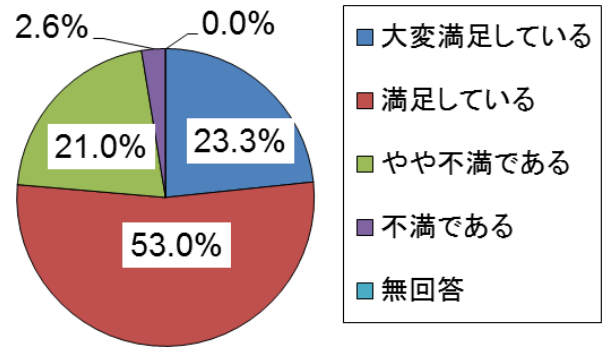


【保育内容全般について】



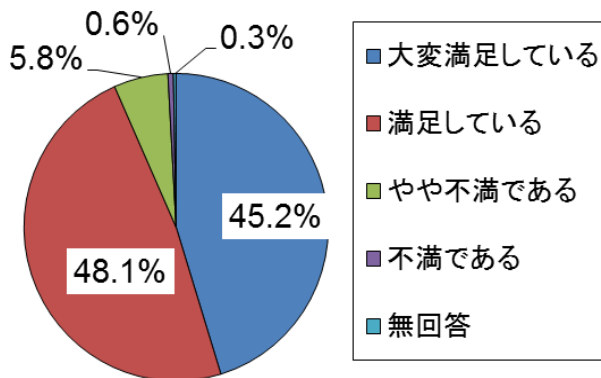
※「やや不満」「不満」の理由
 ・年長の学習時間を増やしてほしい
 ・園で何をしているかの情報共有が少ない など

【建物や園庭などの施設について】



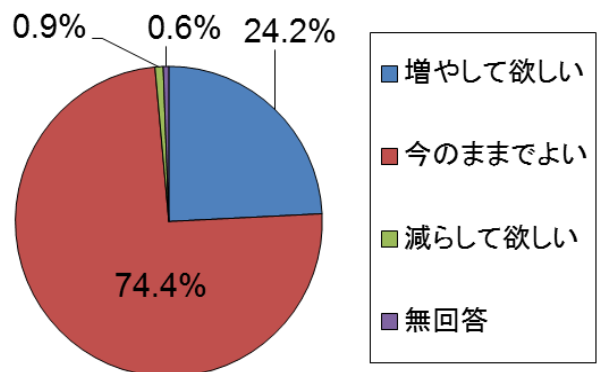
※「やや不満」「不満」の理由
 ・園庭が狭い
 ・建物が古い
 ・エアコンが設置されていない など

【職員の対応について】

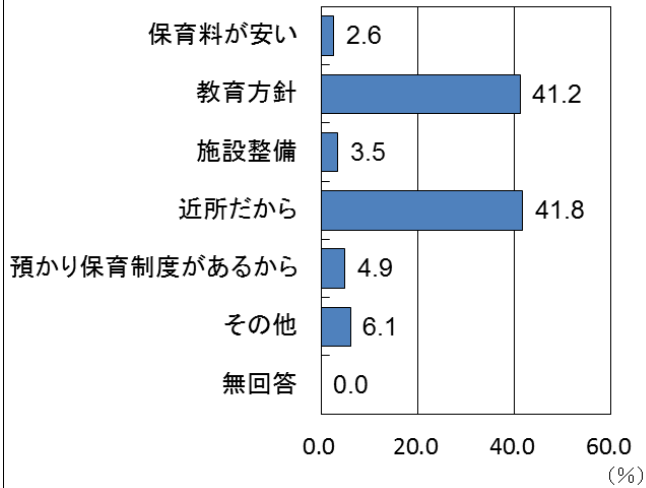


※「やや不満」「不満」の理由
 ・人員が不足している感じがする
 ・日々の子どもの様子の報告が少ない など

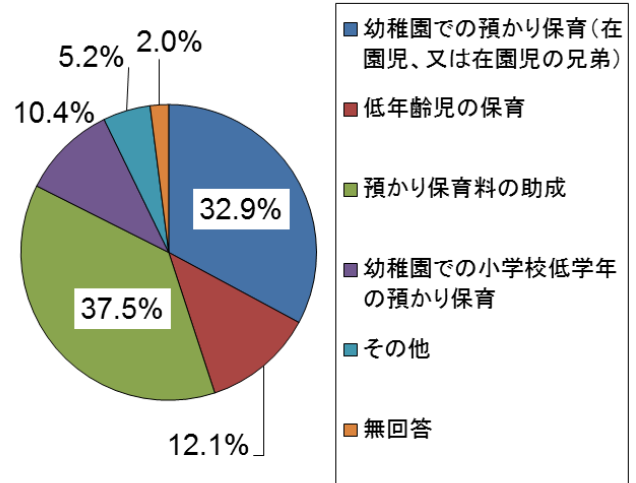
【未就園児保育や園庭開放などについて】



【園の選択理由】



【必要な子育て支援】

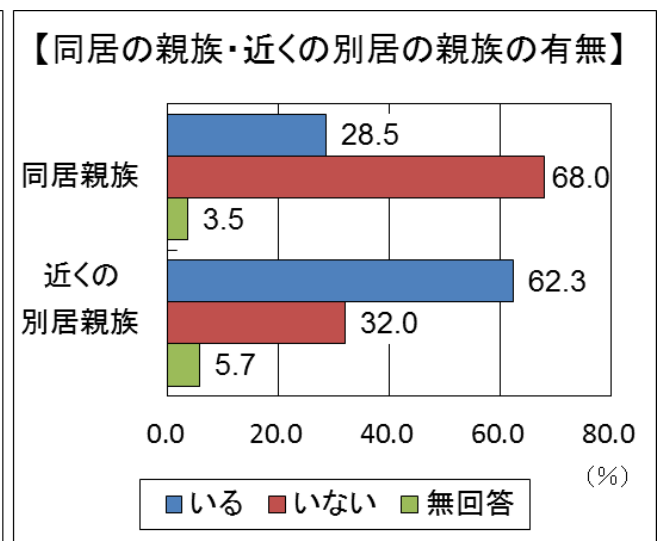
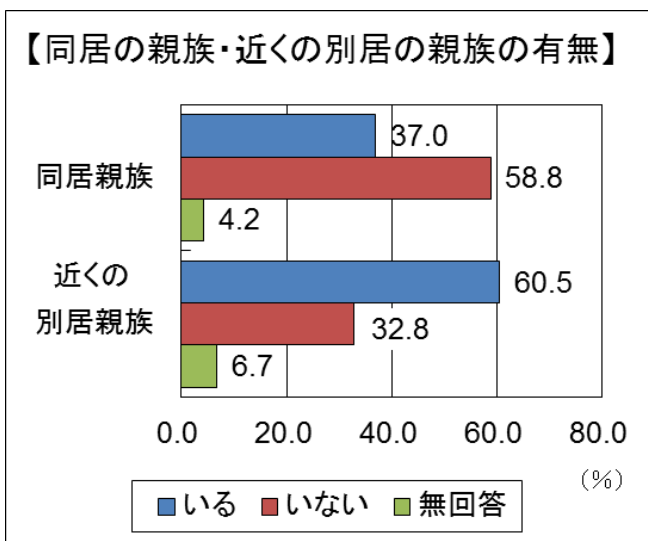
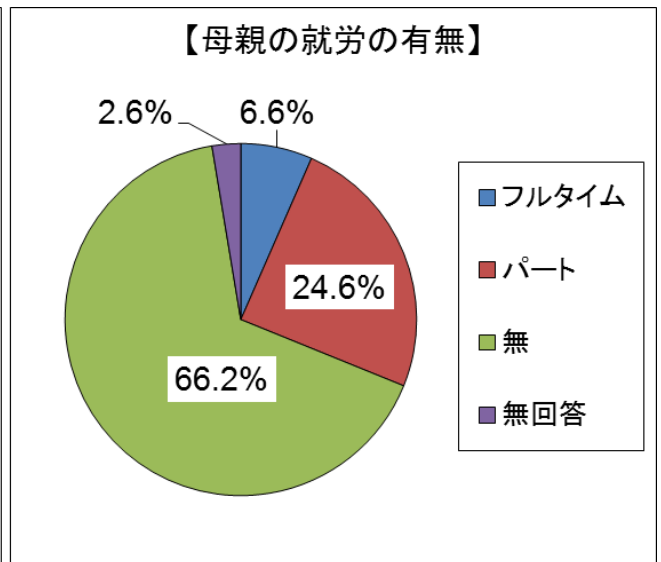
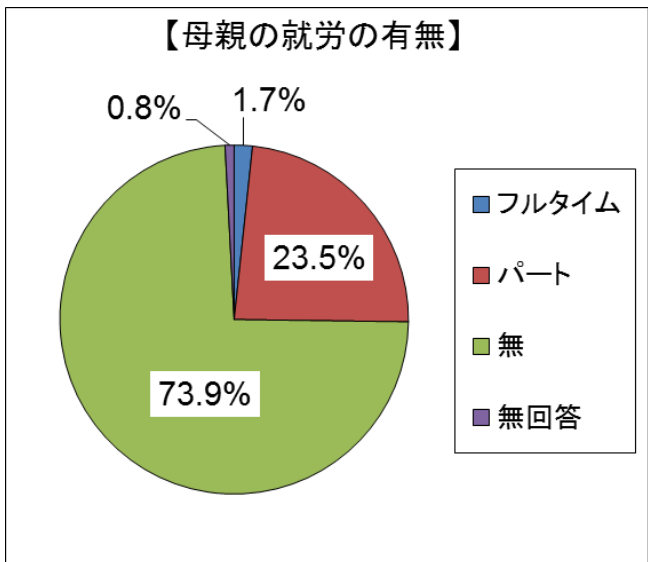
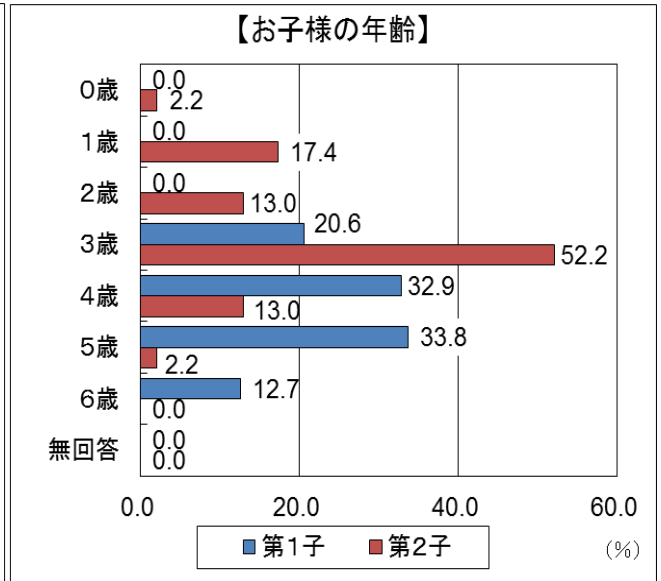
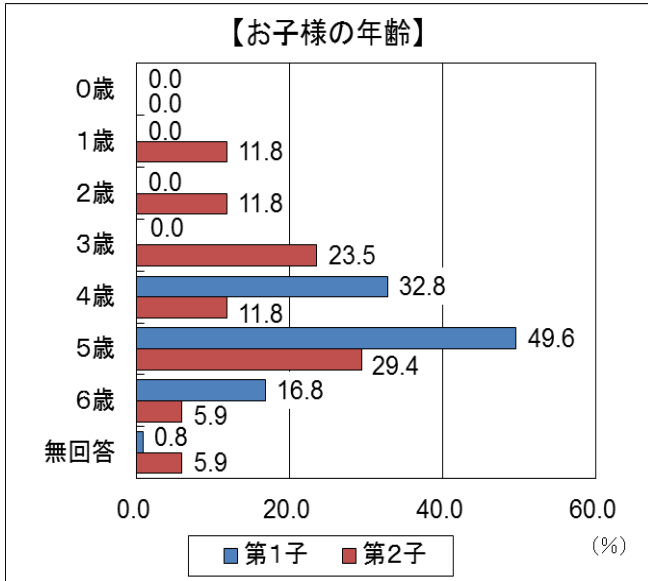


【自由意見】 377 件

- ・ 保育料をもっと軽減してほしい等 (保育料) 64 件
- ・ 長期休業期間等の預かり保育を充実させてほしい 47 件
- ・ 先生への支援、育成に力を入れてほしい 19 件
- ・ 休日保育等の施設数を増やしてほしい 14 件 他

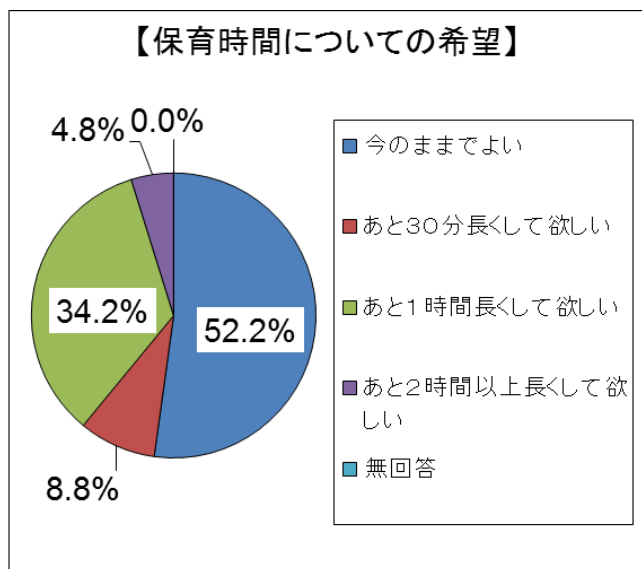
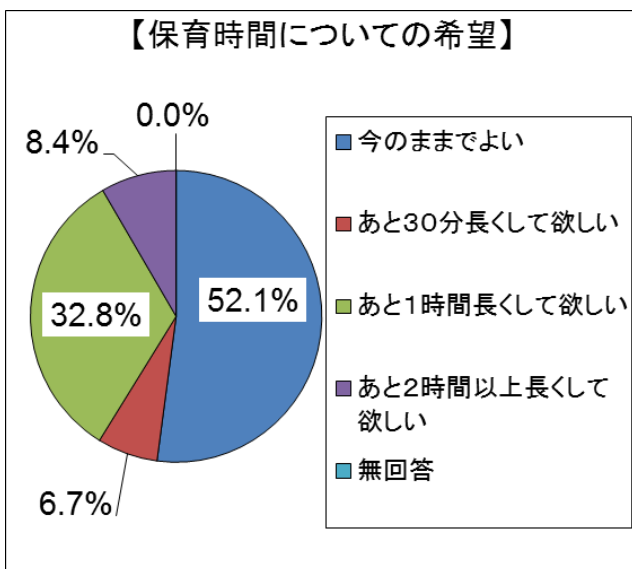
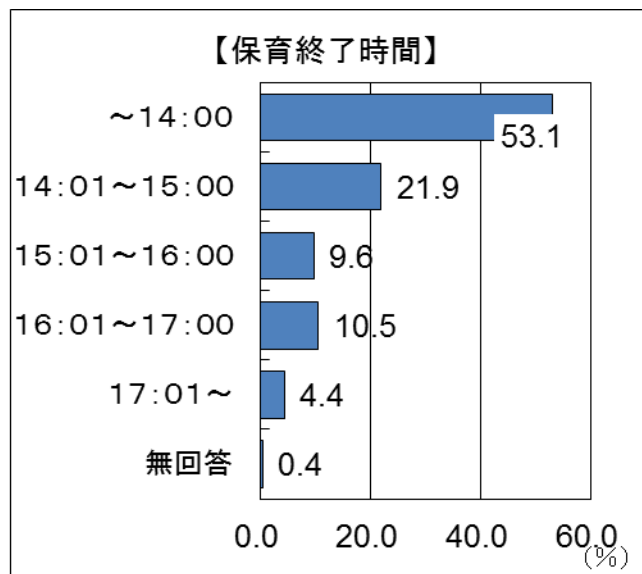
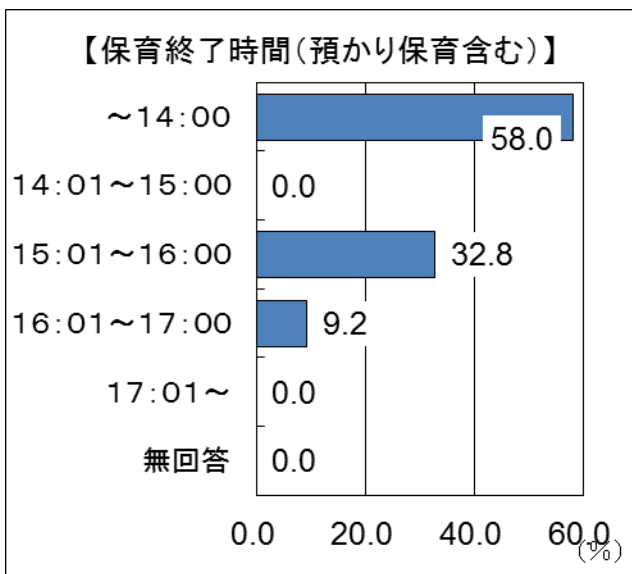
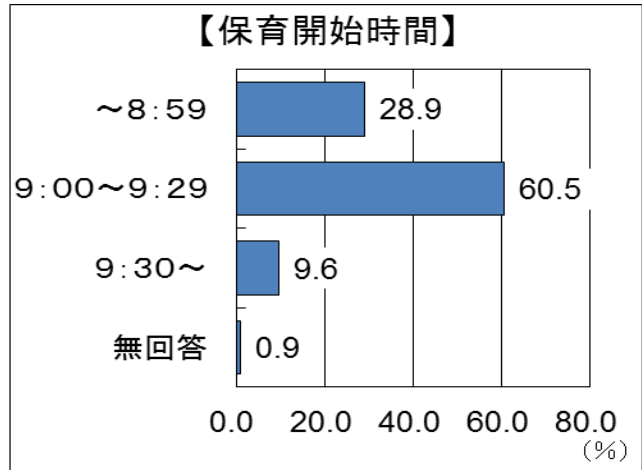
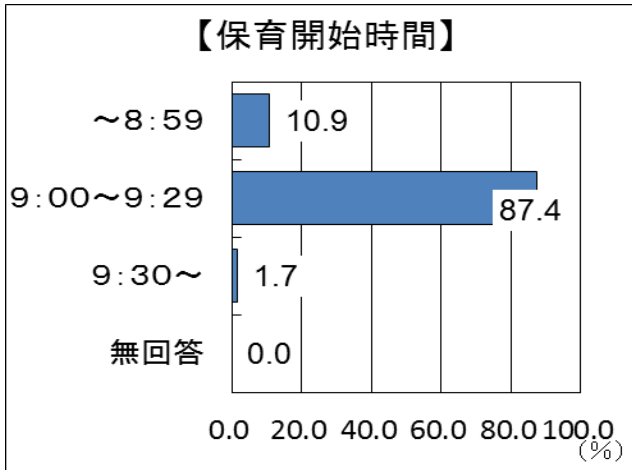
【公設】 n=119

【民設】 n=228



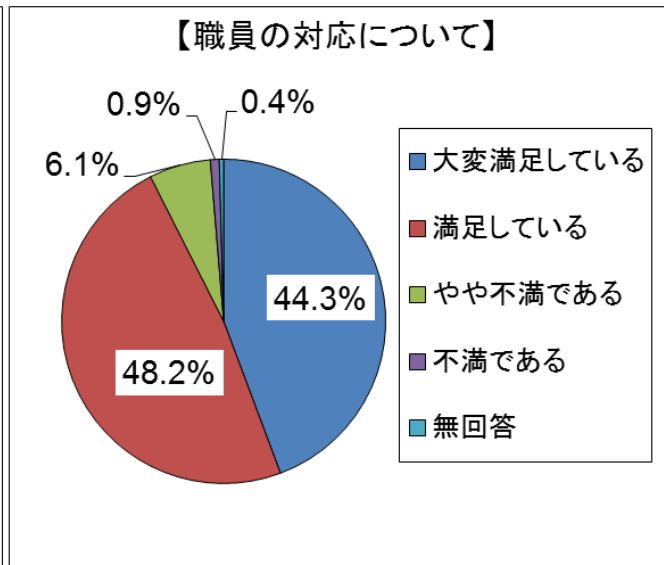
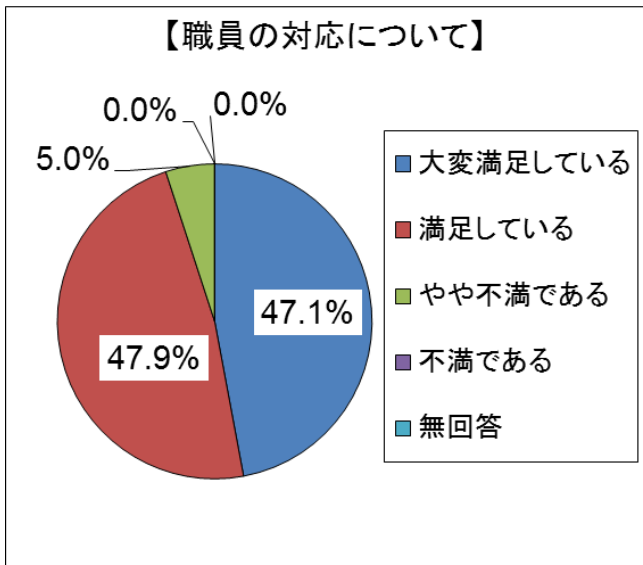
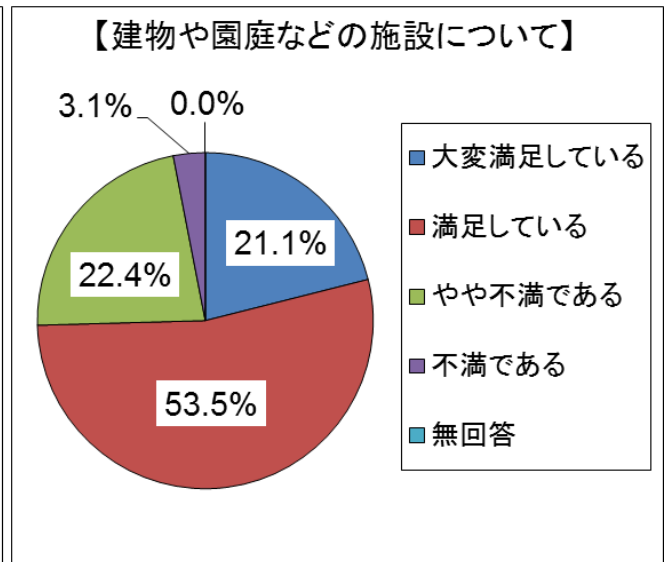
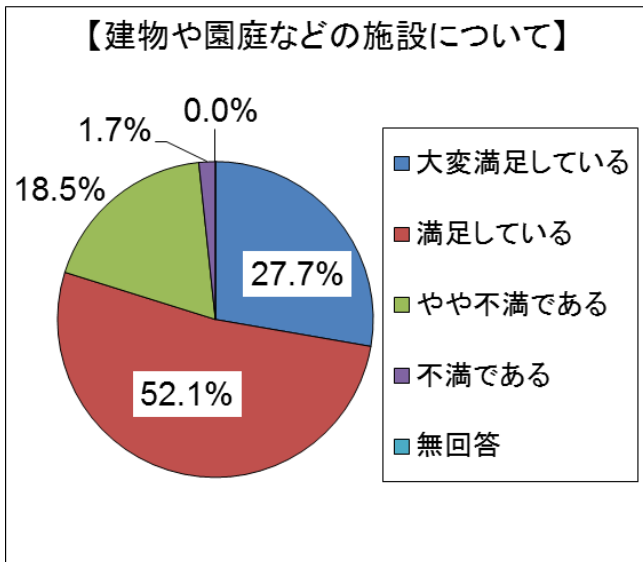
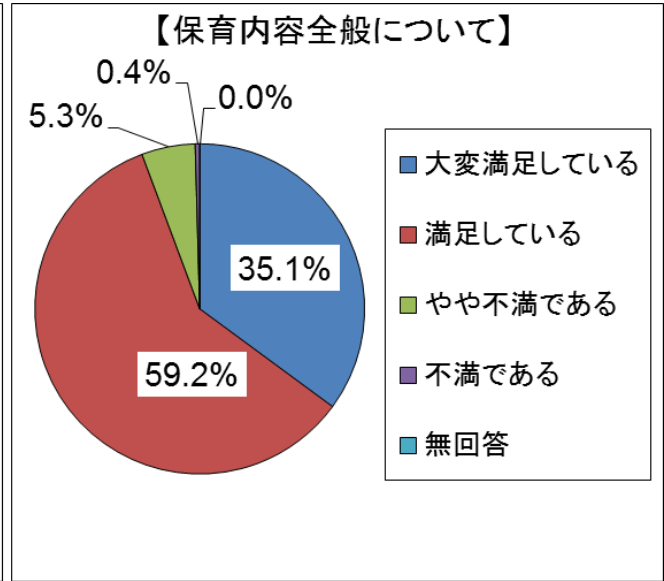
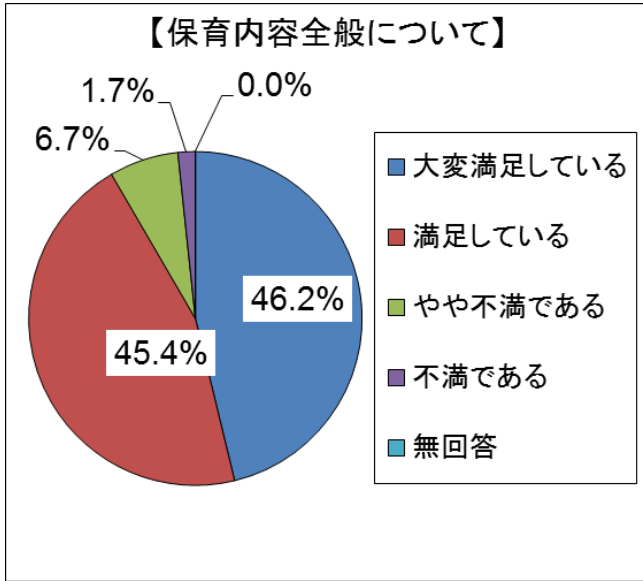
【公設】 n=119

【民設】 n=228



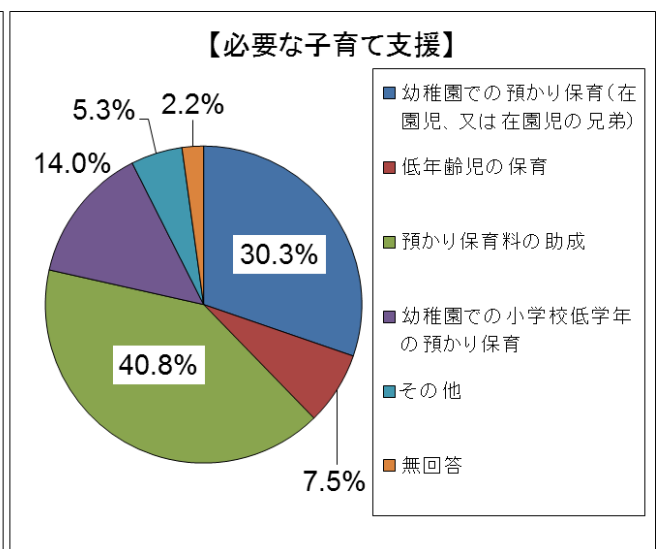
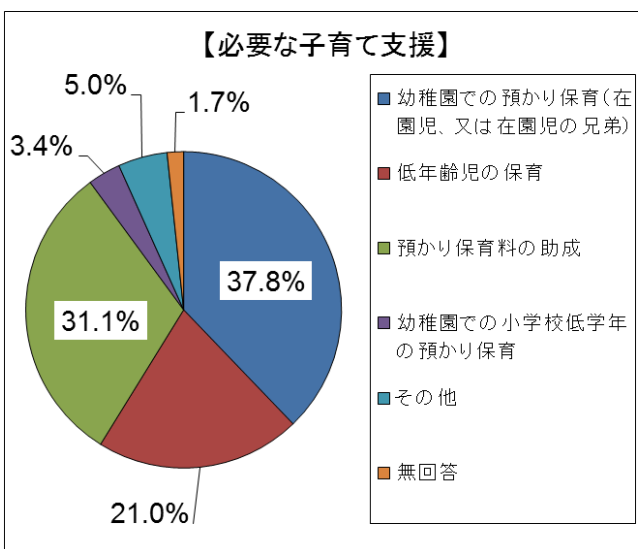
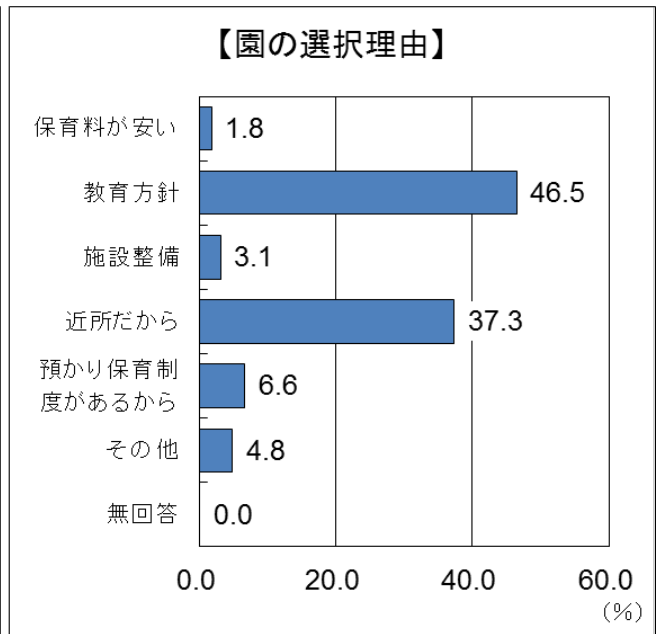
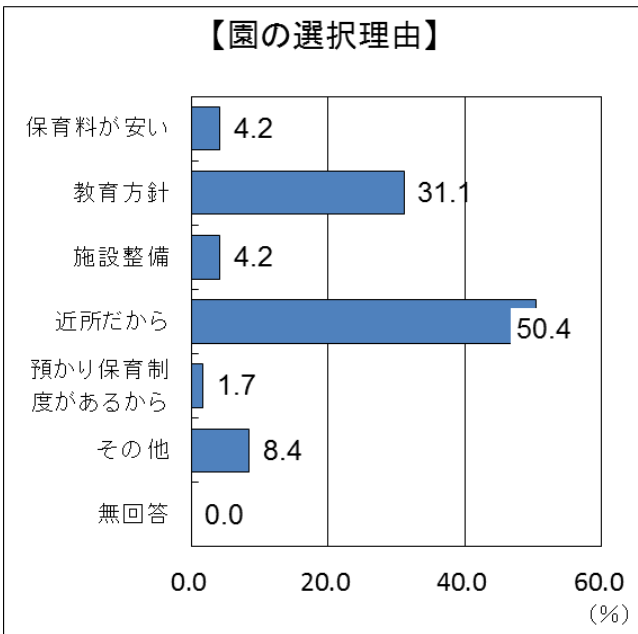
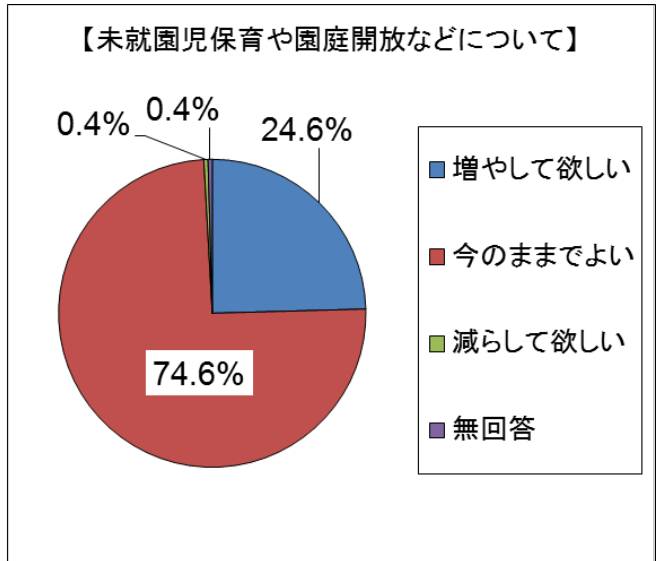
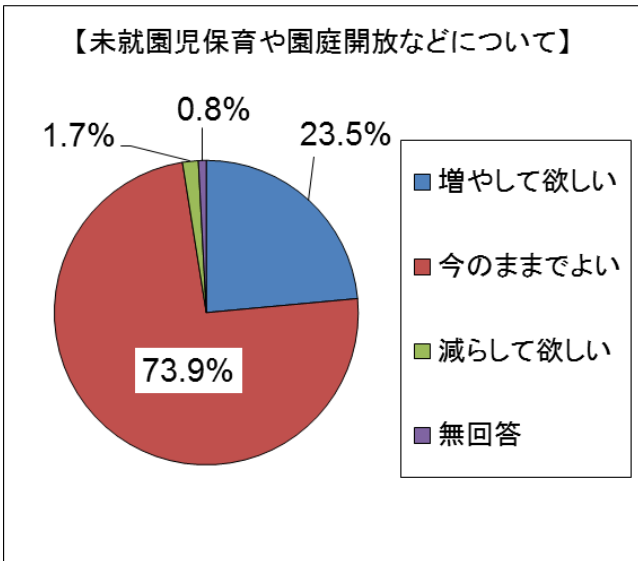
【公設】 n=119

【民設】 n=228



【公設】 n=119

【民設】 n=228



IV 児童館(午前中)

1 調査方法

【公立児童館 119 館】

児童館を通じて、利用者に調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、20～40 部配布）。

※既存調査を活用

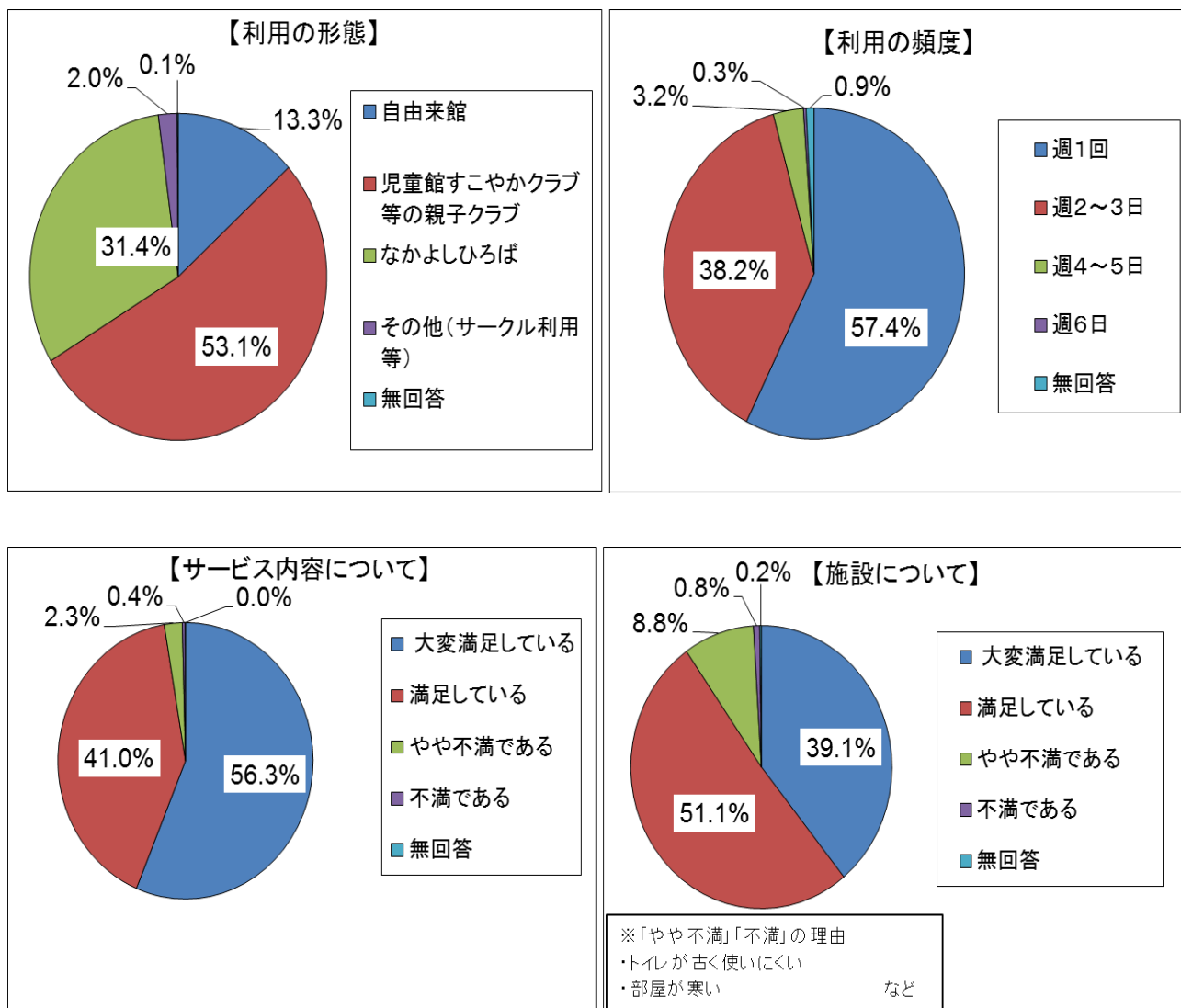
・調査期間 平成 30 年 3 月

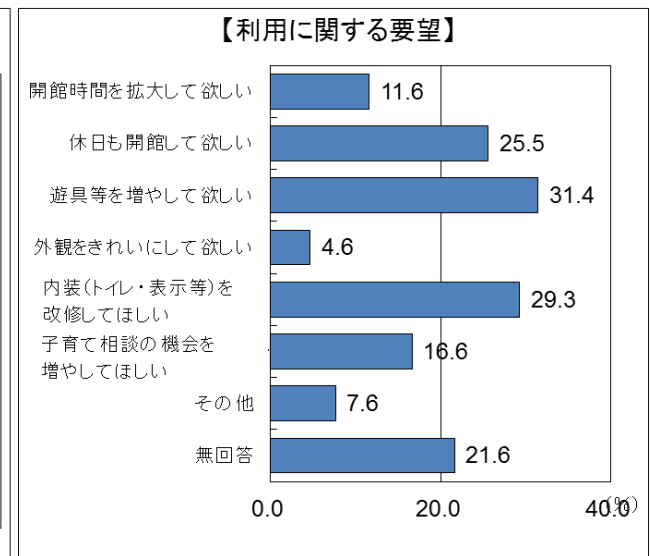
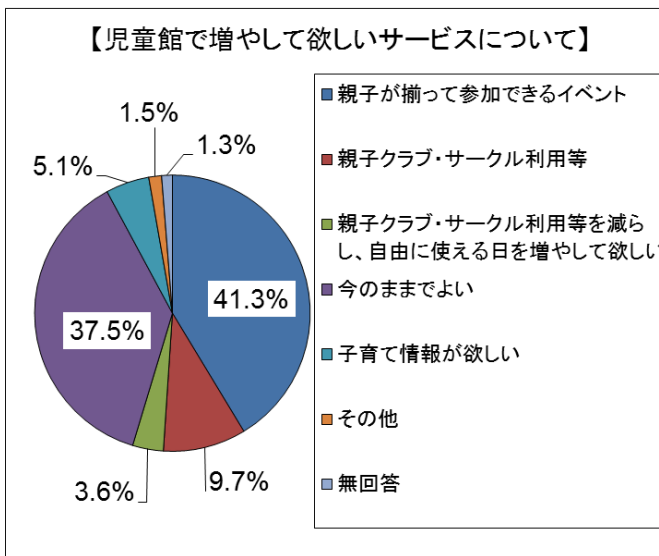
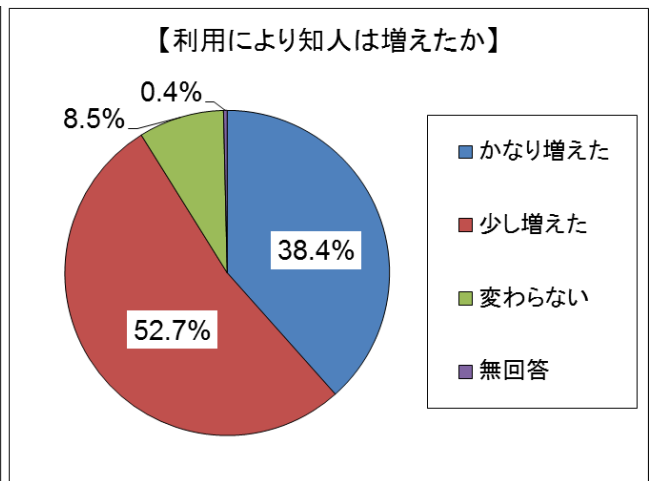
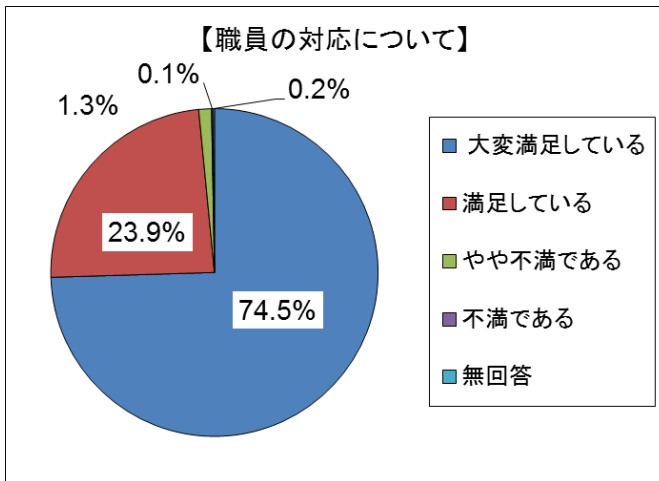
【民設児童館 4 箇所】

児童館を通じて、子ども用と保護者用の調査票を、期間中に利用のあった 10 組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

・調査期間 平成 30 年 7 月

2 サンプル数 2,466 サンプル





【自由意見】 734 件

・子ども用のトイレがほしい、部屋が寒い等（施設面）	151 件	
・イベントの開催日数を増やしてほしい等	108 件	
・夏休みや春休みの長期休業日に小学校の学童が利用しているため、乳幼児は利用しにくい等（利用時間・時期）	59 件	
・親子ともに友達が増えた	25 件	他

V 大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

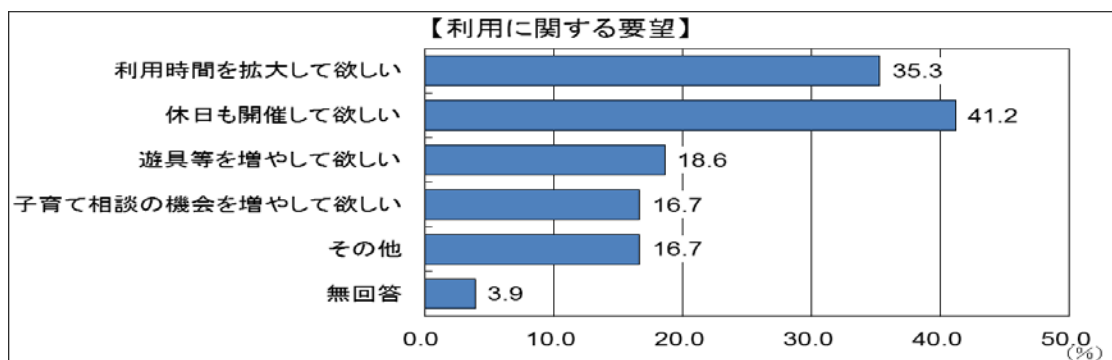
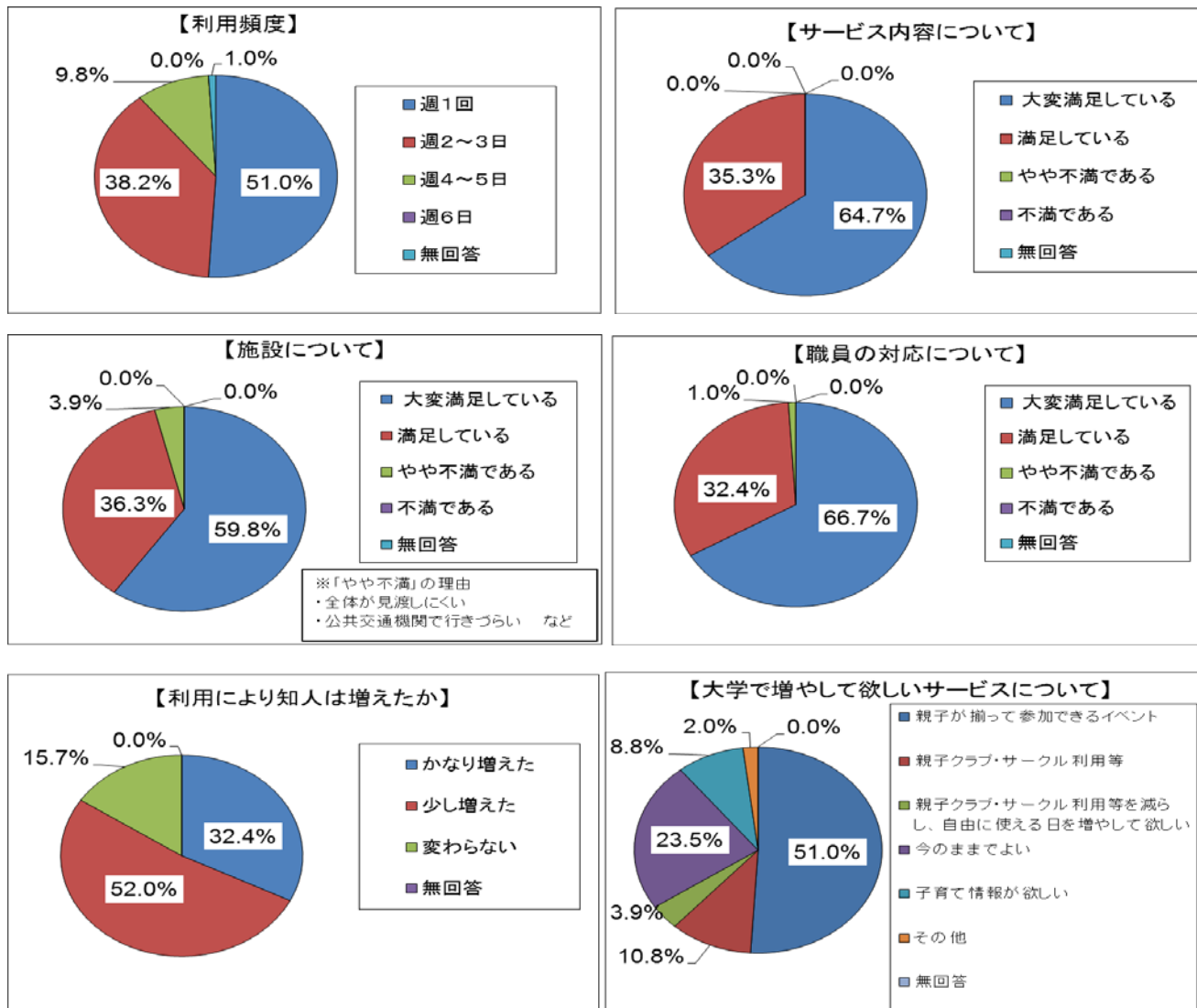
1 調査方法

【8大学9カ所】

期間中に利用のあった30組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

・調査期間 平成30年7月

2 サンプル数 102サンプル



【自由意見】52件

・ママ友ができていい情報交換の場となっている。土・日も開館してほしい 他

VI 学童保育

1 調査方法

【公設学童保育所 179 箇所】

学童保育所を通じて、子ども用と保護者用の調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、20～50部配布）。

※既存調査を活用

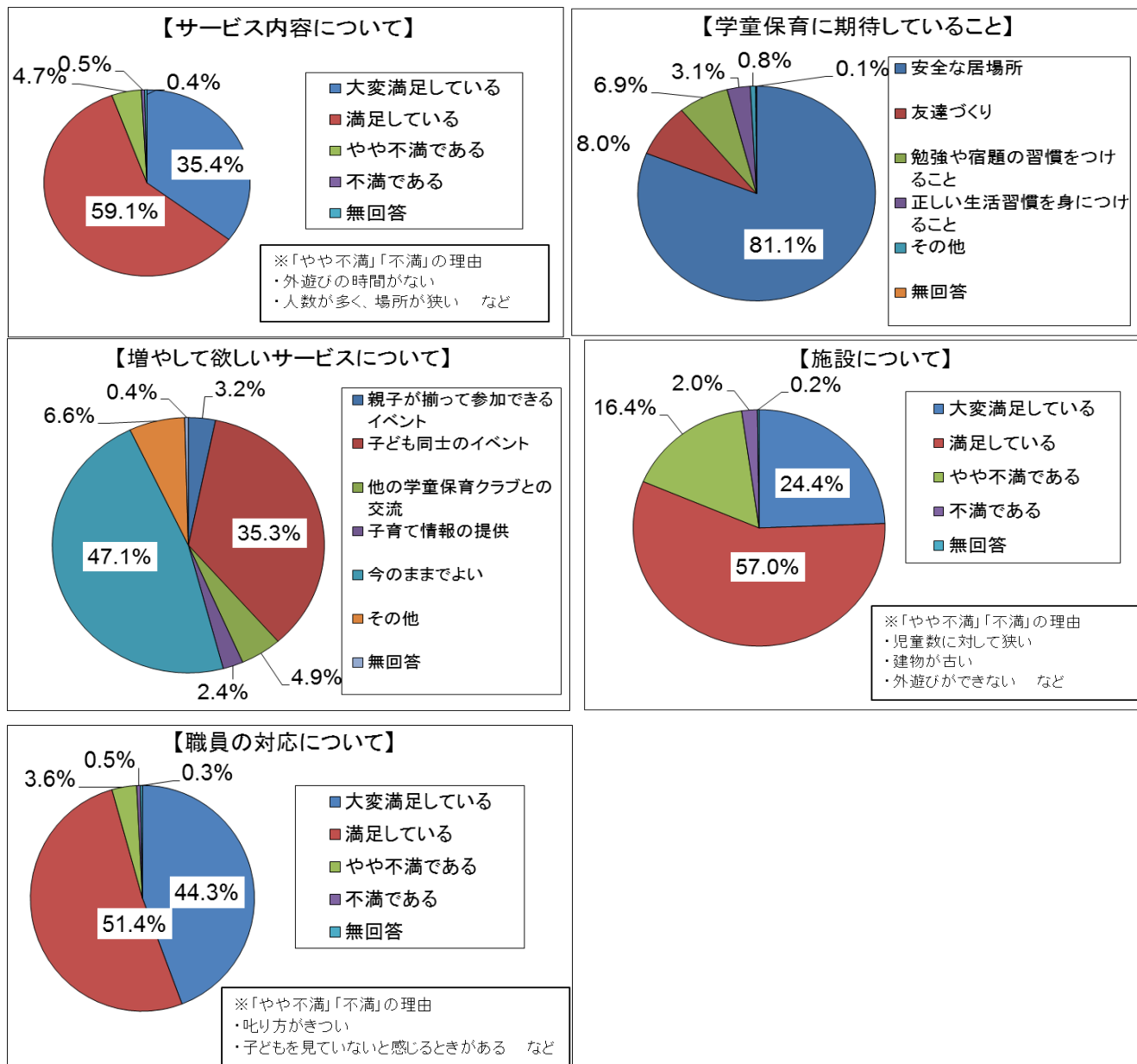
・調査期間 平成30年3月

【民設学童保育 39 箇所】

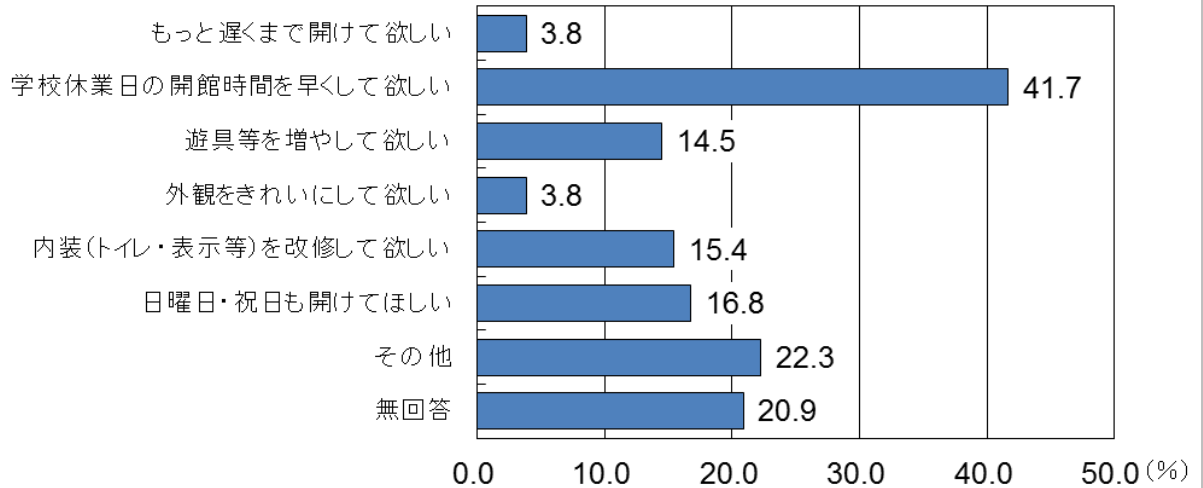
学童保育所を通じて、子ども用と保護者用の調査票を、期間中に利用のあった5組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

・調査期間 平成30年7月

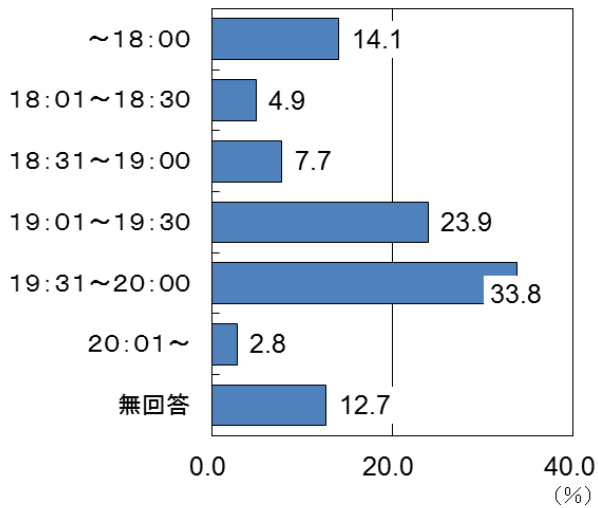
2 学童保育についてのアンケート（保護者用）結果（3,733 サンプル）



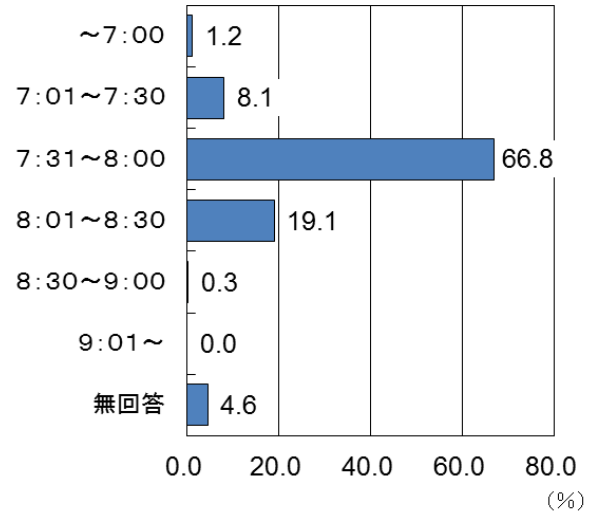
【利用に関する要望】



【何時まで開けていてほしいか】



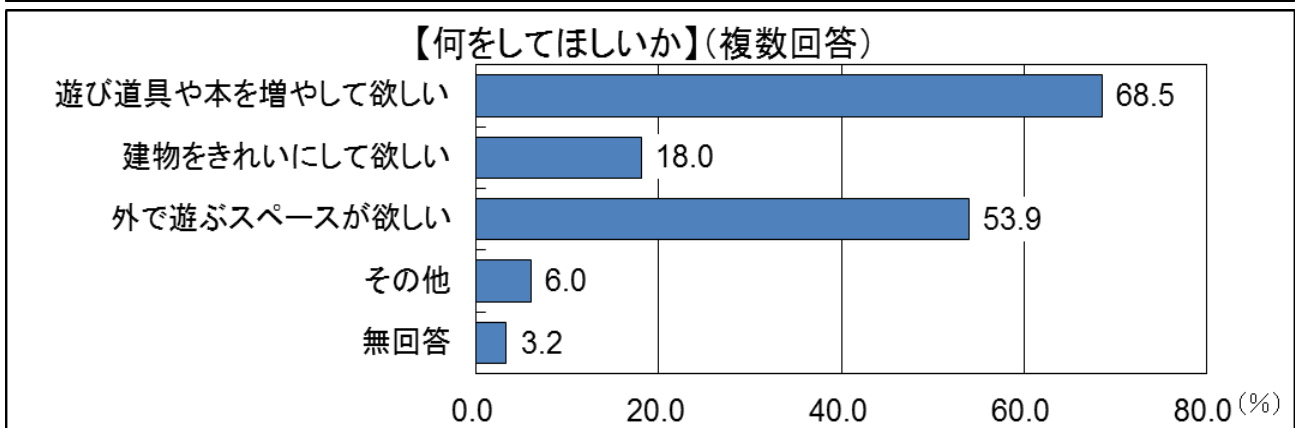
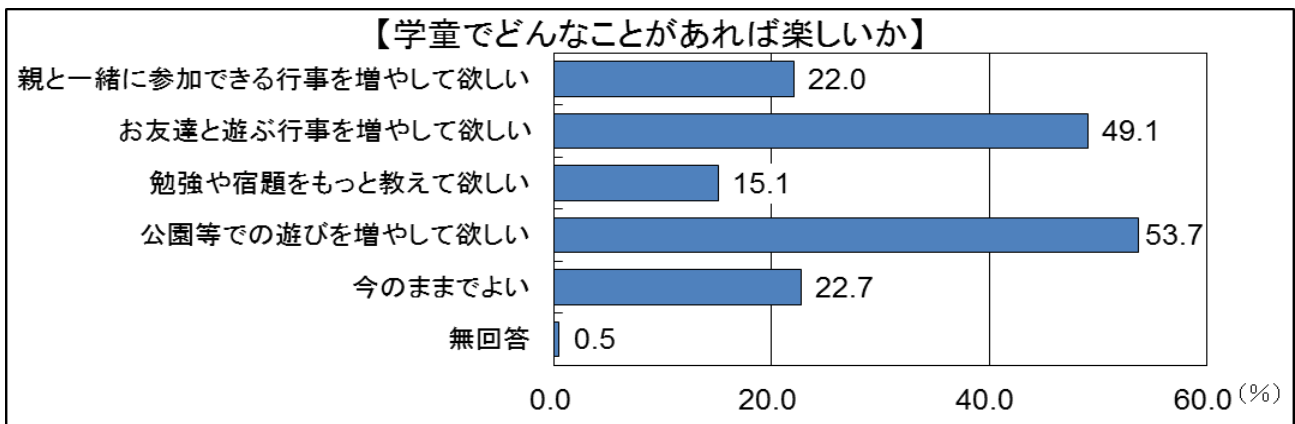
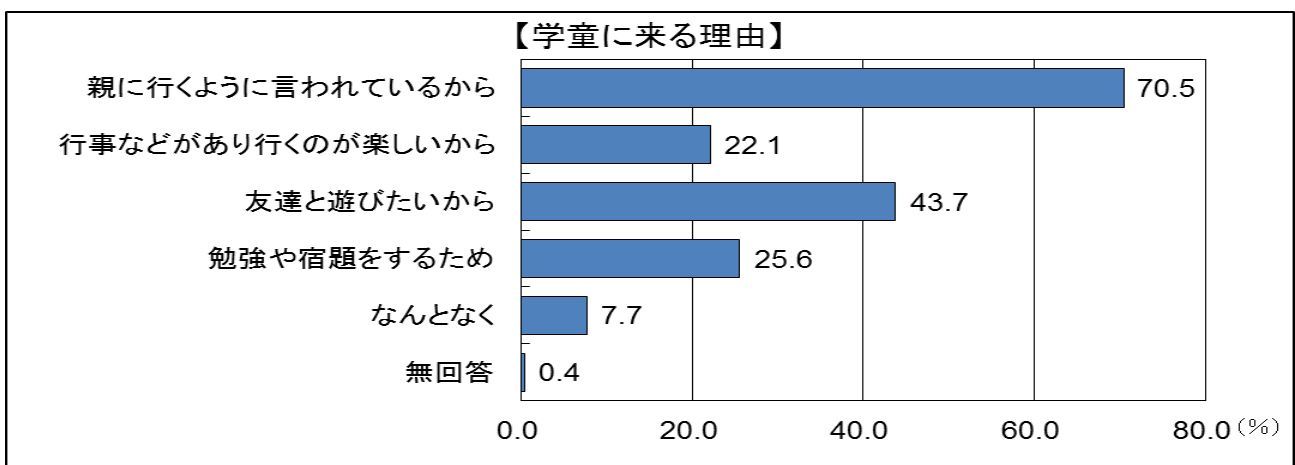
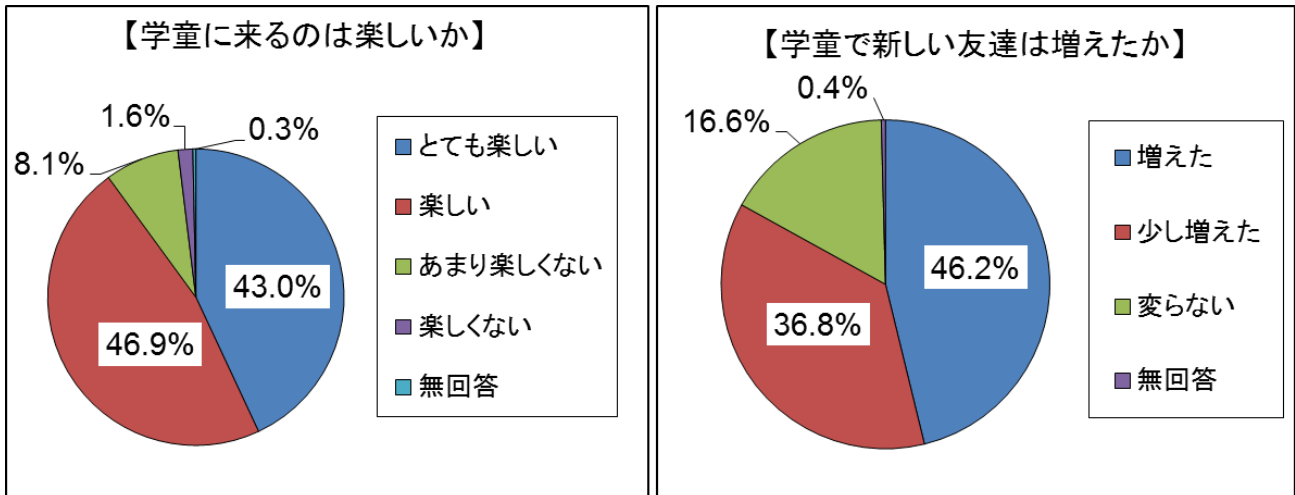
【学校休業日何時から開けていてほしいか】



【自由意見】 1,062 件

- ・開館時間を早めてほしい等 (利用時間) 177 件
- ・早く6年生まで利用できるようにしてほしい等 105 件
- ・人数に対して狭い、外遊びできるスペースがほしい等 (施設面) 104 件
- ・長期休暇中に昼食提供をしてほしい等 (食事面) 79 件
- ・気象警報発令時や学級閉鎖時にも受け入れてほしい等 64 件
- ・毎日宿題をする時間を設けてほしい等 (学習支援) 41 件
- ・指導員の先生の数や待遇を充実させてほしい等 32 件 他

3 学童保育についてのアンケート（こども用）結果（3,724 サンプル）



Ⅶ 一時預かり（一時保育含む）

1 調査方法

一時預かり（一時保育含む）実施園（幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小規模保育）278 園で、調査期間中の利用者に施設を通じて配布し、郵送で回収。

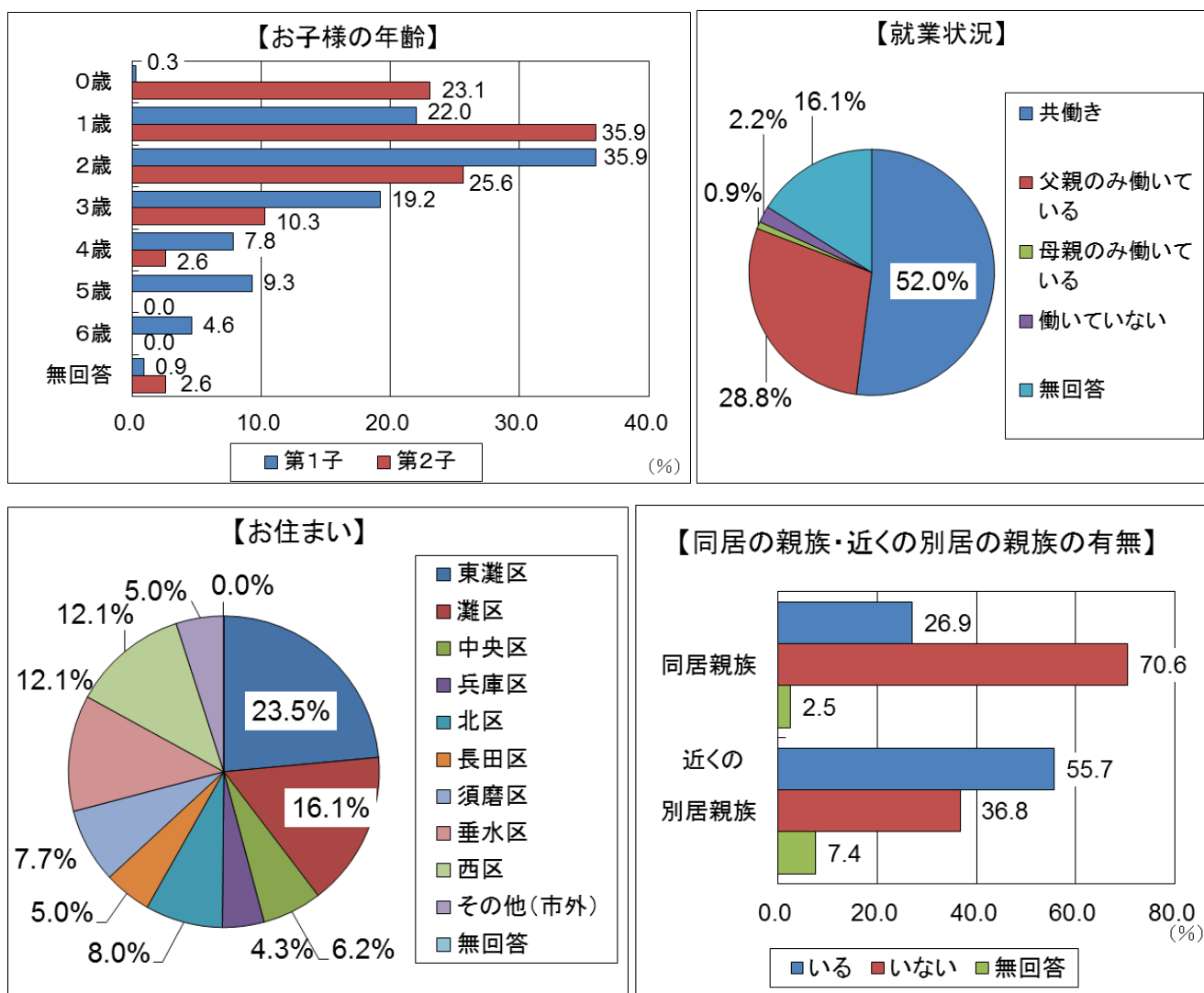
2 調査期間

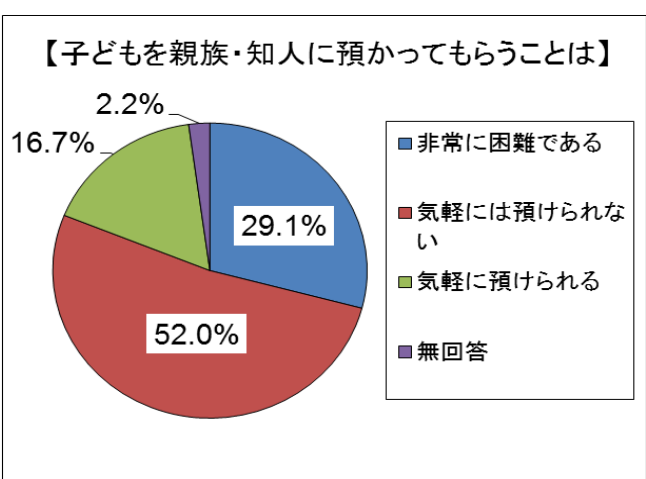
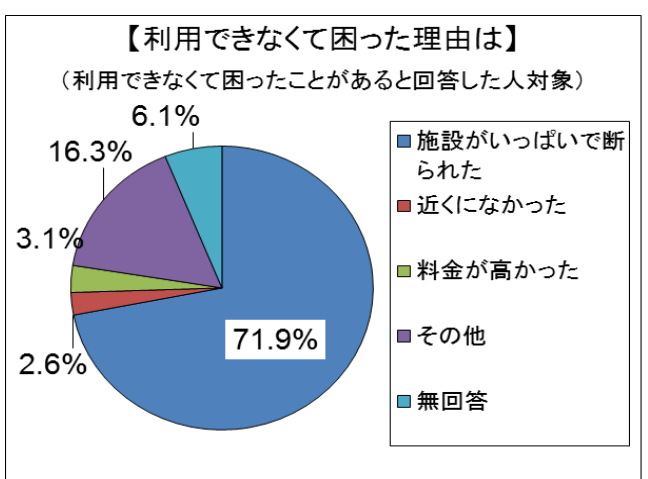
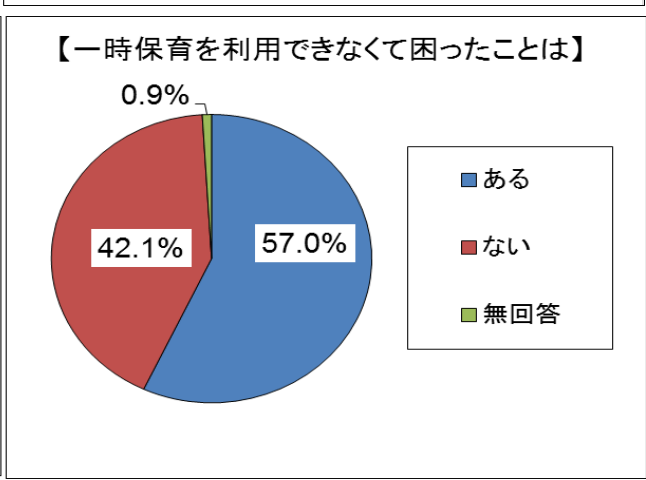
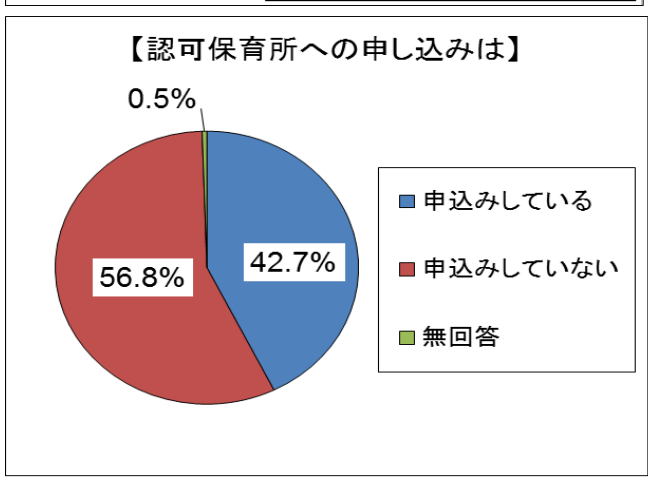
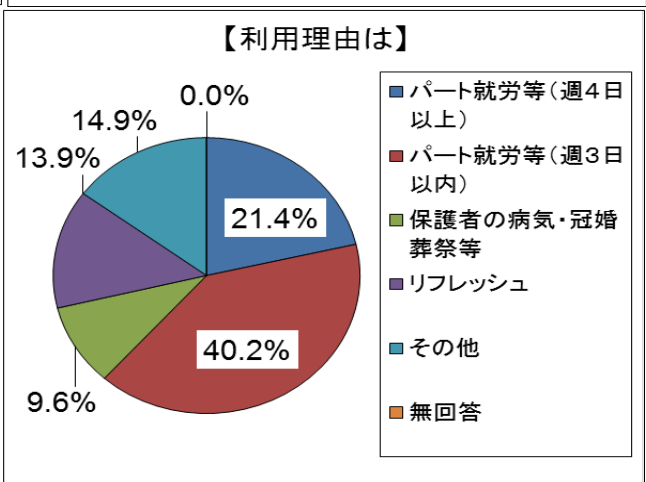
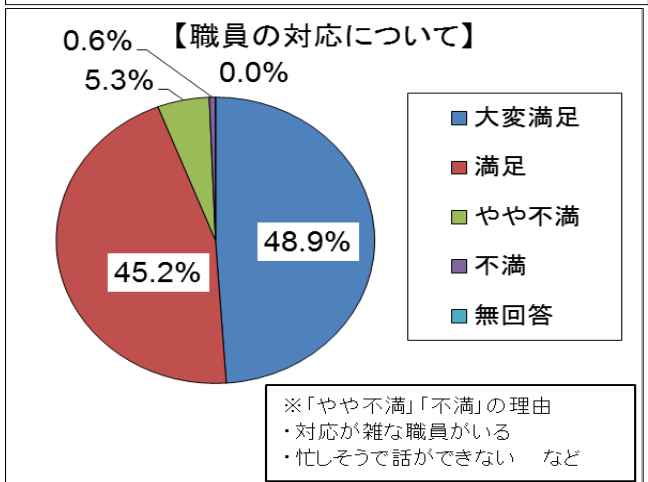
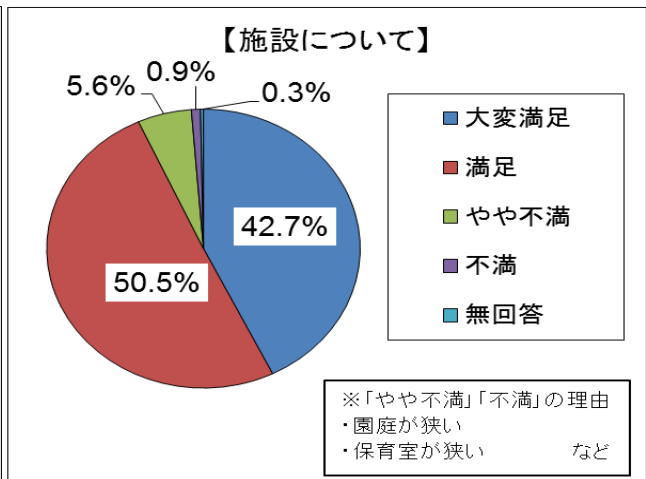
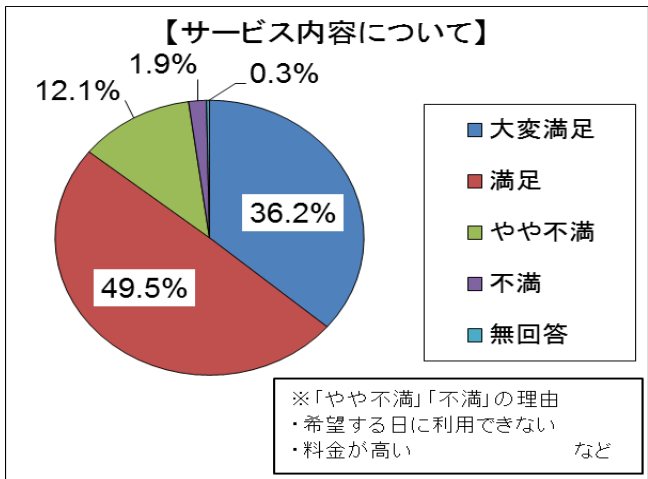
平成 30 年 7 月

3 回収数

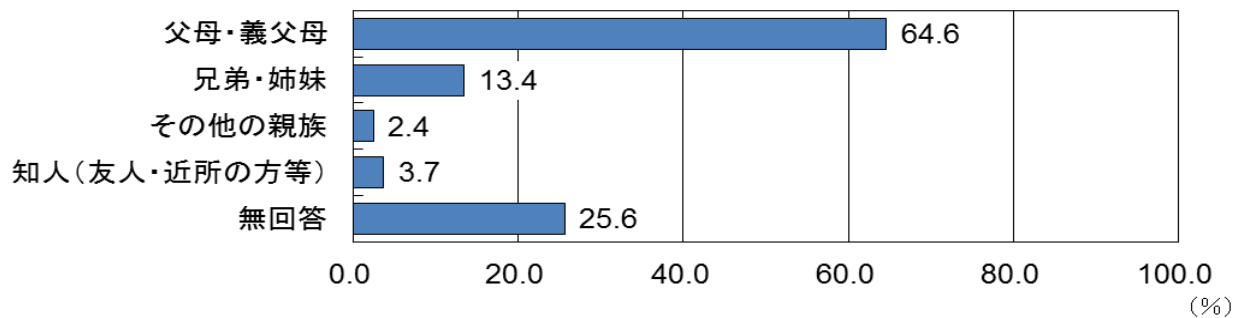
- (1) 配布数 705 セット
- (2) 回収 323 サンプル
- (3) 回収率 45.8%

4 回答

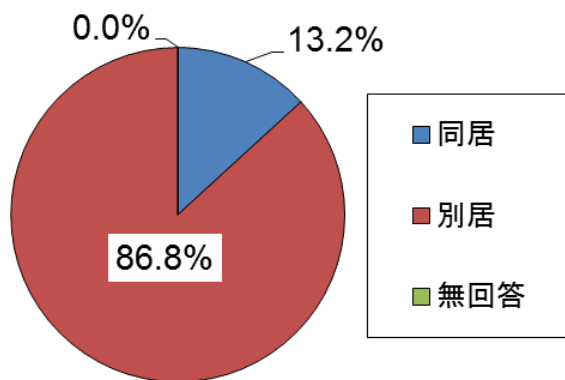




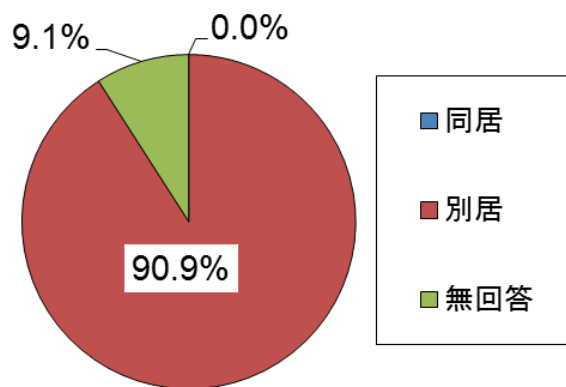
【気軽に預けられると回答した方は、どなたに預けられますか】



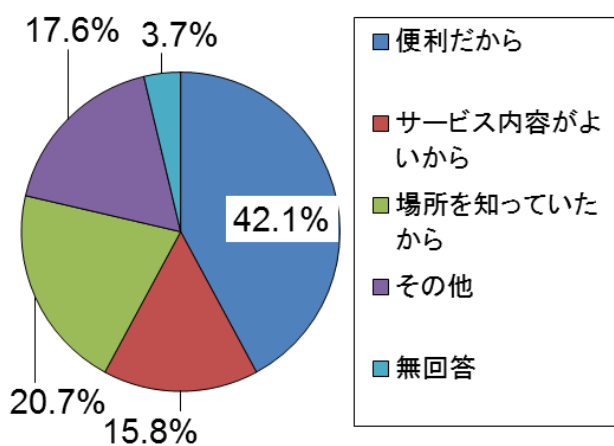
【同居しているか(父母・義父母)】



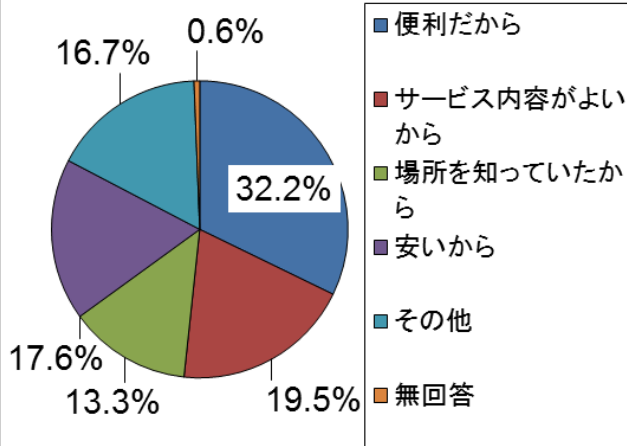
【同居しているか(兄弟・姉妹)】



【子育てリフレッシュステイでなく一時保育を利用した理由】



【民間の託児サービスでなく一時保育を利用した理由】



【自由意見】 94 件

- ・ 日数制限をなくしてほしい (利用回数) 23 件
- ・ 受け入れ人数を増やしてほしい 20 件
- ・ 保育料をもう少し安くしてほしい 11 件 他

Ⅷ 子育てリフレッシュステイ

1 調査方法

子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）23 箇所
で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

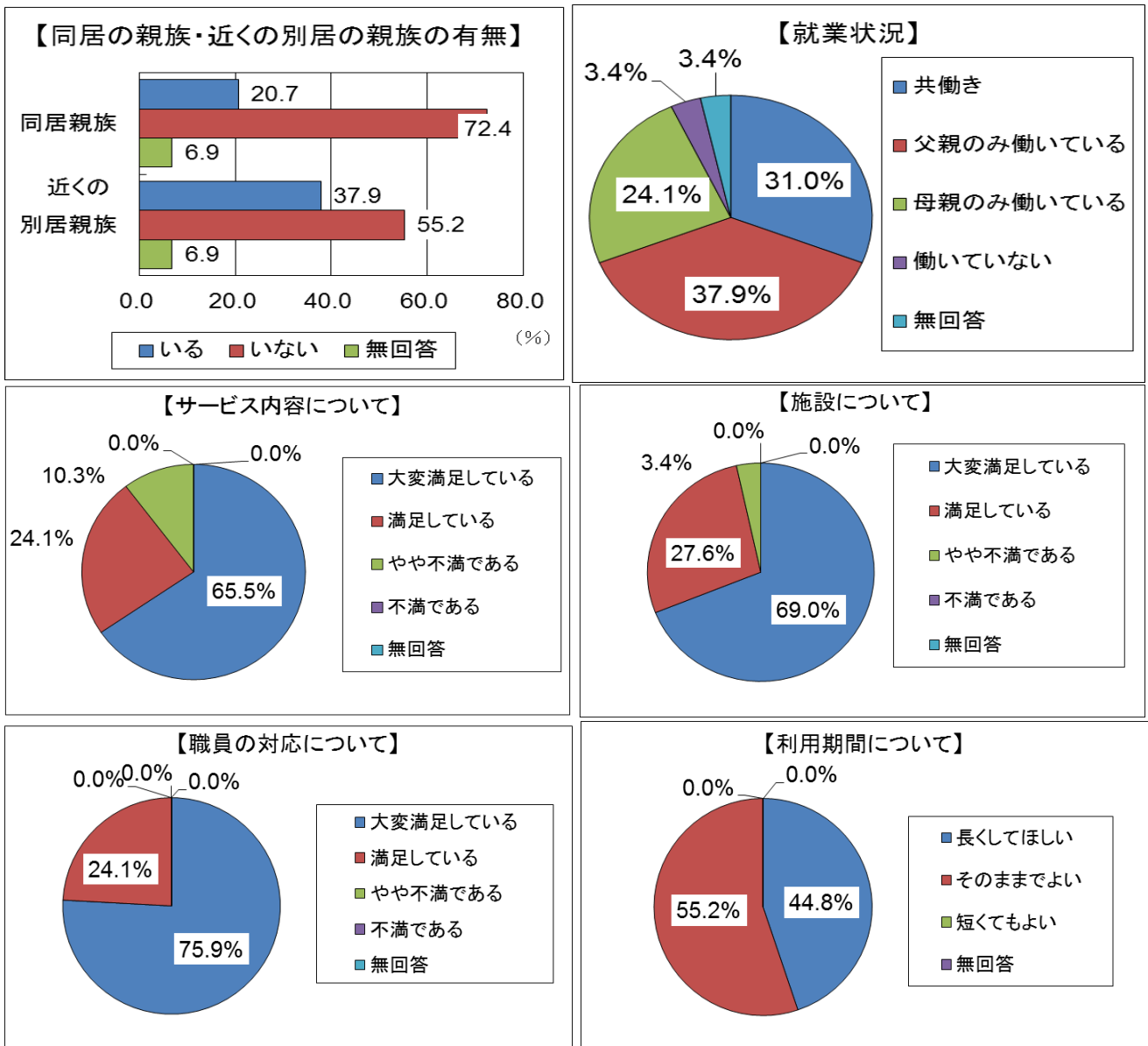
2 調査期間

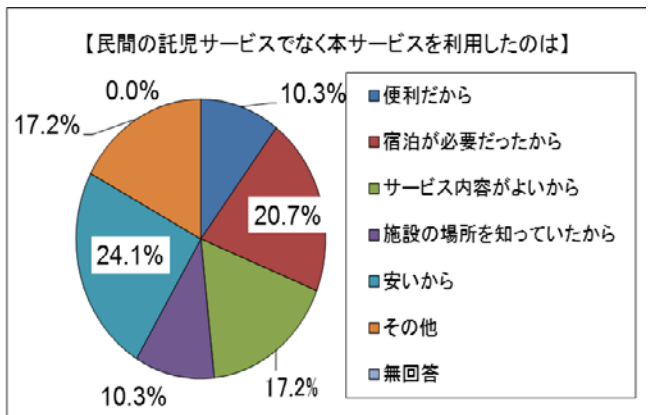
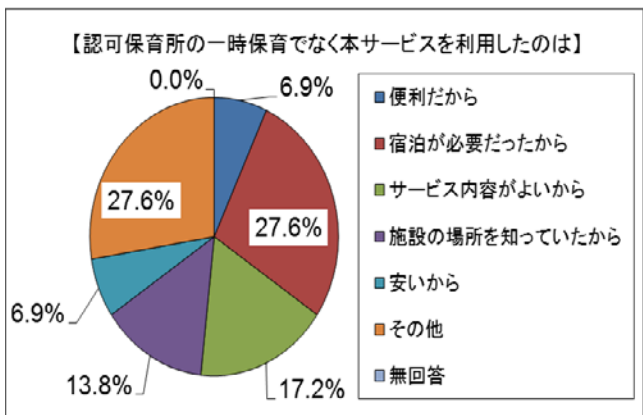
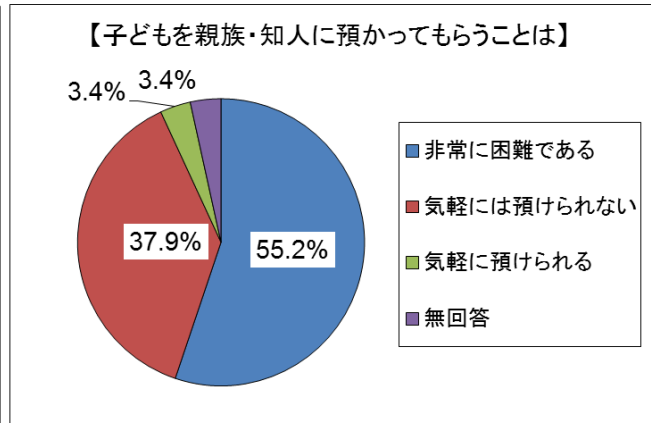
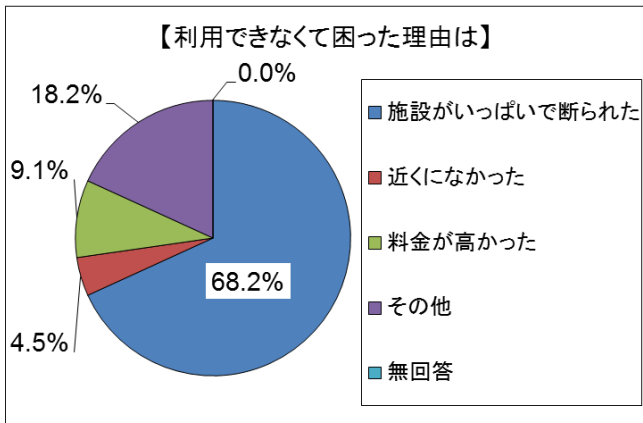
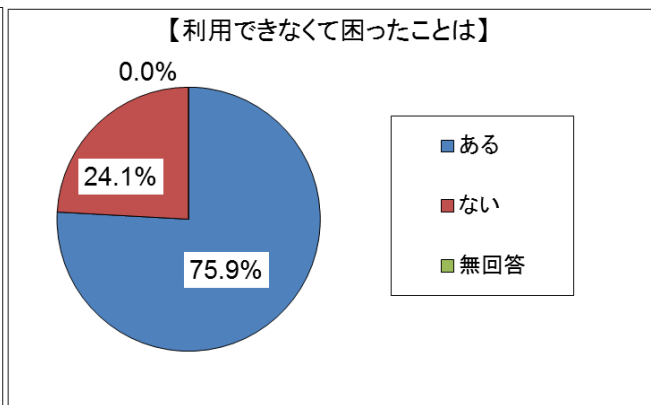
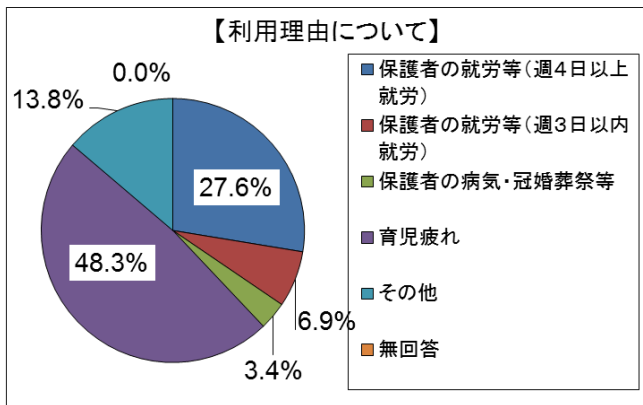
平成 30 年 7 月

3 回収数

- (1) 配布数 56 セット
- (2) 回収 29 サンプル
- (3) 回収率 51.8%

4 回答





【自由意見】 16 件

- ・日曜・祝日に利用出来る施設を増やしてほしい
- ・利用料金をもう少し下げてほしい

他

Ⅸ 病児保育

1 調査方法

病児保育を実施している全施設（14 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

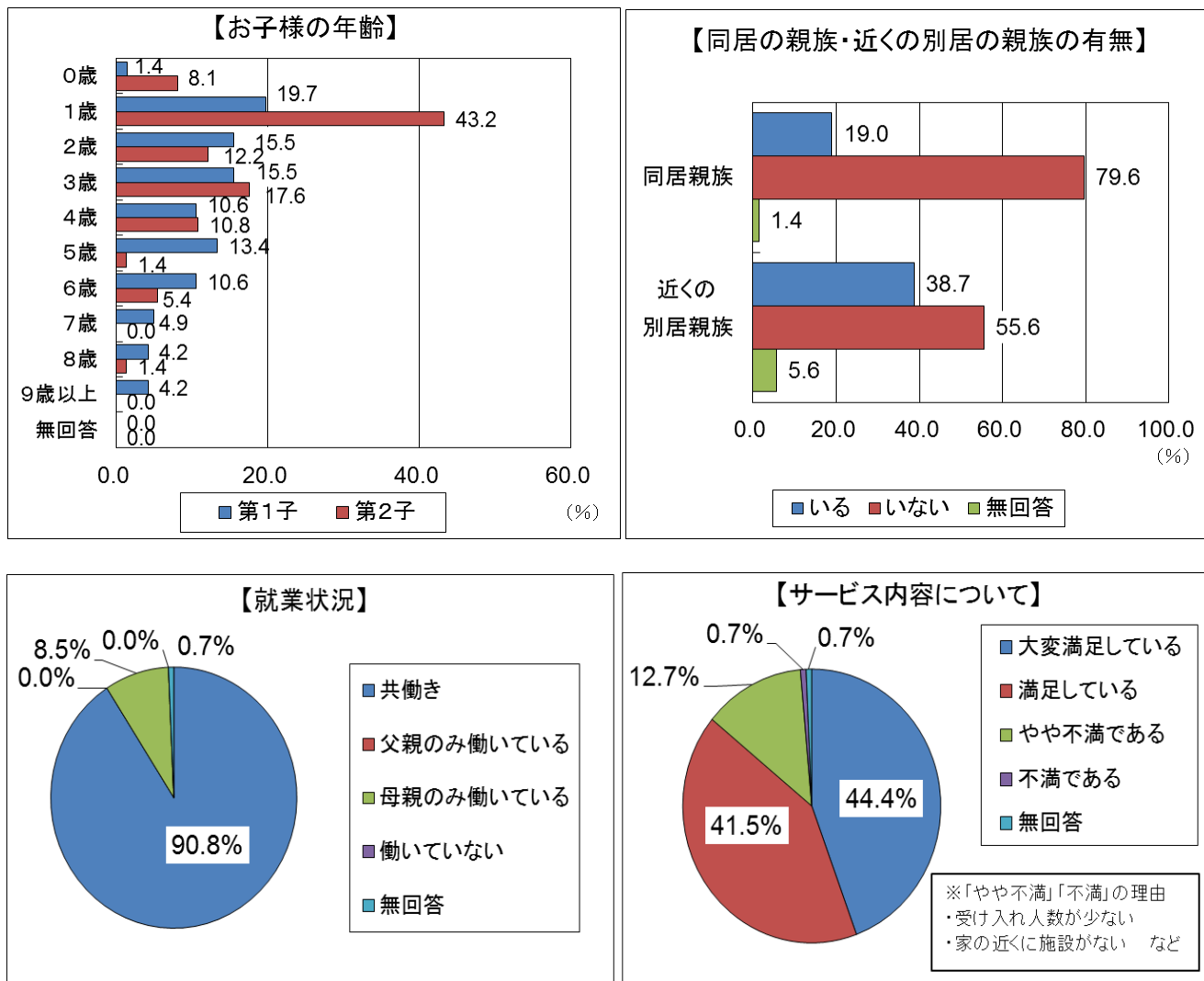
2 調査期間

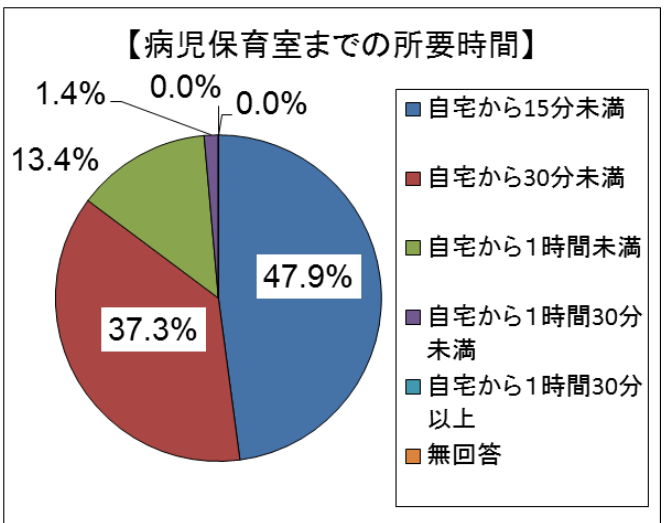
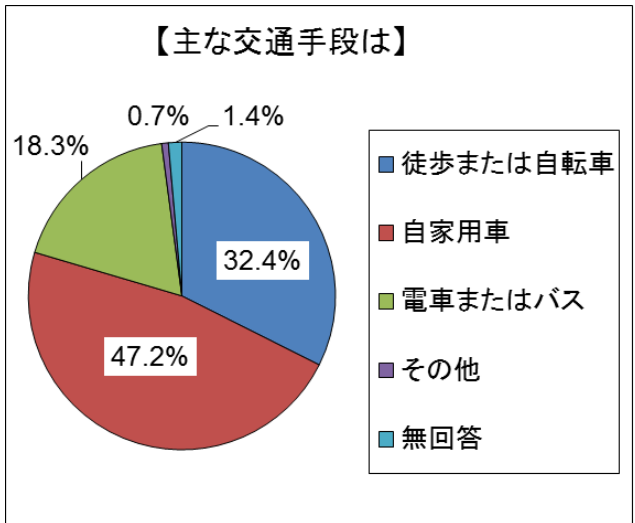
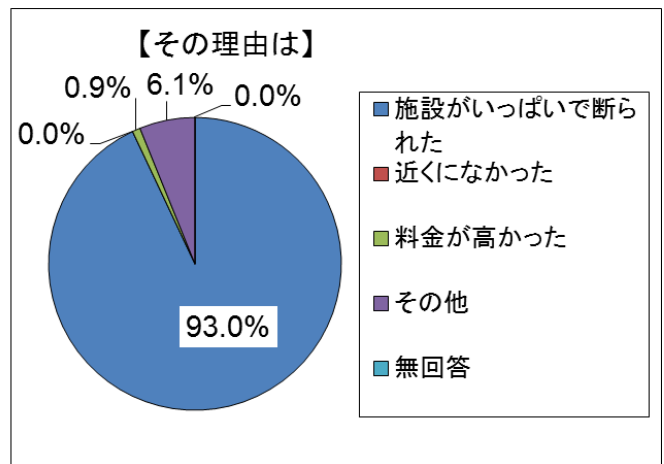
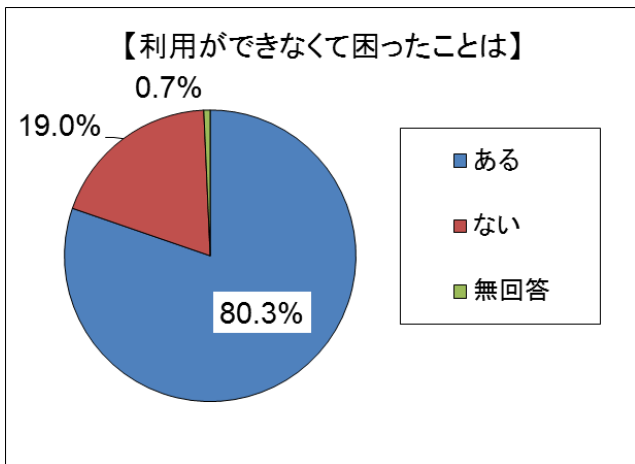
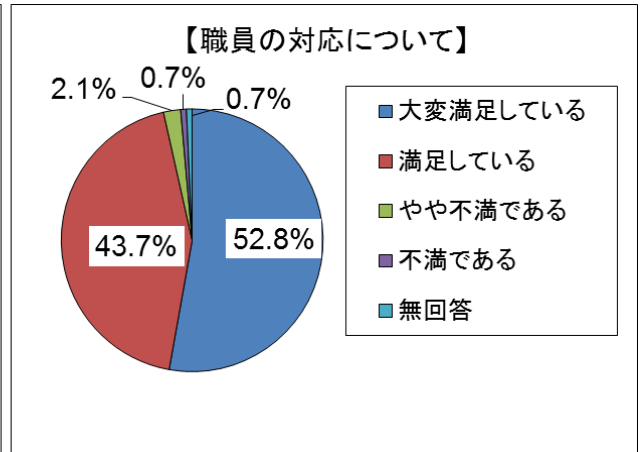
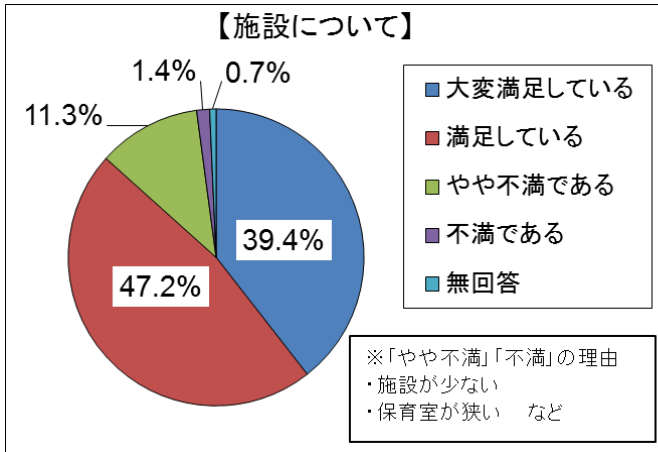
平成 30 年 7 月

3 回収数

- (1) 配布数 377 セット
- (2) 回収 142 サンプル
- (3) 回収率 37.7%

4 回答





【自由意見】 89 件

・受け入れ人数を増やしてほしい等（利用人数）	44 件
・料金を安くしてほしい	6 件
・予約方法を統一してほしい	他

Ⅹ ファミリー・サポート・センター

1 調査方法

ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から 300 名を無作為抽出して郵送で配布し郵送で回収。

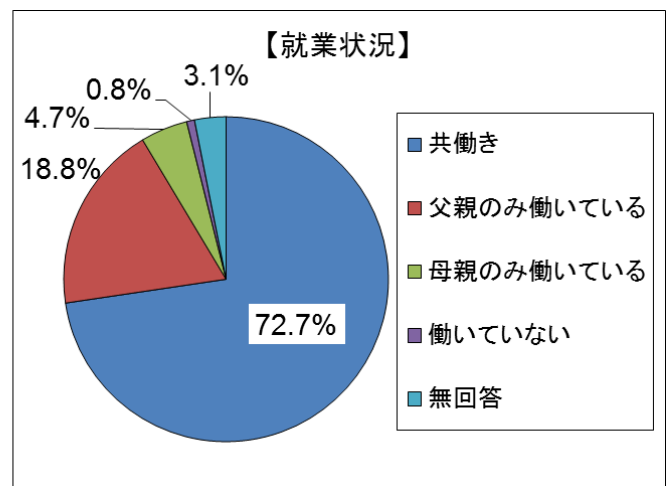
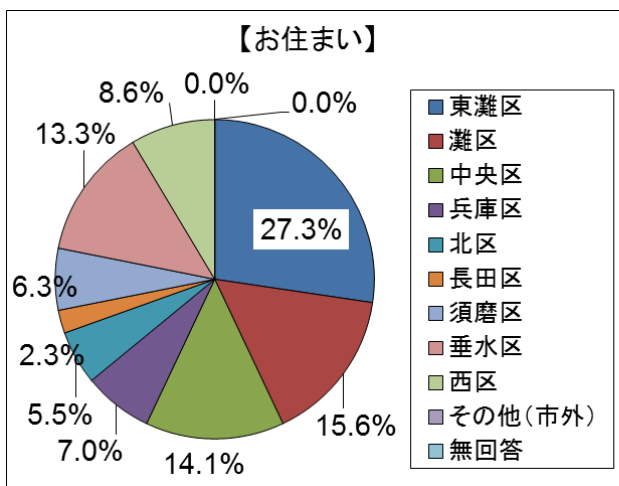
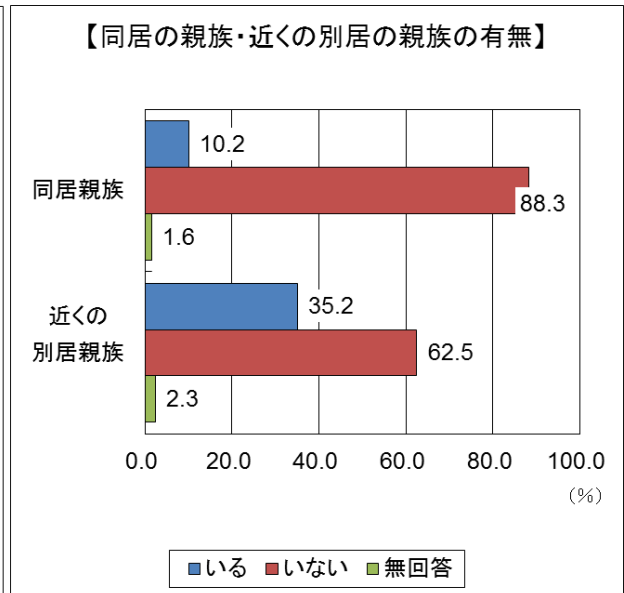
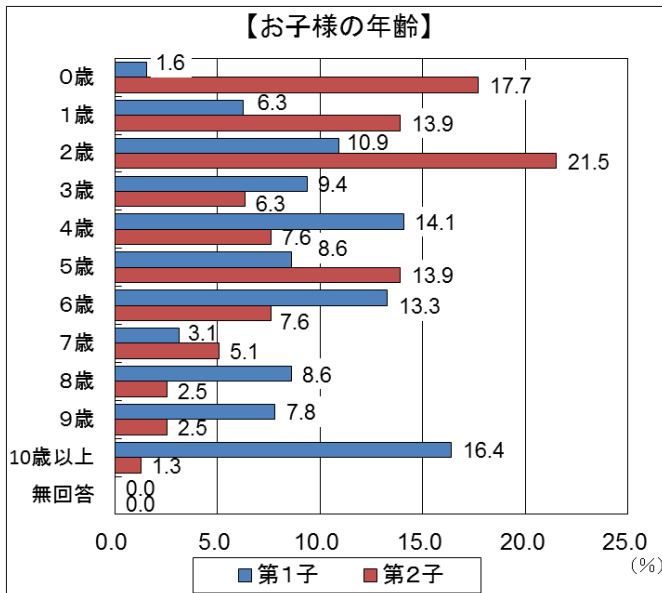
2 調査期間

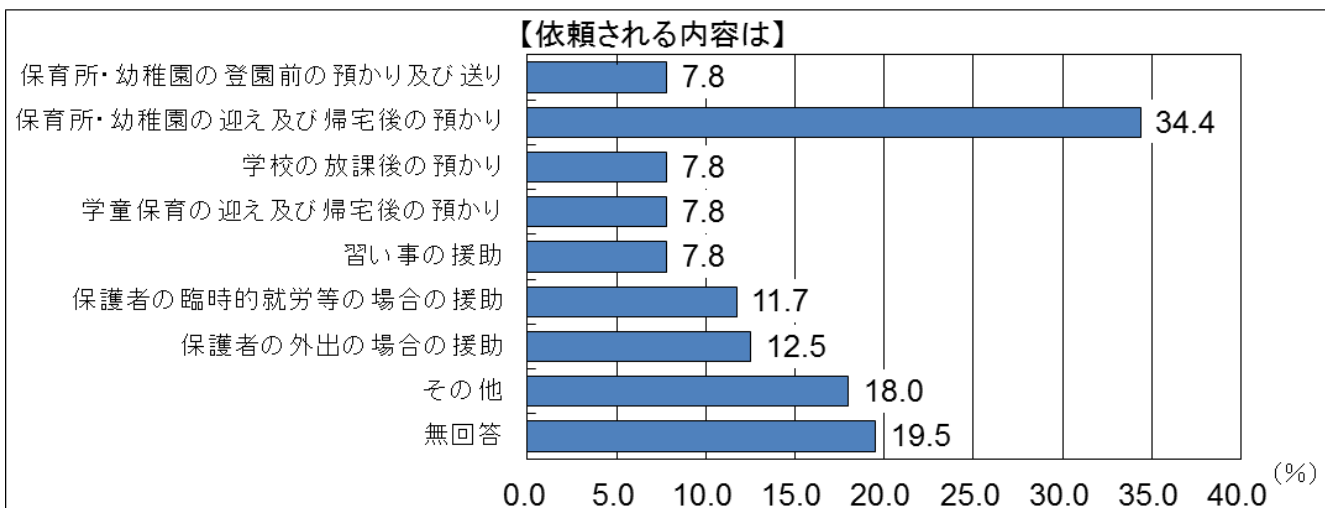
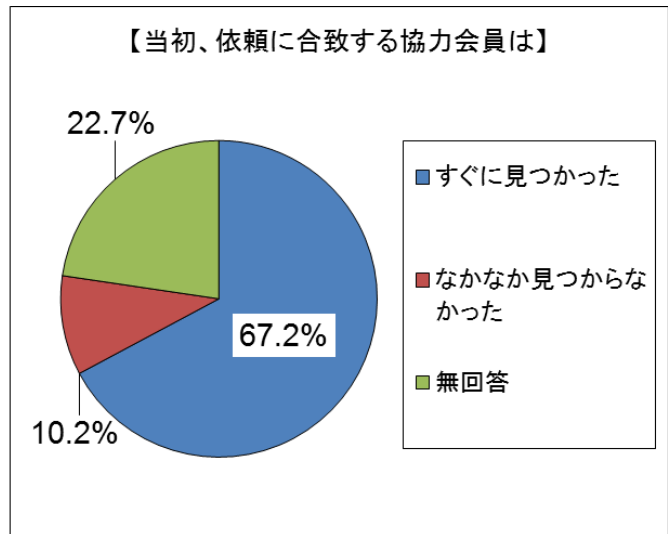
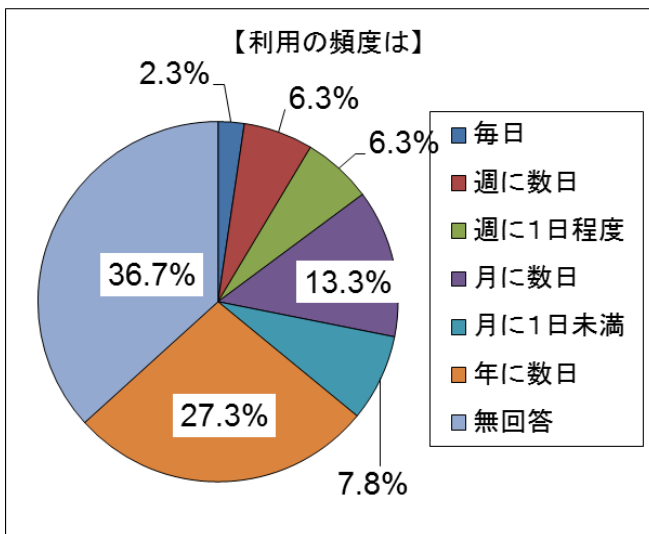
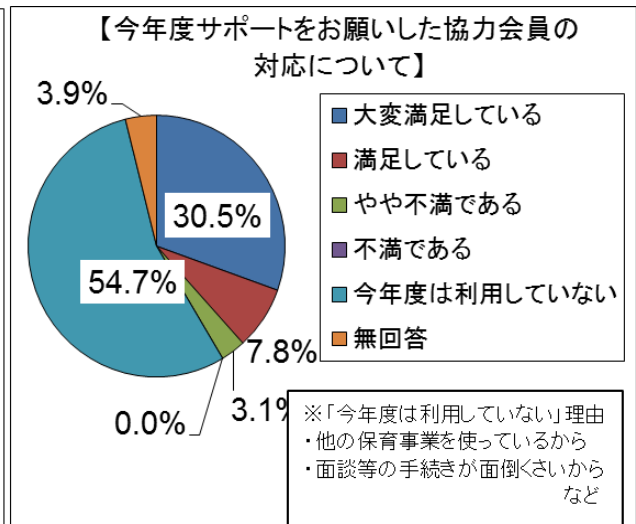
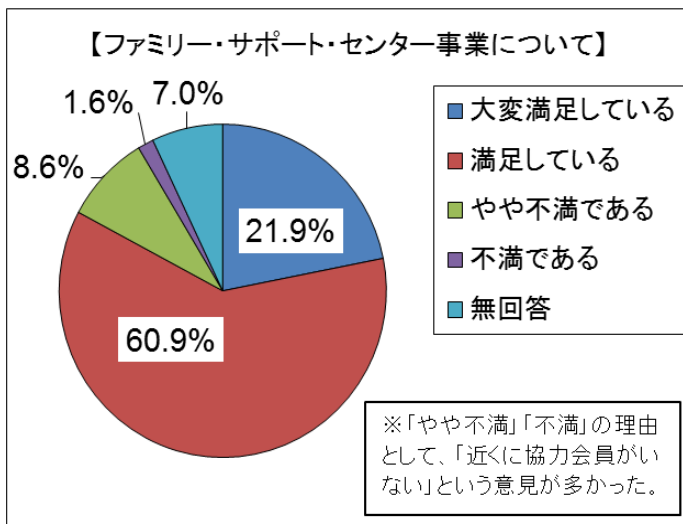
平成 30 年 7 月

3 配布等

- (1) 配布数 300 セット
- (2) 回収数 128 サンプル
- (3) 回収率 42.7%

4 回答





【自由意見】 53 件

- ・たいへん助かっている、制度の充実に期待している 44 件
- ・協力会員が近くにいない 他

XI 小規模保育

1 調査方法

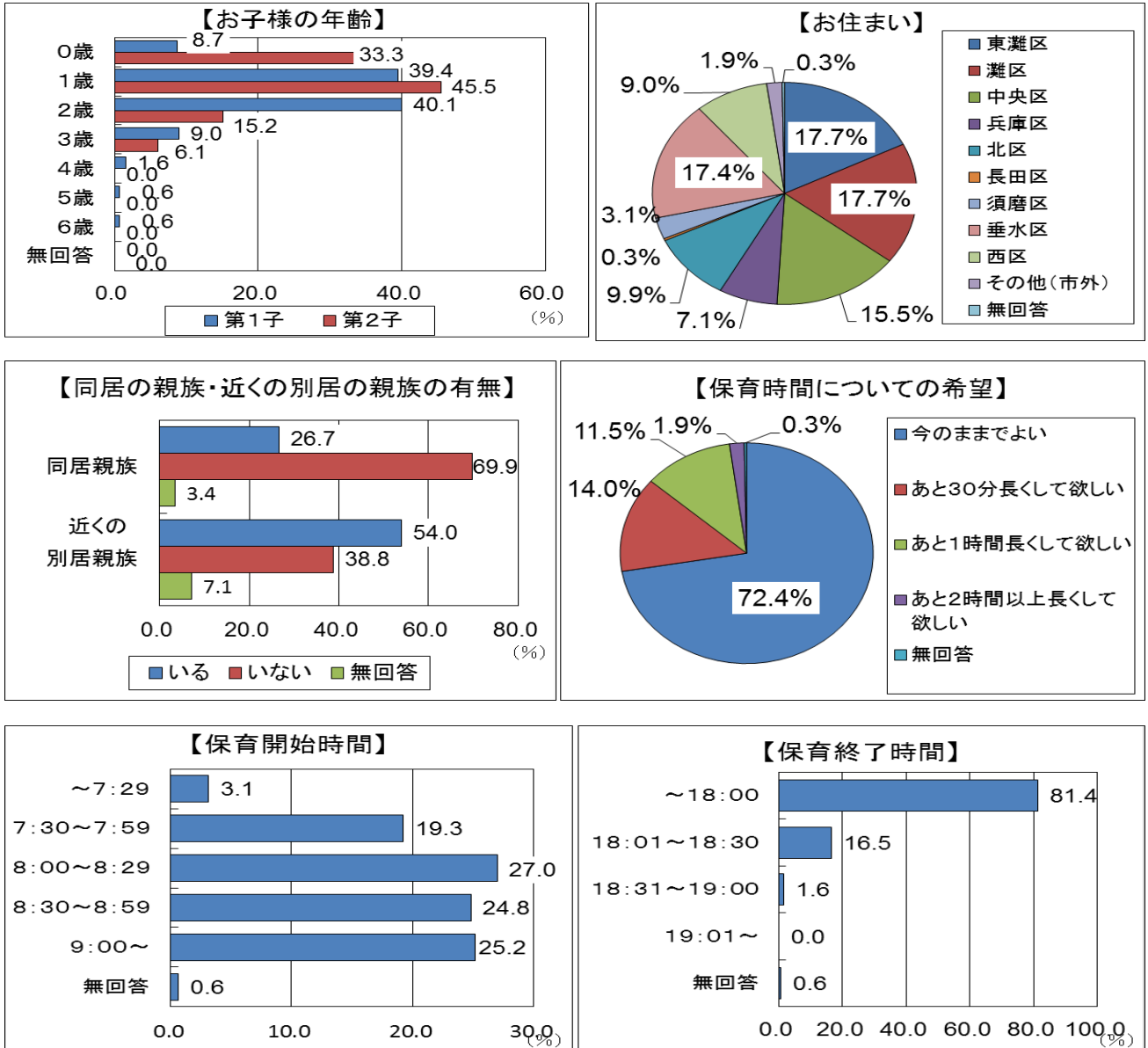
小規模保育を実施している施設（104 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

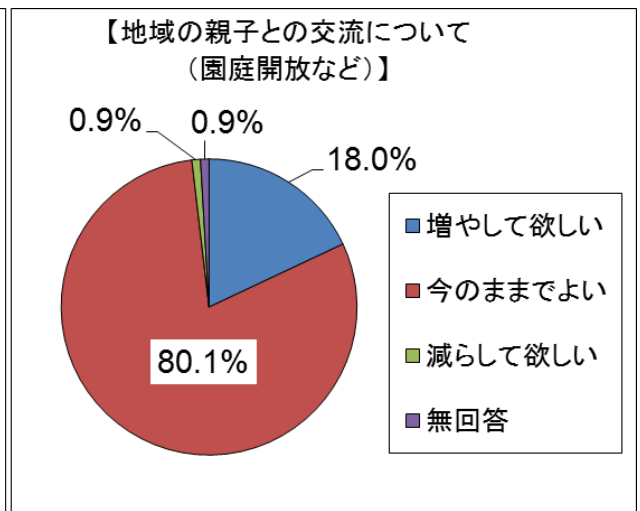
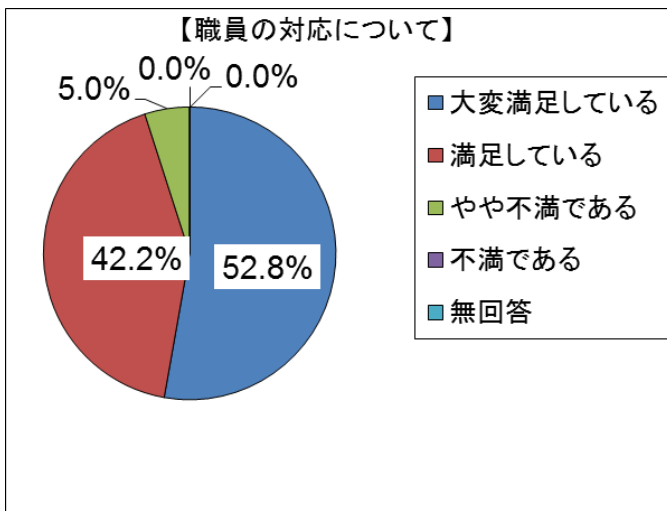
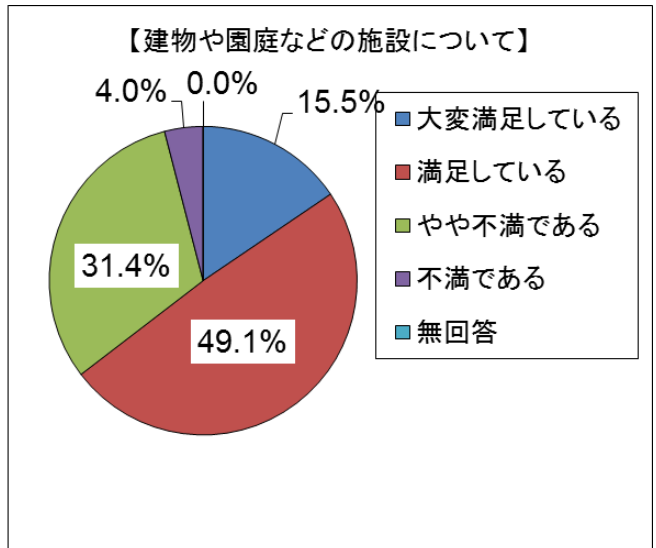
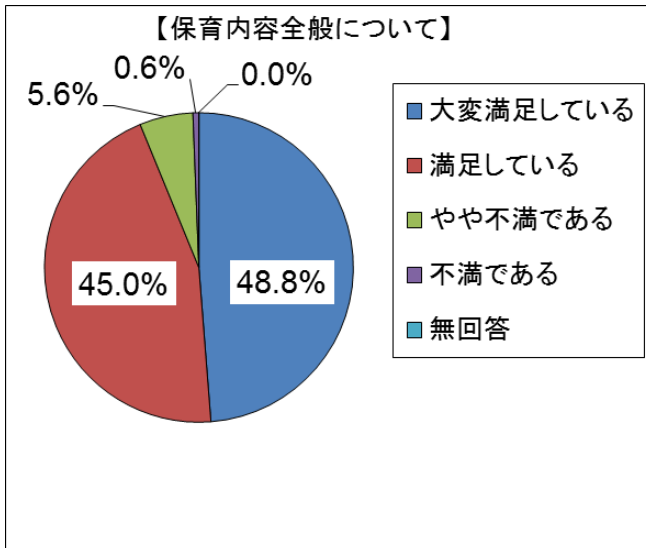
2 調査期間 平成 30 年 7 月

3 配布等

- (1) 配布数 585 セット
- (2) 回収 322 サンプル
- (3) 回収率 54.7%

4 回答





【自由意見】 144 件	
・ 小規模保育園卒園後に通える保育所・認定こども園を増やしてほしい等	49 件
・ 保育士の処遇を改善し、人員体制を充実させ、保育の質をあげてほしい	
・ 休日保育を増やしてほしい等	他

XII 事業所内保育

1 調査方法

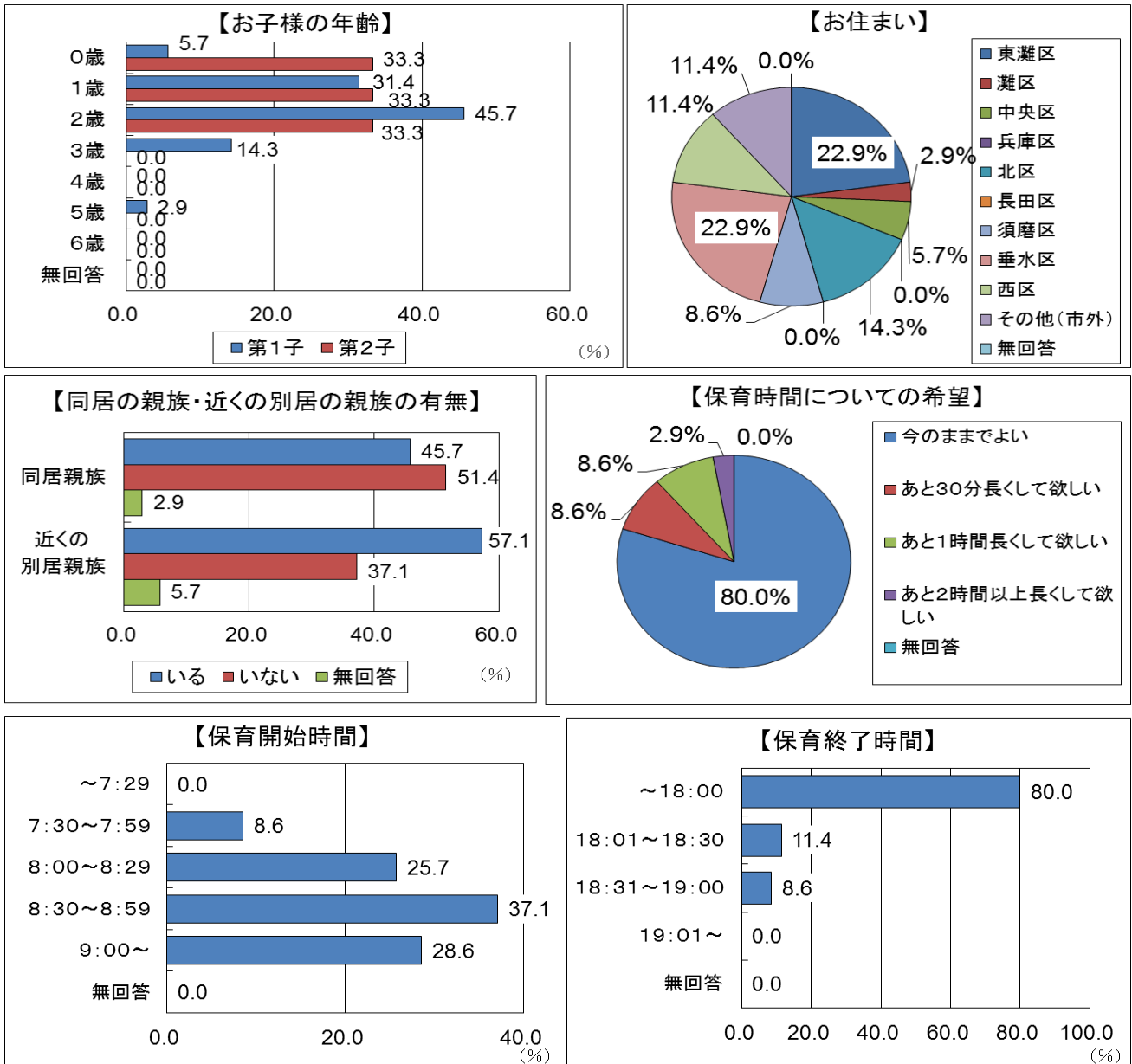
事業所内保育を実施している施設（12 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

2 調査期間 平成 30 年 7 月

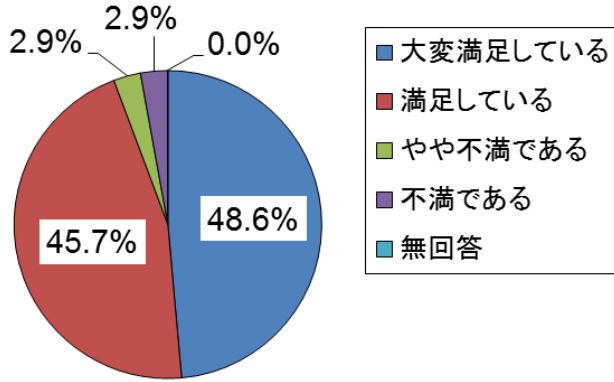
3 配布等

- (1) 配布数 63 セット
- (2) 回収 35 サンプル
- (3) 回収率 55.6%

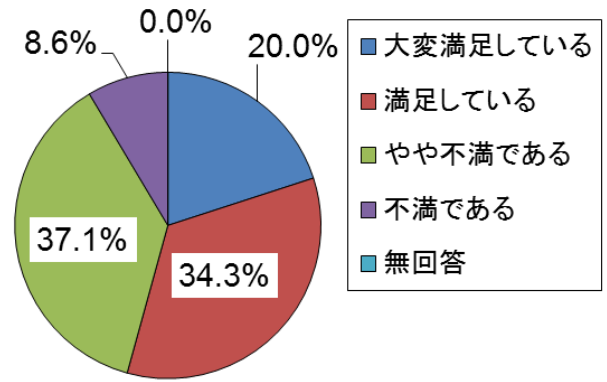
4 回答



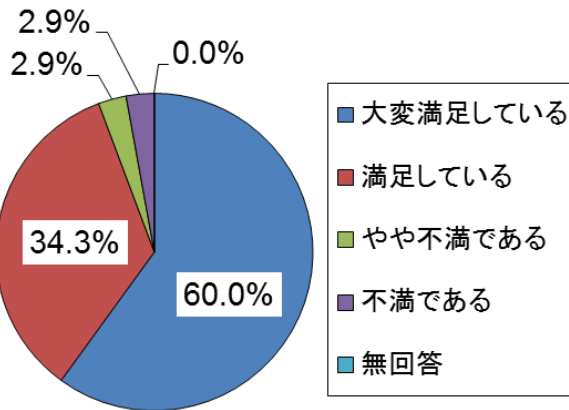
【保育内容全般について】



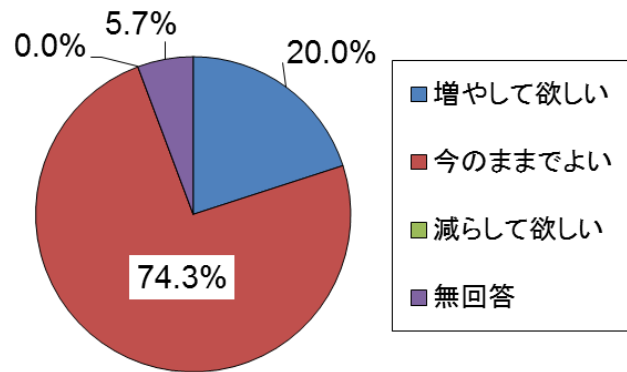
【建物や園庭などの施設について】



【職員の対応について】



【地域の親子との交流について
(園庭開放など)】



【自由意見】 15 件

- ・ 受け入れ人数をもっと増やしてほしい
 - ・ 卒園後の受け入れ体制をしっかり強化してほしい
- 他

XIII 家庭的保育

1 調査方法

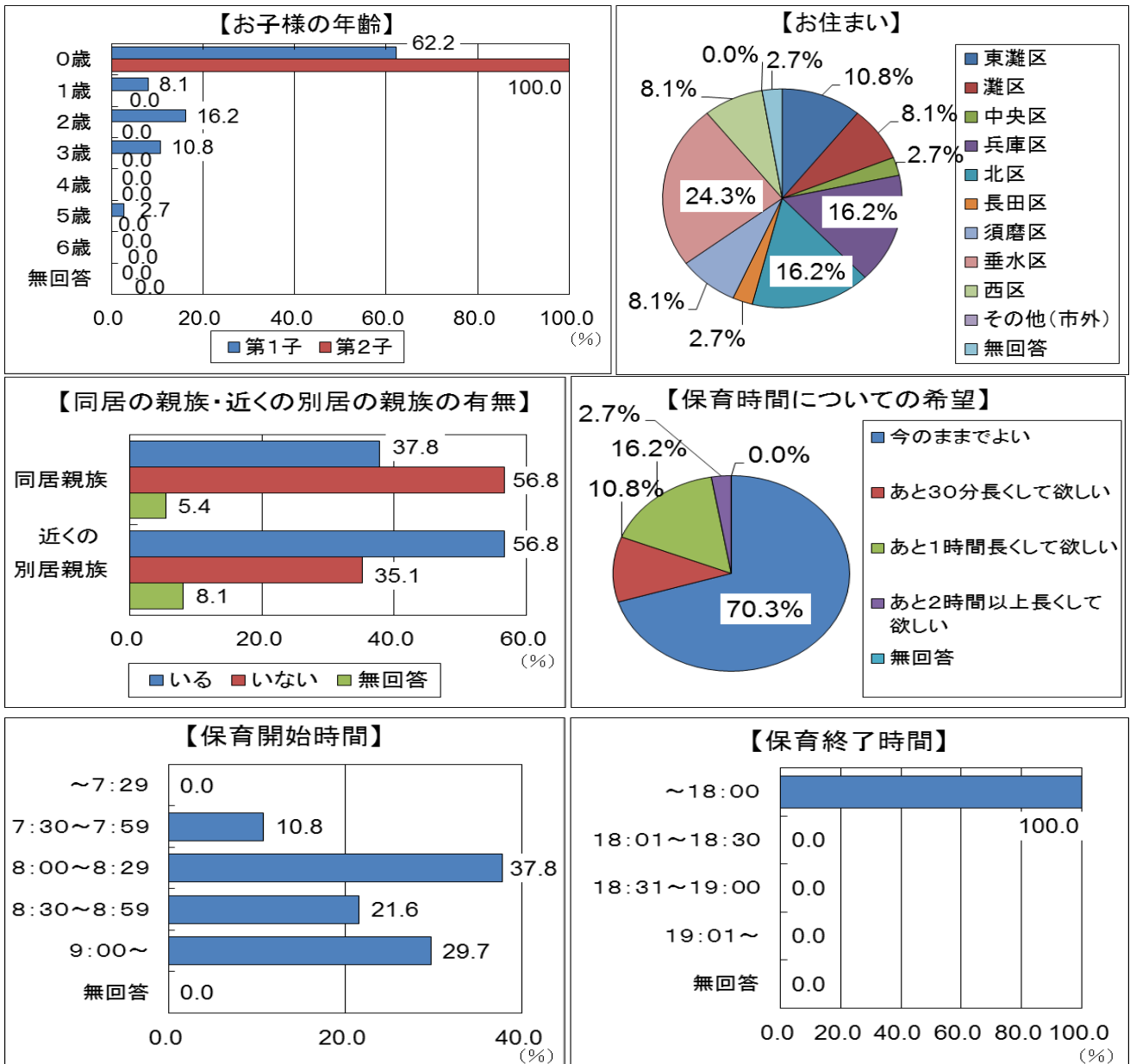
家庭的保育を実施している施設（25 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

2 調査期間 平成 30 年 7 月

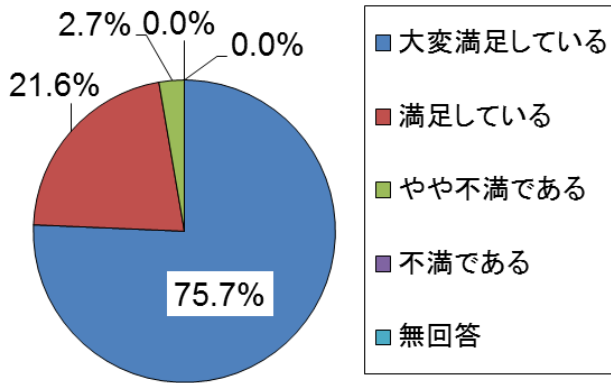
3 配布等

- (1) 配布数 90 セット
- (2) 回収 37 サンプル
- (3) 回収率 41.1%

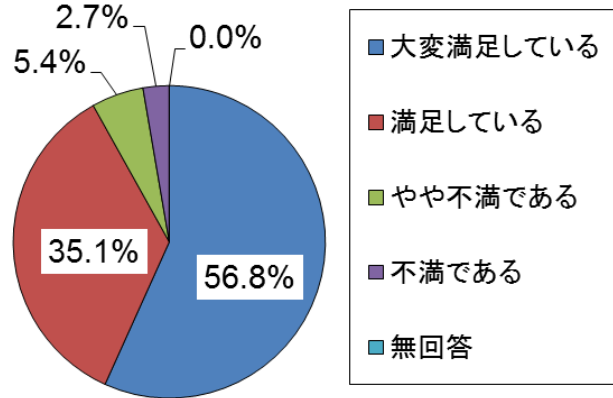
4 回答者



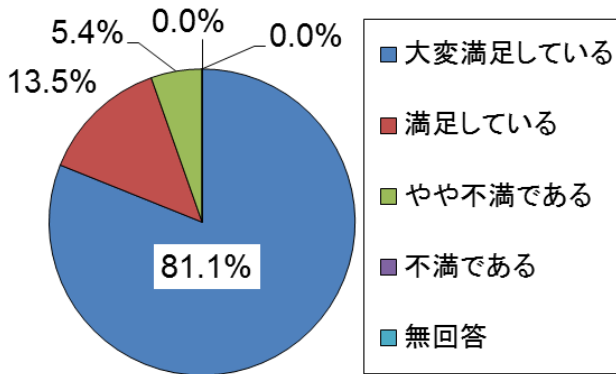
【保育内容全般について】



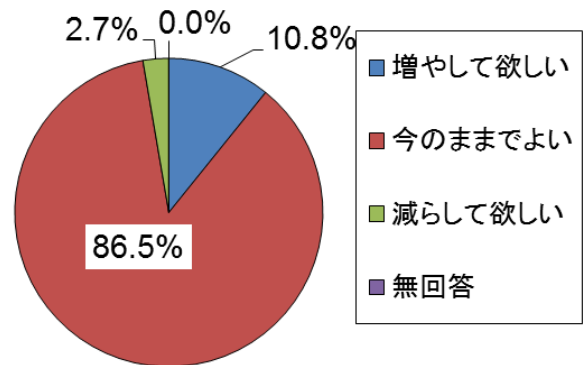
【建物や園庭などの施設について】



【職員の対応について】



【地域の親子との交流について
(園庭開放など)】



【自由意見】 13 件

・卒園後の受け入れ先が見つかるか不安 他

(3) 企業調査結果

1 調査方法

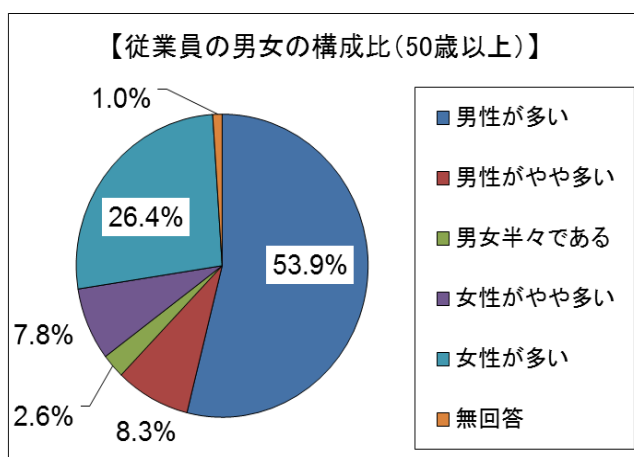
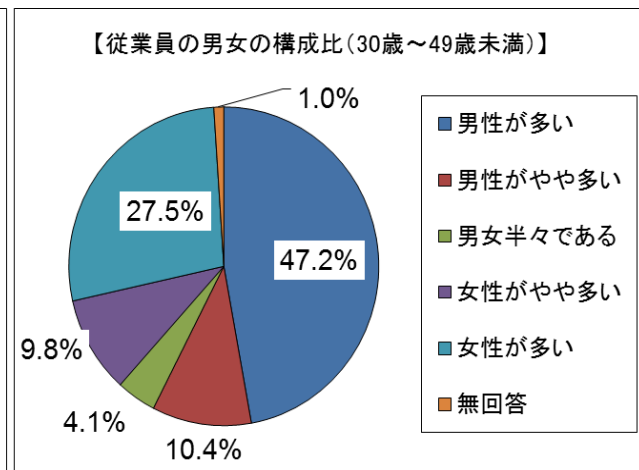
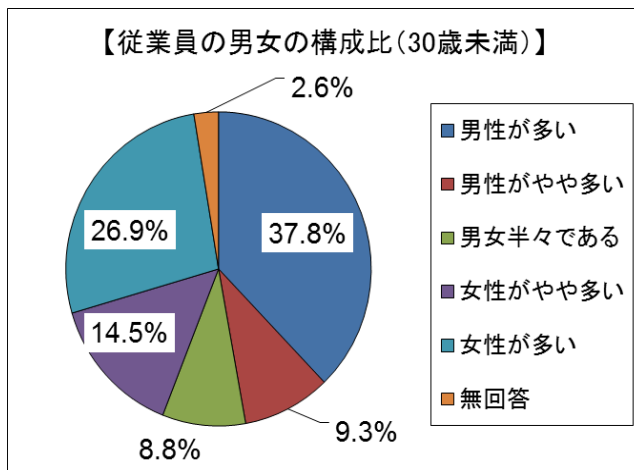
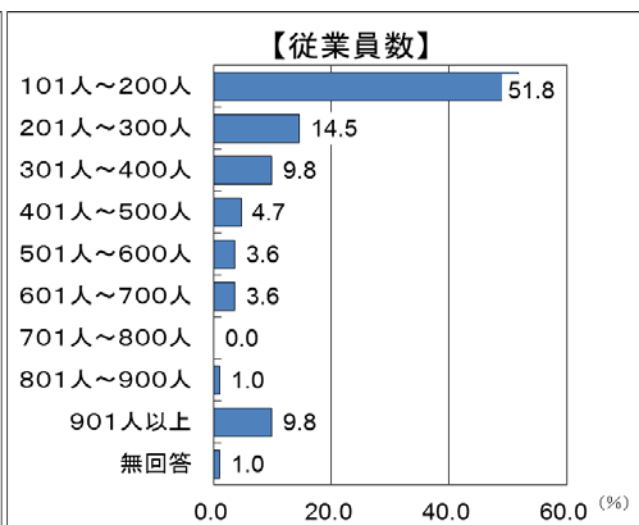
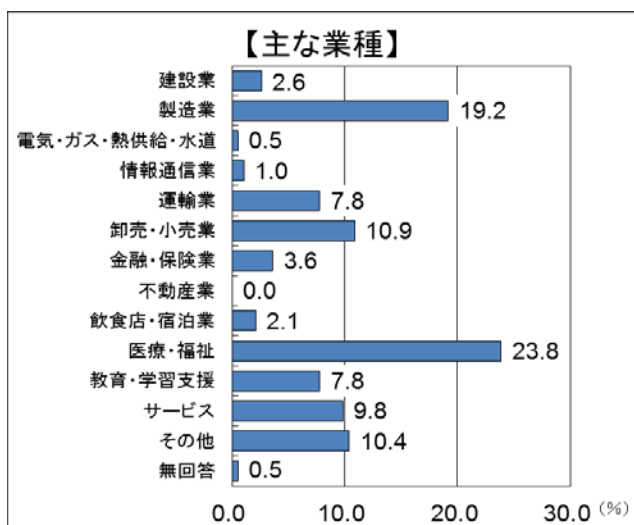
市内企業のうち、従業員数 101 人以上の企業の事業主

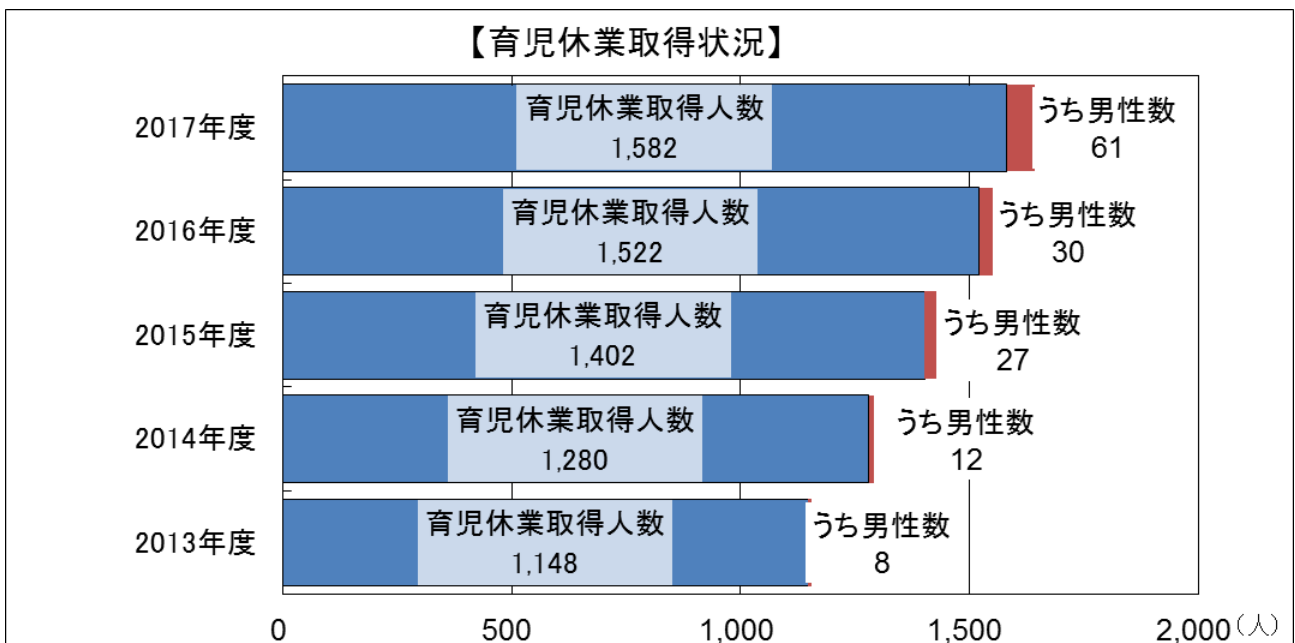
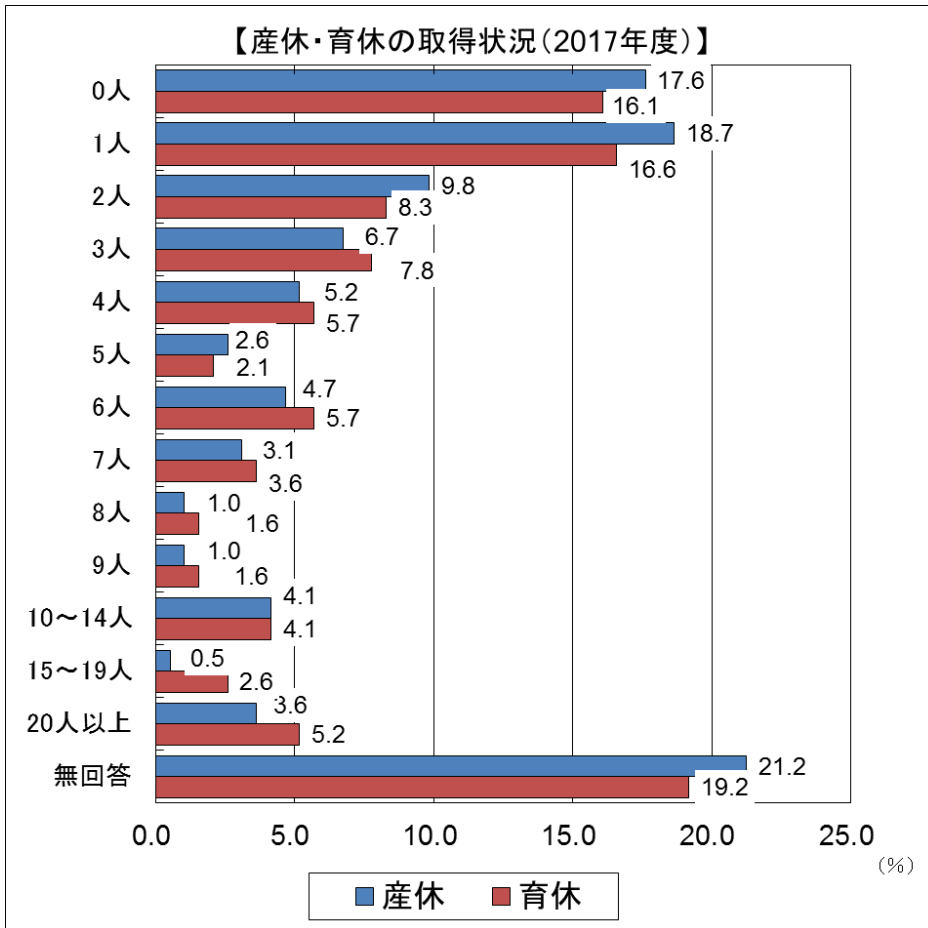
2 調査期間

平成 30 年 7 月

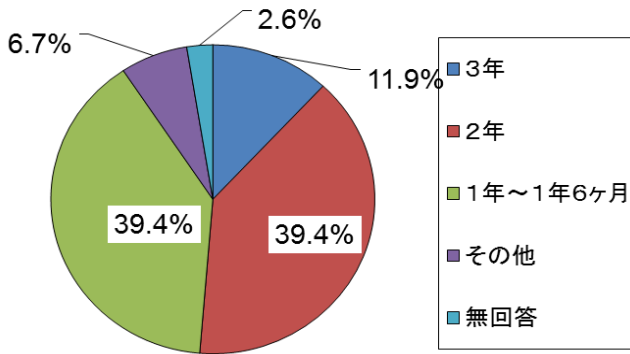
3 配布等

- (1) 配布数 677 セット
- (2) 回収数 193 サンプル
- (3) 回収率 28.5%

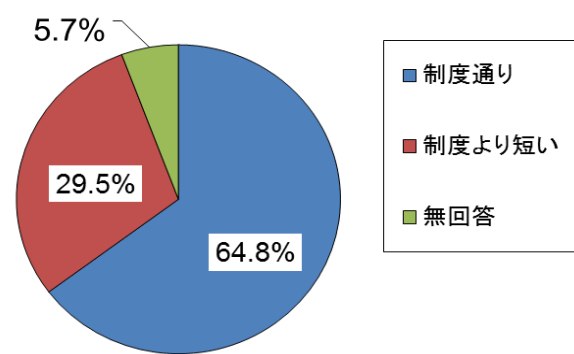




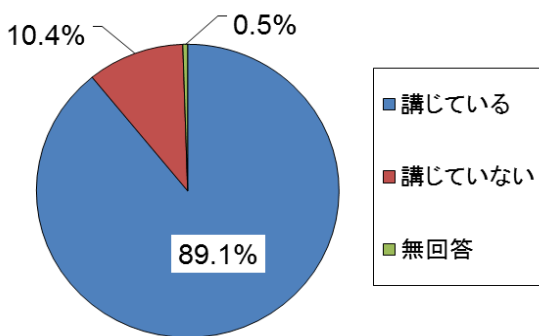
【育児休業の期間について】



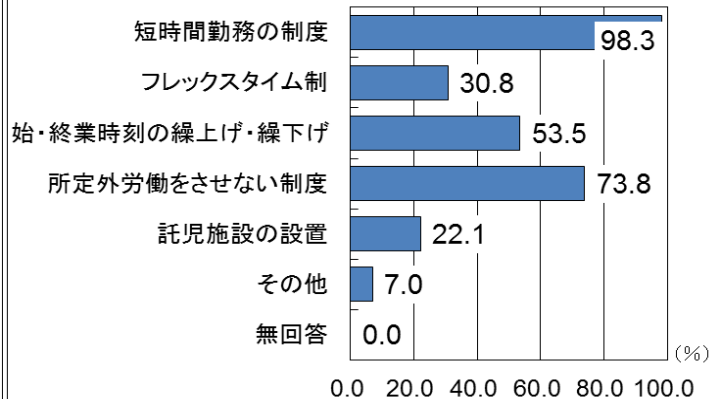
【育児休業の取得状況について】



【労働時間の短縮等の措置について】

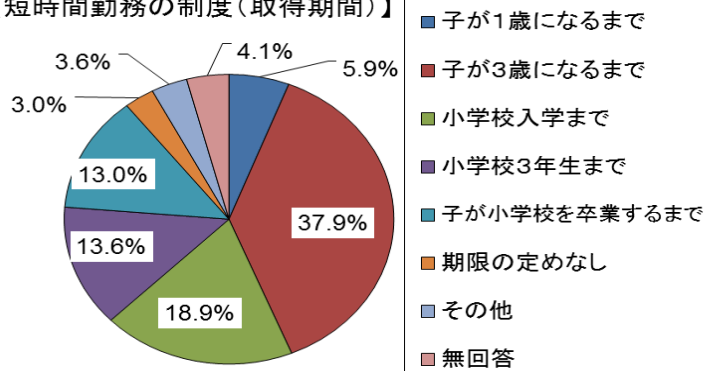


【育児支援のために講じている施策について】

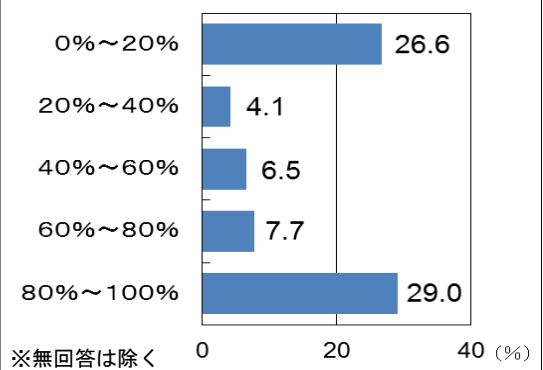


※「その他」の回答としては、「時間外労働の制限」「深夜業の制限」「子の看護休暇」があった。

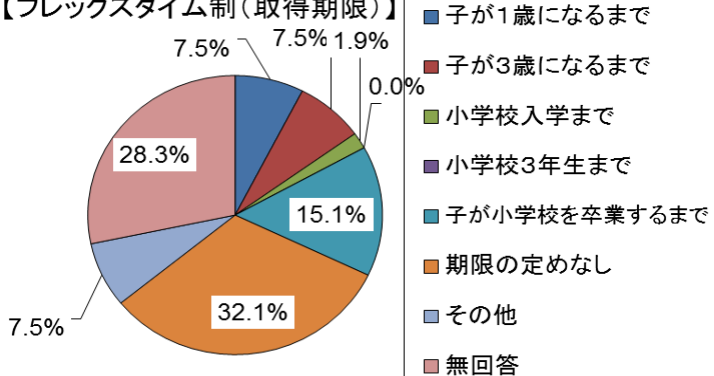
【短時間勤務の制度(取得期間)】



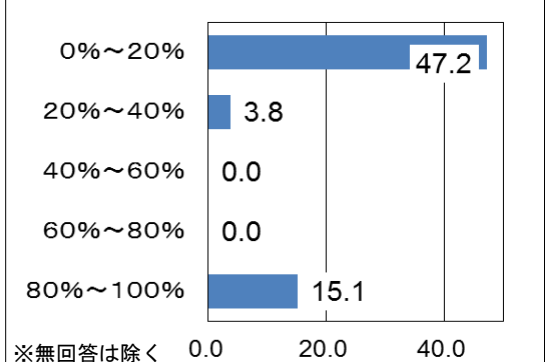
【短時間勤務の制度(利用割合)】



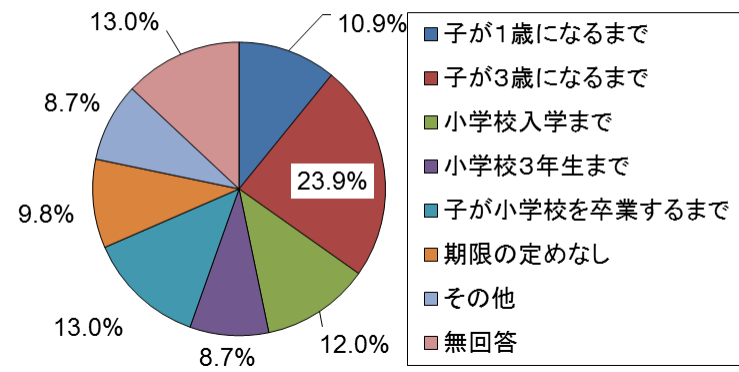
【フレックスタイム制(取得期限)】



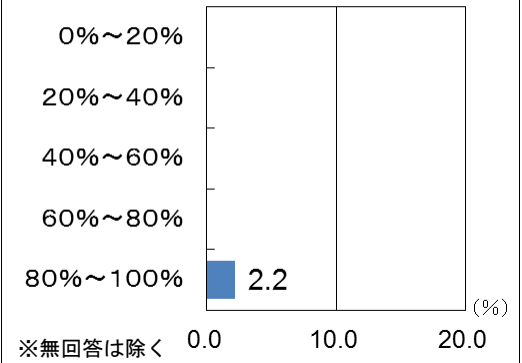
【フレックスタイム制(利用割合)】



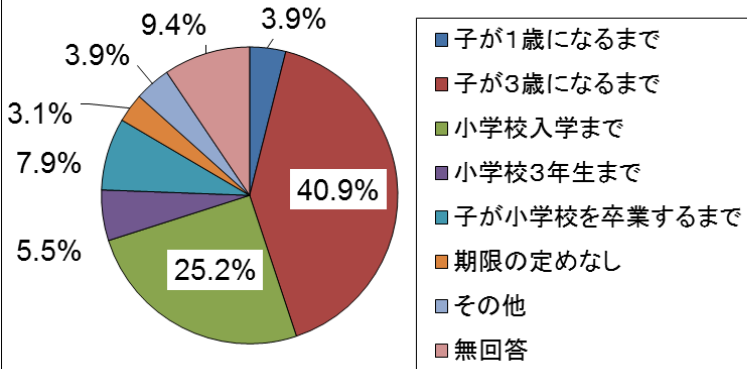
【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(取得期限)】



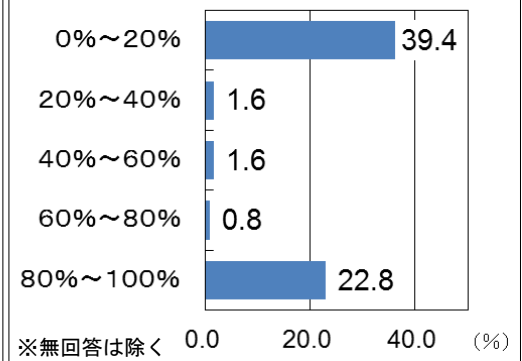
【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(利用割合)】



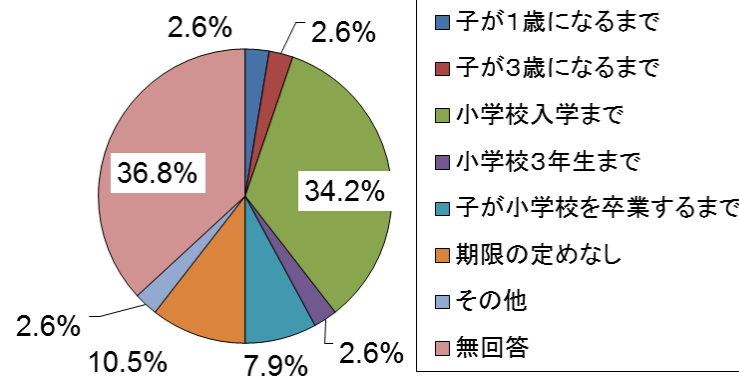
【所定外労働をさせない制度(取得期限)】



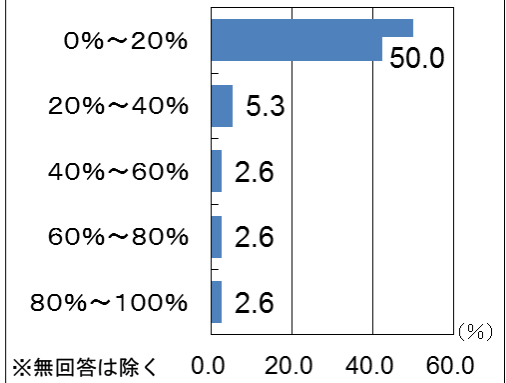
【所定外労働をさせない制度(利用割合)】



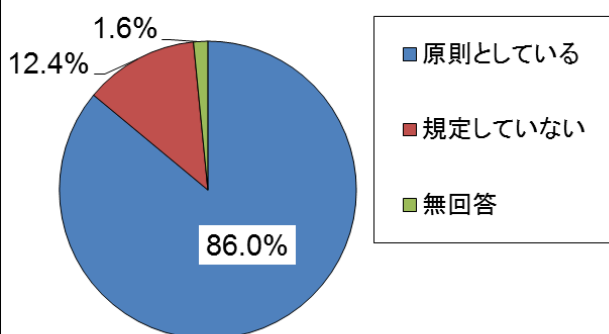
【託児施設の設置(取得期限)】



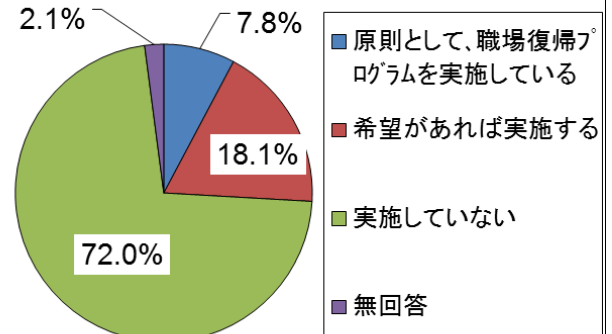
【託児施設の設置(利用割合)】



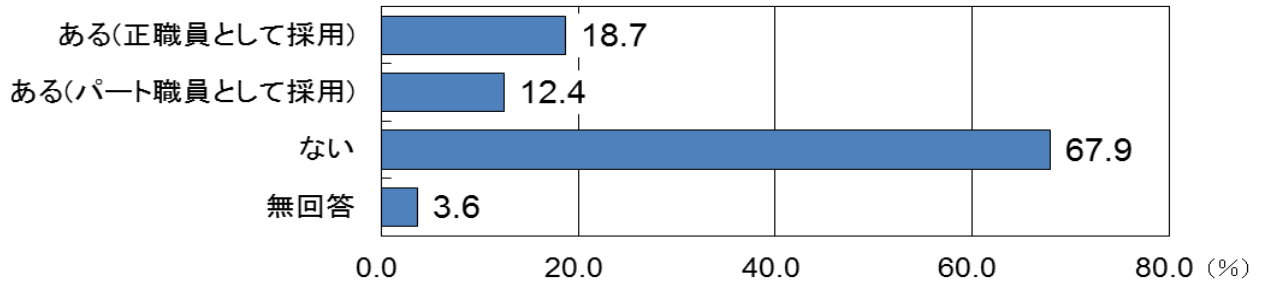
【現職復帰を原則としているか】



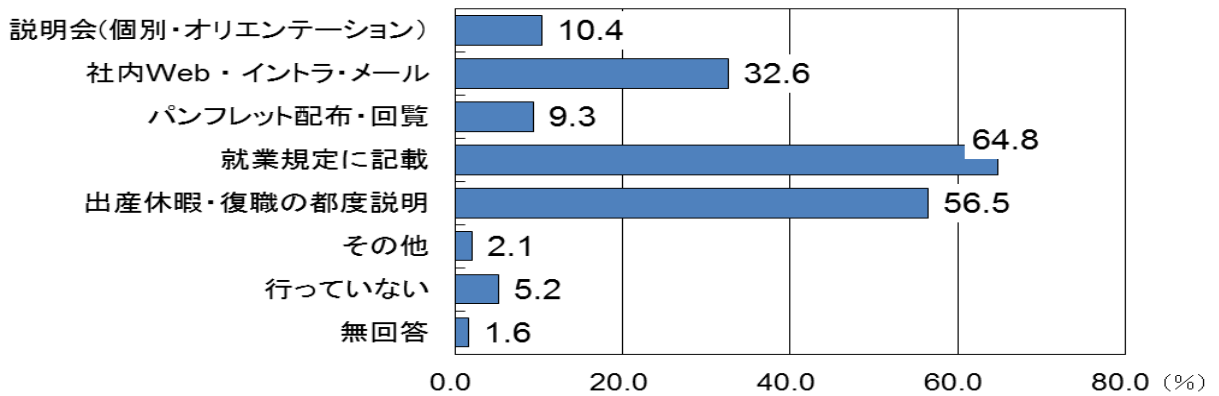
【育児休業からの復帰プログラム】



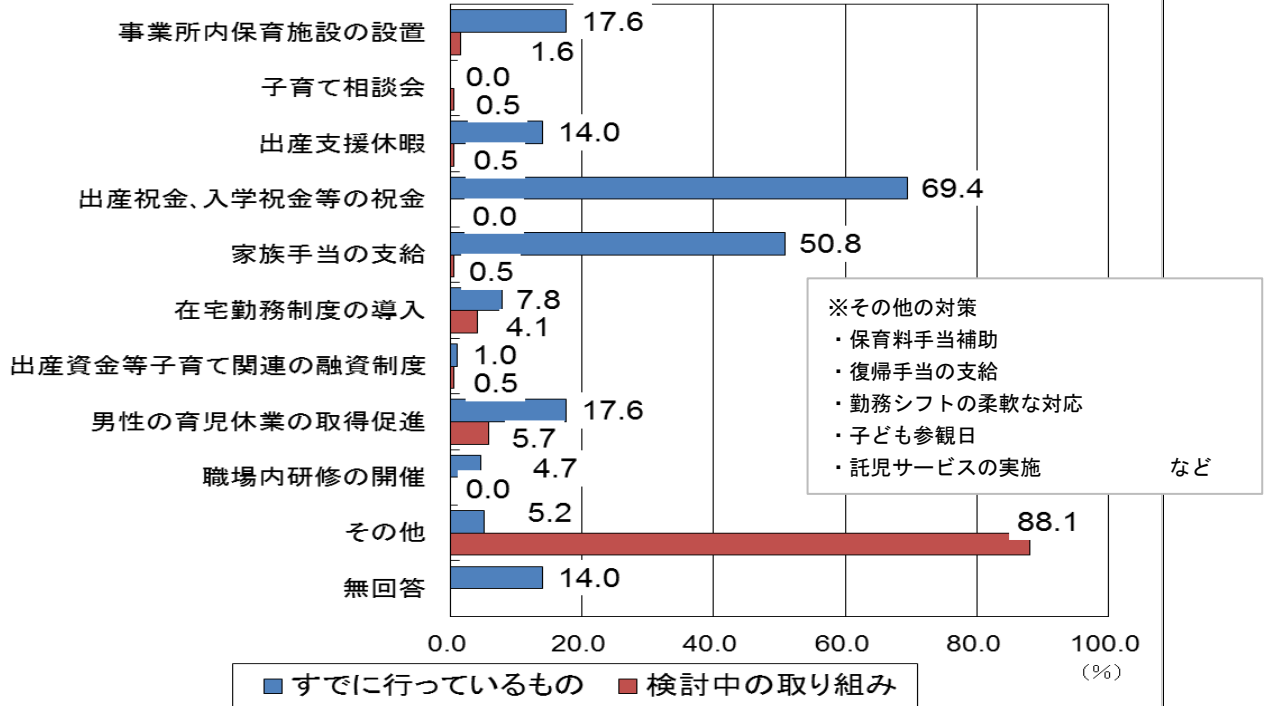
【従業員の再雇用制度の有無】



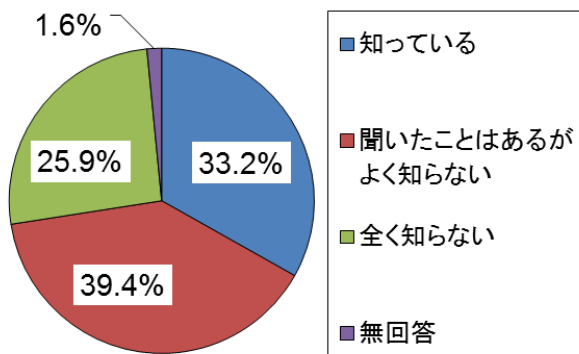
【制度を周知するための取り組みを行っているか】



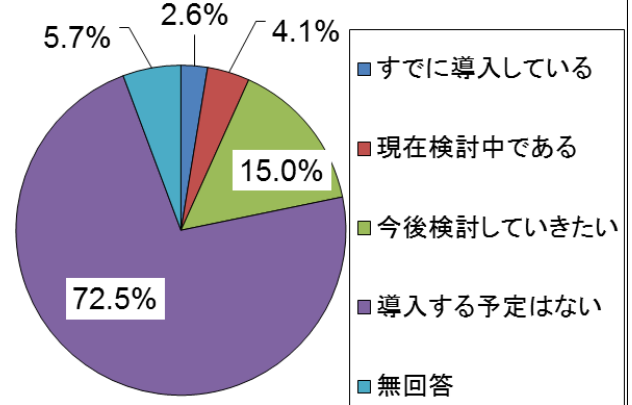
【子育て支援のための対策としての考え】



【企業主導型保育事業を知っていますか】



【企業主導型保育事業の今後の導入予定】



【子育て支援施策を推進するために、行政に望むこと（自由記述）】

- ・ 待機児童の解消・保育所整備 20 件
- ・ 病児保育 4 件
- ・ 補助金・助成金の支給 4 件
- ・ 学童保育の充実 3 件
- ・ 保育士への支援 3 件
- ・ 事業所内の託児所設置への支援
- ・ 保育料の減免
- ・ 学童以外にも多様な小学低学年向けの育成プログラム（支援策）の導入
- ・ 産休・育休制度の充実

など

4. 平成 29 年度 主な事業進捗状況

1. 結婚・妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てにあたたかい街こうべの実現

平成 29 年 8 月に「ママフレアプリ」を配信し、スマートフォン等で気軽に子育て情報を入手できるようにするとともに、子育て応援サイト「ママフレ」に登録している K O B E 子育て応援団や施設までの経路や、徒歩での時間を表示できる機能を追加しました。また、子育て情報を広報紙 K O B E へ毎月掲載、妊婦や乳幼児の親やその家族を対象に「こうべ子育て応援メール」を配信するなど、子育てに関する情報を必要な方に届ける仕組みづくり等を行いました。

(2) 母子保健の充実

妊娠期から子育て期のすべての妊産婦等の相談に総合的に対応できるよう、各区役所・支所に母子保健コーディネーターを配置し、切れ目のない支援に努めました。また、妊婦健康診査に対する助成上限額を 98,000 円から 120,000 円に増額するとともに、助成方式を補助券方式から検査項目を明記した受診券方式に変更しました。あわせて、生後 4 ヶ月を迎えるまでの乳児のいる全世帯を対象に新生児訪問・乳幼児健康診査を行い、乳児と保護者の心身の様子や養育環境を把握し、育児支援や児童虐待の防止に努めました。さらに、産後うつ病を早期発見し、重症化を予防するため、保健師などによる産後うつスクリーニングを実施し、支援が必要な母親には保健師による家庭訪問や臨床心理士によるカウンセリング等を行いました。

(3) 経済的支援の推進

こども医療費助成制度の所得制限を撤廃し、中学 3 年生までの全ての子どもが無料もしくは低額な負担金で医療機関を受診できるよう制度を拡充しました。医療費負担が大きい小児慢性特定疾病の自己負担額の軽減を図ったほか、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）にかかる費用助成では所得制限を撤廃し、制度拡充を行いました。

2. 地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進

(1) 地域施設・人材と連携した子育て支援

地域における子育て支援及び児童の健全育成の強化・充実を図るため、児童館の運営を行いました。また、大学と連携した子育て支援事業では、市内 9 箇所の「ひろば」で、子育て中の親に対する相談・援助や情報提供、講習等を実施しました。さらに、小中学生を対象とした食事の提供や学習支援等、放課後等に子どもが安心して過ごせる居場所づくりの取り組みを実施する地域団体等を支援しました。このほか、学童保育では、保護者のニーズに応じて公設の学童保育施設で開設時間を 19 時まで延長するとともに、順次、高学年児童の受け入れ等を実施しました。

また、こども家庭センターの子どもたちを取り巻く施設環境を抜本的に改善し、増加する相談件数に対応するとともに、こべっこランドを再整備するため、移転整備にかかる基本計画を策定しました。

(2) 青少年の健全育成

青少年が自由に立ち寄り、サークル活動や異世代間の交流が行えるよう家庭・学校以外の居場所としてユースプラザ等の運営を行いました。また、青少年育成協議会を中心に地域で、子どもの安全・安心の確保のための見守り活動や、地域行事において子どもに役割を与え、自主性や社会性を育むための体験活動の実施に取り組みました。さらに、地域ぐるみで子どもたちの健やかな育ちを応援するため、「神戸っ子応援団」を展開し、安定的・継続的な活動の支援を行いました。このほか、インターネットの正しい使い方や危険性などについて啓発活動をはじめとするネット社会への対応の推進等に取り組みました。

3. 仕事と子育ての両立支援

(1) 質の高い教育・保育の総合的な提供及び多様な地域子育て支援事業の推進

保育人材確保として、全ての保育士等を対称に2%の処遇改善を行うとともに、採用後2年間で最大40万円の一時金を支給する補助制度を創設しました。また、潜在的な保育需要や女性の就労機会の増加を踏まえ、保育所待機児童解消のため、教育・保育施設、小規模保育の整備や、幼稚園や認定こども園への移行等により約500人分の保育定数を確保しました。このほか、地域人材を活用し、子育ての応援をしてほしい人と子育ての応援をしたい人をマッチングすることで仕事と子育ての両立を支援するファミリー・サポート・センター事業等を実施しました。

(2) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組

男性の育児参加や地域活動への参加に関する啓発・推進を目的としたイベント「こうべイクメンの日」などを実施しました。また、子育てしながら働きやすい環境づくりのために「イクボス養成プロジェクト」等を実施しました。

4. 教育環境の充実

「教育環境の充実」では、神戸の教育に関する総合的な中期計画である「第2期神戸市教育振興基本計画」（平成26～30年度）に基づいて施策を推進しました。

(1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

学ぶ力・生きる力向上支援員の配置や学習支援ツールの活用等により「個に応じた指導の推進」を図るとともに、「授業の内容・質の向上」、「学校のチーム力の向上」に取り組みました。また、「読書活動の推進」に向け学校司書の配置拡充、「英語教育の推進」としてALT（外国人英語指導助手）の重点的な配置、「防災教育」や「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」を活用した体力アップ事業などを行いました。

(2) 特別支援教育の充実

一人ひとりの発達に応じた特別支援学校での自立に向けた取り組みや関係機関との連携など、幼児・児童生徒への一層の支援を行いました。

(3) 幼児教育の充実

質の高い幼児期教育の提供や小学校へスムーズに繋げていくため、公開保育・授業や実践研究発表を行なうなど私立及び公立の幼稚園・保育所等と小学校の連携を図り、全ての幼児を対象として幼児教育の環境向上に向けた取り組み等を行いました。

(4) 安全・安心な学校づくり

学校園施設の老朽改修による長寿命化の実施や、防犯・防災体制の整備など、子どもたちが安全に安心して快適な学校園生活を送ることが出来るようハードとソフトの両面から環境整備等に取り組みました。

5. 特に支援が必要な子ども・家庭への対応

(1) 児童虐待防止対策の充実

こども家庭センターと地域における身近な育児相談窓口として各区に設置しているこども家庭支援室が連携し、虐待への対応や早期発見、未然・再発防止に取り組みました。また、虐待相談件数の増加に対応するため、各区に児童虐待対応職員を1名ずつ配置し、体制強化を図りました。さらに、広く市民の関心を高めるために、児童虐待防止月間（11月）のオレンジリボンキャンペーンを中心に、年間を通じた啓発に努めました。

(2) 障がい児施策の充実

身近な地域での障がい児療育を支援するため、療育体制の再構築として、平成30年4月に東部療育センターを開設しました。また、こども家庭センターでは、増加する障がい相談等に対応するため、相談・検査室を増設し、待機期間の短縮をはかりました。

(3) 貧困の連鎖防止に向けた施策の充実

生活の安定のための支援として、養育費確保のための法律相談を実施しました。また、将来の自立のための学力育成支援として、教員OB等が学習補助を行う学ぶ力・生きる力向上支援員を全小中学校に配置しました。

(4) ひとり親家庭等の支援の充実

ひとり親家庭などの生活の安定のために、児童扶養手当の支給を行ったほか、ひとり親家庭の相談窓口や支援施策を紹介した「ひとり親家庭のための応援ハンドブック」を送付する等、広報強化に努めました。また、ひとり親の家庭の自立に向けて、就職に有利な資格取得支援事業の実施や看護師等の資格の取得するための養成機関に通う場合に支援等を行いました。

(5) 社会的養護体制の充実

児童養護施設等を退所する児童に対し、社会人としてのマナーや知識に関する研修を実施し、自立を支援するとともに、施設退所後も生活相談や就労支援を行う仕組みを拡充しました。自立生活の安定や就学・就業の定着が困難な退所者への支援施策を検討するため、現在の生活状況や施設退所前後の状況等を調査しました。

神戸市子ども・子育て支援事業計画 地域子ども・子育て支援事業の実績(平成29年度)

		平成29年度		計画値との差		
		量の見込み	確保方策			
1	保育サービスコーディネーター	計画値	11箇所	11箇所		
		実績値	12箇所	12箇所		
2	延長保育	計画値	6,278人	5,970人	計画は一律に「18時以降」の保育の利用希望に基づき算出。新制度(保育標準時間(11時間)・保育短時間(8時間))移行により延長保育ニーズが変化している。	
		実績値	3,657人	3,657人		
3	放課後児童健全育成事業	計画値	13,098人	12,247人	計画は一部の学年の保護者の利用希望をもとに算出。計画上の利用ニーズが過少に算出されている。学童保育に待機はなく需要に対する提供体制は確保している。	
		実績値	13,419人	13,419人		
4	子育てリフレッシュステイ	ショートステイ	計画値	5,068日	5,068日	計画は平成23～25年度の利用実績の3か年平均値により算出。新制度移行により他の一時預かり事業が充実する一方施設定員の空きがなく利用できないケースが見受けられた。
		ショートステイ	実績値	3,079日	3,079日	
	デイサービス	計画値	6,112日	6,112日		
		実績値	2,521日	2,521日		
5	新生児訪問事業	計画値	10,094件	160人		
		実績値	10,794件	159人		
6	(1)保健師による相談・指導	計画値	1,834回	58人		
		実績値	1,979回	58人		
	(2)産後ホームヘルプサービス事業	計画値	2,317回	10事業所		
		実績値	1,557回	11事業所		
	(3)養育支援ヘルパー派遣事業	計画値	140回	10事業所		
		実績値	190回	11事業所		
7	地域子育て支援拠点事業	計画値	69,879人	134箇所		
		実績値	-	135箇所		
8	(1)一時預かり事業(幼稚園型)	計画値	683,032人	683,032人	計画は、児童数の減少に伴い利用ニーズの減少を見込んでいたが、新制度への移行に伴い認定こども園(1号)や幼稚園での預かり保育需要は増加している。	
		実績値	818,734人	818,734人		
	(2)一時預かり事業(幼稚園型除く)	計画値	155,634人	129,066人		
		実績値	68,212人	68,212人		
9	病児保育	計画値	23,865人	22,560人	計画は、病時を想定した利用ニーズに一定のキャンセル率を考慮し算出。実績値は必要な場合のみ一時的に利用するサービスであるため、計画値を下回っている。需要に対する提供体制は一定確保している。	
		実績値	14,556人	22,800人		
10	ファミリー・サポート・センター事業	計画値	898件	570件	計画は、特定年齢の保護者の利用希望に基づき算出。必要な場合のみの一時的な利用サービスであるが実績値が低く事業の認知度の向上・協力会員の増加が必要。	
		実績値	253件	253件		
11	妊婦健康診査事業	計画値	11,758人	-		
		実績値	12,022人	-		